

第33回

日本環境感染学会総会・学術集会

会 長：針原 康
(NTT 東日本関東病院)

会 期：2018 年 2 月 23 日 (金)～24 日 (土)

会 場：グランドプリンスホテル新高輪、国際館パミール、
グランドプリンスホテル高輪
〒108-8612 東京都港区高輪 3-13-1

テ ー マ：感染制御における Best Practice の追求

理 事 会：2 月 22 日 (木) 16：10～17：40
グランドプリンスホテル高輪 B1F「アメジスト」(第15会場)

評 議 員 会：2 月 22 日 (木) 17：50～18：50
グランドプリンスホテル高輪 B1F「クラウンルーム」(第13会場)

名誉会員・功労会員授与式、学会賞表彰・受賞講演、上田 Award 表彰：
2 月 23 日 (金) 15：50～16：40
グランドプリンスホテル新高輪 B1F「飛天」(第1会場)

意見交換会：2 月 23 日 (金) 19：10～20：40
国際館パミール 3F「慶雲＋白雲」(第9・10会場)

第33回日本環境感染学会総会・学術集会の開催にあたって

会長からのご挨拶

第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会

会長 針原 康

(NTT 東日本関東病院)



この度第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会を担当させて頂くこととなり、大変光栄に存じます。

日本環境感染学会総会・学術集会は医療施設だけでなく、社会環境において発生する感染症も含めて、その制御に関わる専門家が、職種を越えて、一年に一度集い、その研究成果や現場での経験を発表して情報を共有するための貴重な場です。感染制御に関わる様々な課題について、職種横断的に検討できる日本環境感染学会の存在は、今後ますますその重要性を増していくと考えております。

本総会ではテーマを、「感染制御における Best Practice の追求」とさせて頂きました。感染症の発症には多数の因子が関与するため、単独の対策の変更・導入で有意な効果を期待することは困難です。有効と思われる対策を可能な限り取り入れて、それらを確実に実践していく Best Practice の追求が感染制御には不可欠と考えられるからです。

本総会では招請講演として、前日本看護協会会長の坂本すが先生に「看護師のキャリア教育の動向と今後」、日本医療安全調査機構の宮田哲郎先生に「医療事故調査制度について」の御講演を頂く予定です。理事長講演の他、シンポジウム 18、パネルディスカッション 11、教育講演 26、ベーシックレクチャー 6、委員会企画 7、他学会、研究会との合同企画 7 と、感染制御に関する課題を網羅するプログラム内容となっております。一般口演、ポスター発表でも積極的な意見交換をお願いできれば、有難いと存じます。

本総会から副会長をお願いする制度が開始されました。今回は感染制御の実践に大きな役割を占める看護職をお願いすることとして、慶應義塾大学病院感染制御部の高野八百子先生にお引き受け頂きました。本総会の準備に御尽力頂くとともに、副会長講演も予定されております。

本総会は 3 年ぶりに東京で開催されることになりました。3 年前と同様にグランドプリンスホテル新高輪での開催ですが、今回は雪の中での開催でしたので、今回は天候に恵まれることを願っております。

2020 年の東京オリンピックを控え、東京の交通の要衝でもある品川も様変わりしつつあります。品川の景観も併せてお楽しみ頂ければと考えております。

開催にあたり、プログラム委員会の皆様方をはじめ、数多くの学会関係者の皆様に多大な御支援、御指導を頂きましたことに改めて感謝申し上げます。

本総会に多くの会員の皆様方に御参加頂き、本会が明日からのわが国の感染対策の発展に結びつくことになれば、大変有り難いと考えております。

第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会が実りある有意義な会になりますように、皆様の御指導、御支援のほどよろしくお願い申し上げます。



副会長からのご挨拶

第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会
副会長 高野八百子
(慶應義塾大学病院 感染制御部)



このたび、第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会針原康会長よりご指名いただき副会長の任につかせていただきました。

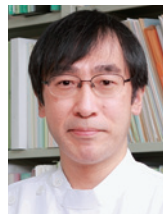
初の副会長という大役をいただき、責任を果たせるのか不安がございますが、会長の針原康先生、プログラム委員長の森兼啓太先生をはじめ 24 名のプログラム委員の先生方に助けていただきながら、努めているところでございます。拝命いただきました、ご指導くださり誠にありがとうございます。

本総会のテーマである「感染制御における Best Practice の追求」はまさに、私たちの日々の実践であり、長年の課題ともいえるでしょう。すべての演題が私たちの明日からの活動に大きな示唆となるのではないのでしょうか。さらにすべての施設の感染対策の発展に貢献することになればと願っております。

私自身、参加・拝聴し、次の活動につなげるよう期待できる大変 楽しい充実したプログラムになっております。

本学術集会への参加およびご発表いただく先生方に感謝申し上げますと同時に、ご指導・ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

プログラム委員長からのご挨拶



第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会
プログラム委員長 森兼 啓太
(山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部)

第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会にご参加下さいまして、誠にありがとうございます。

感染制御は、医療における「複雑系」です。常に多職種が関わり、個々の患者のアウトカムはその患者自身の要因だけでなく、周囲の患者や医療者の人的要因などに大きく左右されます。心理学、行動科学など様々な領域の知見が必要な活動であると言えます。この複雑系の世界で、根拠を求めつつも、それらを統合し最善を尽くす、これが感染制御における Best Practice であると言えます。

針原会長が掲げられた本テーマに沿って、24 名のプログラム委員の方々にご協力頂き、企画を進めて参りました。委員の方々には、指定演題の企画立案・演者の推薦、一般演題の査読を行って頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。更に、コアメンバー委員として複数の打合せや座長候補を提案して下さい、國島広之先生・渋谷智恵先生・満田年宏先生のご尽力なくしては、プログラム編成は不可能でした。3 人の先生方には重ねてお礼申し上げます。

お陰様をもちまして、感染制御の領域における様々な問題を幅広くカバーする、充実したプログラムが出来上がりました。セッション種別ですが、「シンポジウム」はあるテーマに対して卓越した複数の演者がその考えや経験を述べる場、「パネルディスカッション」はまだ結論が出ていないテーマに対して複数の演者が各々の意見を述べ討論する場、「ベーシックレクチャー」は感染制御の基本的な事項に関する講義、「教育講演」は先進的・特異的内容に関する講義、といった構成にしております。この他、会長講演や理事長講演、招請講演などの特別セッションもご用意しております。ご自分の関心やレベルに合わせてご聴講下さい。

限られた会期に多くの企画を立案したため、これも聞きたい、あれも聞きたい、しかし時間帯が重なっている、といった状況も多く見られるのではないかと思います。まずはプログラム全体をよくご覧頂き、聴講されるセッションのプランニングを御願い申し上げます。また、例年、どの会場も混雑が激しく、立ち見はおろか会場に入れないという事象もしばしば発生しています。今年は例年より座席数が多くなっており、また入場者数予測に基づく会場配置を行っておりますので、いくぶん緩和されるのではないかと考えております。それでも立ち見になってしまった場合は、どうかご寛恕下さい。

最後に、ご参加下さった皆様が良好な環境のもとで2日間勉強され、新たな知見を得られ、また知識の整理をされ、それらを明日からの現場での感染制御に活かされんことを祈念しております。



日本環境感染学会総会記録

回	開催年	開催地	歴代会長
第1回	1986年	東京	上田 泰（東京慈恵会医科大学 名誉教授）
第2回	1987年	東京	清水喜八郎（東京女子医科大学 内科）
第3回	1988年	東京	小林 寛伊（東京大学医学部 中央手術部）
第4回	1989年	大阪	三輪谷俊夫（大阪大学 微生物病研究所）
第5回	1990年	東京	五島瑛智子（東邦大学医学部 微生物学）
第6回	1991年	東京	出月 康夫（東京大学医学部 第二外科）
第7回	1992年	福岡	熊澤 淨一（九州大学医学部 泌尿器科）
第8回	1993年	東京	川名 林治（岩手医科大学医学部 細菌学）
第9回	1994年	東京	松本 文夫（神奈川県衛生看護専門学校付属病院）
第10回	1995年	倉敷	副島 林造（川崎医科大学 呼吸器内科）
第11回	1996年	東京	斎藤 厚（琉球大学医学部 第一内科）
第12回	1997年	新潟	荒川 正昭（新潟大学医学部 第二内科）
第13回	1998年	東京	岩井 重富（日本大学医学部 第三外科）
第14回	1999年	名古屋	品川 長夫（名古屋市厚生院）
第15回	2000年	大分	那須 勝（大分医科大学 第二内科）
第16回	2001年	東京	柴 孝也（東京慈恵会医科大学 内科学）
第17回	2002年	大阪	永井 勲（社会保険紀南綜合病院）
第18回	2003年	横浜	木村 哲（東京大学医学部付属病院 感染制御部）
第19回	2004年	横浜	砂川 慶介（北里大学医学部 感染症学）
第20回	2005年	神戸	守殿 貞夫（神戸大学大学院 腎泌尿器科学）
第21回	2006年	東京	山口 恵三（東邦大学医学部 微生物・感染症学）
第22回	2007年	横浜	小西 敏郎（NTT 東日本関東病院）
第23回	2008年	長崎	河野 茂（長崎大学医歯薬総合研究所 感染免疫学）
第24回	2009年	横浜	辻 明良（東邦大学医学部看護学科 感染制御学）
第25回	2010年	東京	小野寺昭一（東京慈恵会医科大学 感染制御部）
第26回	2011年	横浜	大久保 憲（東京医療保健大学大学院 感染制御学）
第27回	2012年	福岡	尾家 重治（山口大学医学部付属病院 薬剤部）
第28回	2013年	横浜	賀来 満夫 （東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学分野）
第29回	2014年	東京	岩田 敏（慶應義塾大学医学部 感染症学）
第30回	2015年	神戸	荒川 創一（神戸大学医学部付属病院 感染制御部）
第31回	2016年	京都	一山 智 （京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学/ 京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部）
第32回	2017年	神戸	森屋 恭爾 （東京大学大学院医学系研究科 病因病理学専攻感染制御学）
第33回	2018年	東京	針原 康（NTT 東日本関東病院）



第33回日本環境感染学会総会・学術集会 プログラム委員

副会長

高野 八百子 慶應義塾大学病院 感染制御部

プログラム委員長

森兼 啓太 山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部

プログラム委員

内山 正子 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部
大毛 宏喜 広島大学病院 感染症科
大友 陽子 東京女子医科大学病院 総合感染症・感染制御部
大曲 貴夫 国立国際医療研究センター 感染症内科
小野 和代 東京医科歯科大学医学部附属病院 看護部
小野寺直人 岩手医科大学医学部臨床検査医学講座・附属病院感染症対策室
國島 広之 聖マリアンナ医科大学 感染症学講座
黒須 一見 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際医療協力局
小池 竜司 東京医科歯科大学医学部附属病院 感染制御部
坂木 晴世 国立病院機構西埼玉中央病院 看護部
坂本 春生 東海大学医学部附属八王子病院 口腔外科
佐藤 智明 東京大学医学部附属病院 感染制御部 検査部
佐和 章弘 広島国際大学 薬学部 医療薬学研究センター
渋谷 智恵 公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程
高山 和郎 東京大学医学部附属病院薬剤部
竹末 芳生 兵庫医科大学 感染制御学
多湖 ゆかり 彦根市立病院
藤田 烈 帝京大学医学部 臨床研究医学講座
本田 仁 東京都立多摩総合医療センター 感染症科
三澤 成毅 順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部
満田 年宏 東京女子医科大学病院総合感染症・感染制御部 感染制御科
村上 啓雄 岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター
森澤 雄司 自治医科大学 感染制御部
吉田 正樹 東京慈恵会医科大学 感染制御部

(敬称略五十音順)



目次

第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会の開催にあたって	2
日本環境感染学会総会記録	5
第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会 プログラム委員	6
会場周辺図	8
無料シャトルバス（品川～高輪エリア循環）のご案内	9
会場案内	10
企業展示会場 スタンプラリーのご案内	12
日程表	18
参加者へのご案内	26
演者・司会・座長の先生方へ	29
ポスター会場	33
第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会プログラム	35
会長講演	35
副会長講演	35
理事長講演	35
招請講演	35
シンポジウム	36
パネルディスカッション	43
教育講演	47
ベーシックレクチャー	51
災害時感染制御検討委員会企画	52
JHAIS 委員会企画	52
第 14 回教育委員会講習会	53
日本環境感染学会多剤耐性菌感染制御委員会企画	53
日本環境感染学会・職業感染制御委員会との合同企画	53
編集委員会企画	54
日本外科感染症学会合同企画	54
日本医療薬学会合同シンポジウム	54
日本救急医学会合同企画	55
新生児感染症管理予防研究会合同シンポジウム	55
職業感染制御研究会企画（シンポジウム）	56
職業感染制御研究会企画（ベーシックレクチャー）	56
私立医科大学病院感染対策推進会議企画	56
あり方委員会企画	57
第 275 回 ICD 講習会	57
ランチョンセミナー	58
スイーツセミナー	61
アフタヌーンセミナー	61
一般演題（口演）	65
一般演題（ポスター）	93
協賛一覧	127

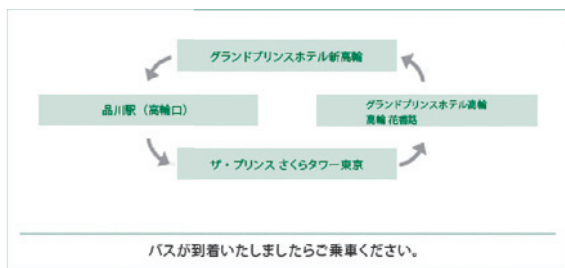
会場周辺図



- 新幹線・JR線・京浜急行品川駅(高輪口)から徒歩5分
- 都営地下鉄浅草線高輪台駅から徒歩3分
- 京浜急行羽田空港駅から品川駅へ最速11分

※ タクシーでお越しの際は「国際館パミール」と指定いただきますと、参加受付に近く便利です。

無料シャトルバス（品川～高輪エリア循環）のご案内



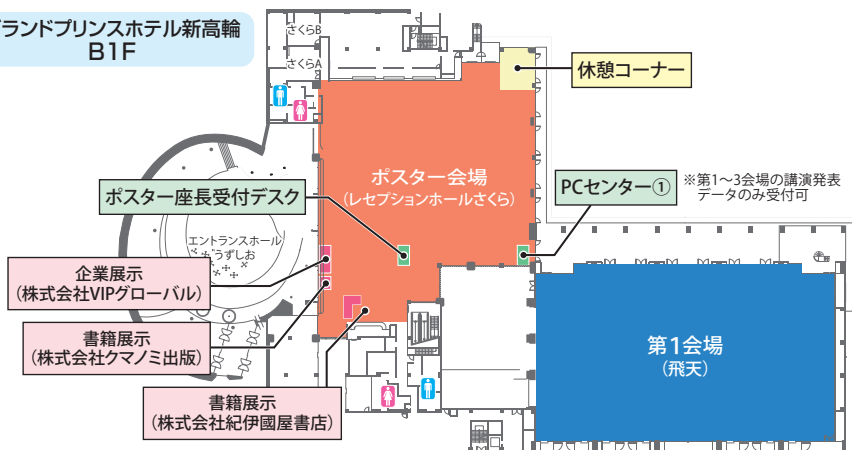
出発予定時刻表／Timetable

時刻	品川駅 (高輪口)	ザ・プリンス さくらタワー東京	グランドプリンスホテル高輪 高輪 花香路	グランドプリンスホテル 新高輪
時／hr	Shinagawa Station	The Prince Sakura Tower Tokyo	Grand Prince Hotel Takanawa TAKANAWA HANAKOHO	Grand Prince Hotel New Takanawa
8～20 (毎時) (Everyhour)	00	03	07	15
	20	23	27	35
	40	43	47	55
21	00	03	07	15
	20	23	27	-

※状況により運行時間、本数
およびルートが変更になる
場合がございます。
※各ホテル利用者の使用する
バスのため時間帯や人数
によっては、ご乗車いただ
けない場合もございます。
ご了承ください。

会場案内

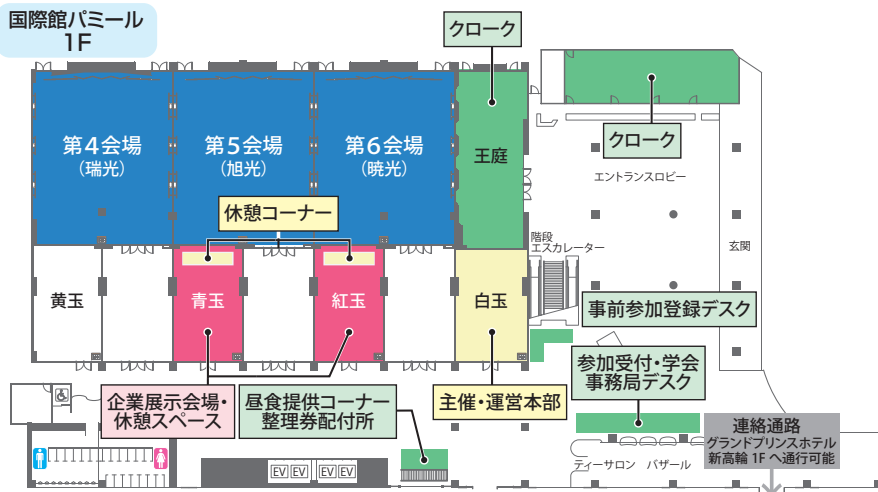
グランドプリンスホテル新高輪 B1F



グランドプリンスホテル新高輪 3F



国際館パミール 1F

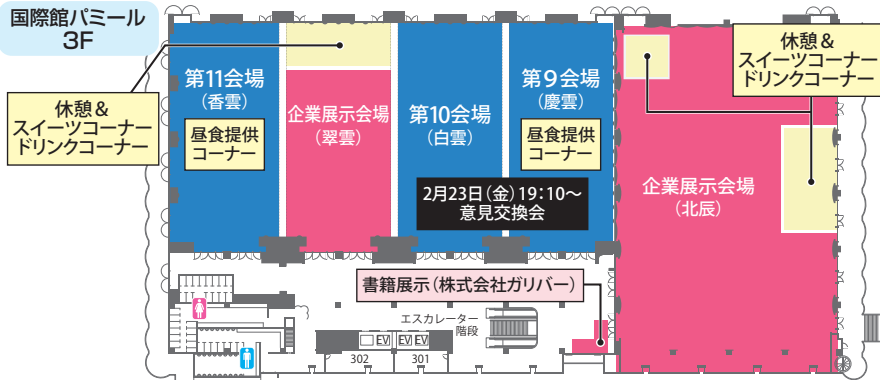




国際館パミール
2F



国際館パミール
3F



グランドプリンスホテル高輪
B1F



企業展示会場 スタンプラリーのご案内

会期中、国際館パミールの企業展示会場内でスタンプラリーを開催いたします。

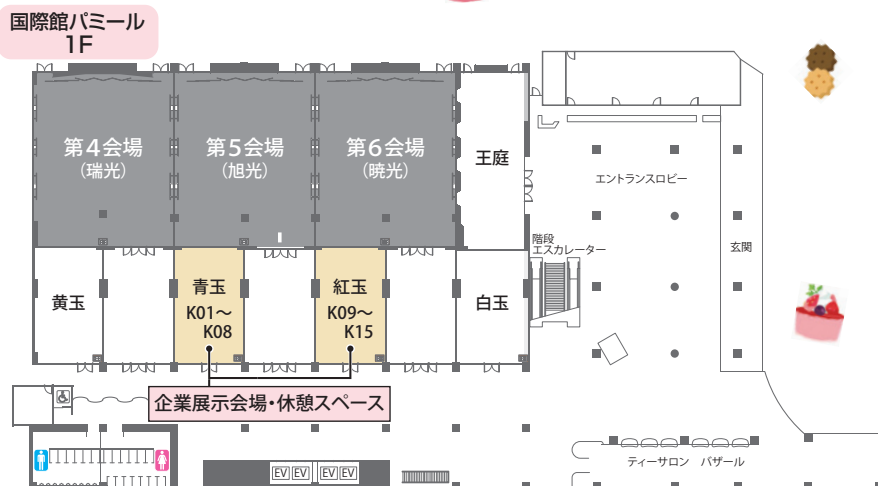
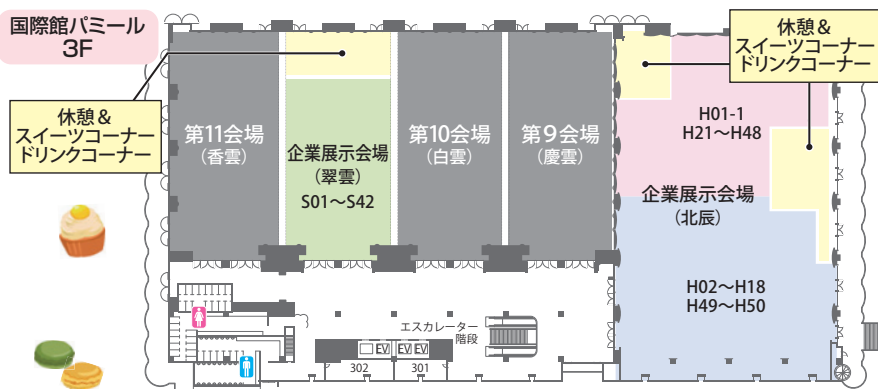
展示会場内の各エリア（青・赤・緑・黄）で、スタンプを4つ集めていただいた方には、参加証付属のスタンプカードと引き換えに、特製スイーツをプレゼントいたします。

皆さま奮って企業展示会場へお越しください。

※無くなり次第、配付を終了いたします。

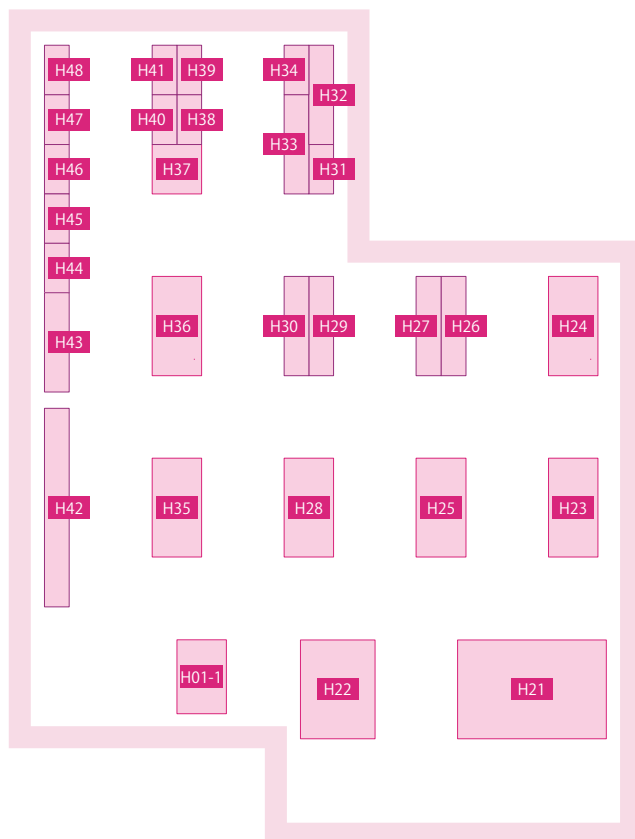
詳細は、学術集会ホームページ（<http://www.congre.co.jp/33jsipc/>）でご案内いたします。

開催時間 2月23日(金) 9:00~18:00 | 2月24日(土) 8:30~15:00



企業展示会場（グランドプリンスホテル新高輪 パミール館 3F 北辰）

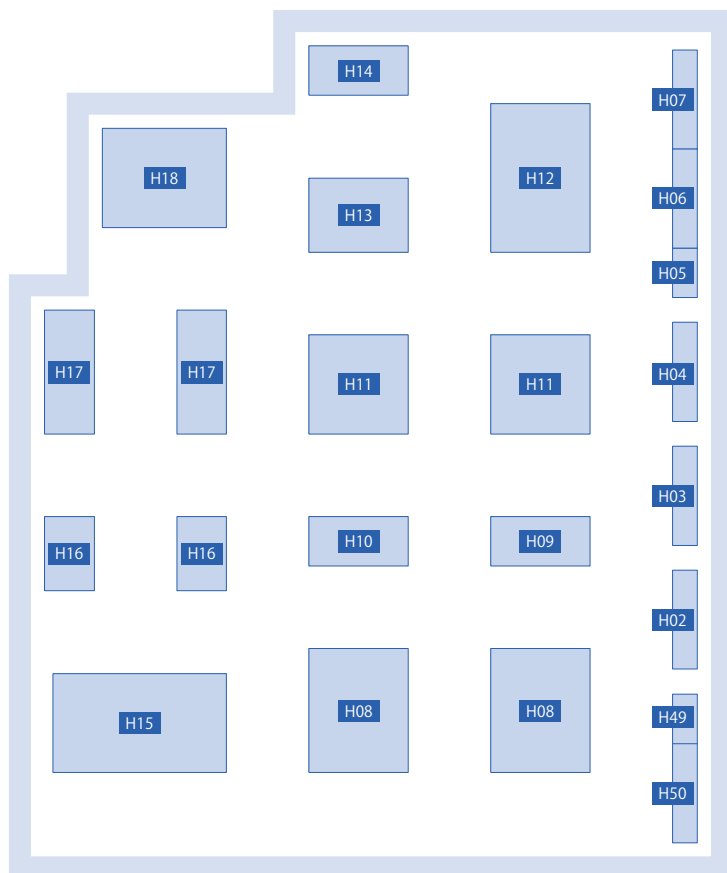
企業展示会場



No.	出展社名
H01-1	株式会社 VIP グローバル
H21	ミドリ安全株式会社
H22	ビー・ブラウンエースクラブ株式会社
H23	アルケア株式会社
H24	株式会社メルシー
H25	スリーエム ジャパン株式会社
H26	メディキット株式会社
H27	株式会社小池メディカル
H28	丸石製薬株式会社
H29	日本コヴィディエン株式会社
H30	株式会社ミタス
H31	コヴィディエンジャパン株式会社
H32	TOTO 株式会社
H33	オオサキメディカル株式会社
H34	宇都宮製作株式会社

No.	出展社名
H35	ハクソウメディカル株式会社
H36	日機装株式会社/日科ミクロン株式会社
H37	健栄製薬株式会社
H38	シャボン玉石けん株式会社
H39	兼一薬品工業株式会社
H40	株式会社名優
H41	株式会社スズケン
H42	吉田製薬株式会社
H43	旭化成アドビンス株式会社
H44	株式会社大塚製薬工場
H45	株式会社フリーキア製薬
H46	株式会社東陽テクニカ
H47	パラマウントベッド株式会社
H48	シオエ製薬株式会社

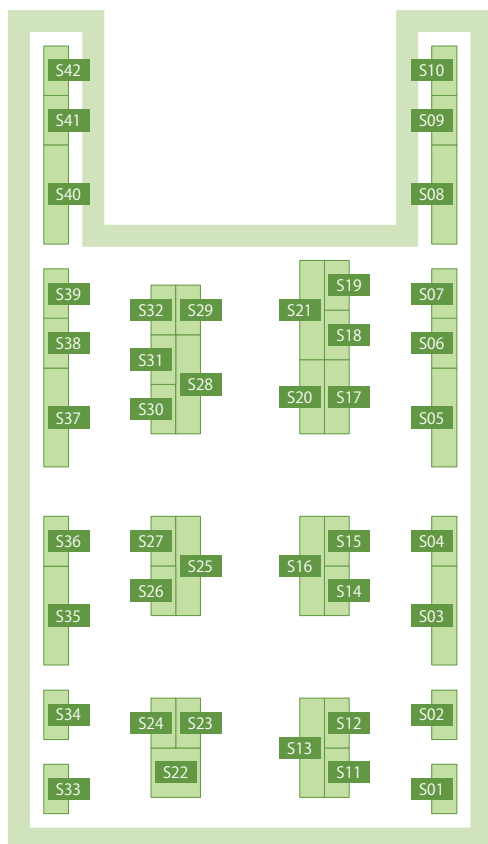
企業展示会場（グランドプリンスホテル新高輪 パミール館 3F 北辰）



No.	出展社名
H02	サクラ精機株式会社
H03	イオンディライト株式会社
H04	杉田産業株式会社
H05	株式会社 IMU・GENOS
H06	株式会社バルメディカル
H07	株式会社医療福祉研究所
H08	株式会社モレーンコーポレーション
H09	富士フイルム株式会社/ 富士フイルムメディカル株式会社
H10	メドライン・ジャパン合同会社

No.	出展社名
H11	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
H12	ニプロ株式会社
H13	株式会社メディコン
H14	小川医理器株式会社
H15	テルモ株式会社
H16	アトムメディカル株式会社
H17	ハリヤード・ヘルスケア・インク
H18	サラヤ株式会社
H49	ベックマン・コールター株式会社
H50	株式会社岡村製作所

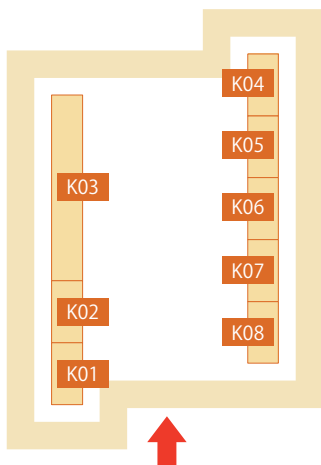
企業展示会場（グランドプリンスホテル新高輪 パミール館 3F 翠雲）



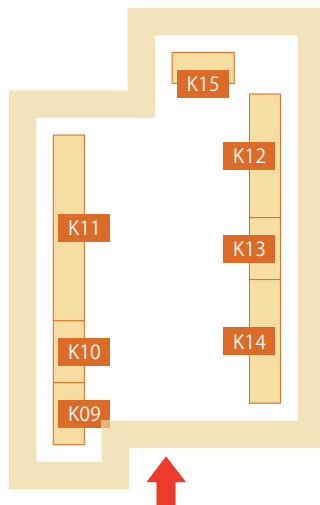
No.	出展社名
S01	株式会社カネカ
S02	株式会社ニチオン
S03	キッコーマンバイオケミファ株式会社
S04	シスメックス株式会社
S05	花王プロフェッショナル・サービス株式会社
S06	東栄部品株式会社
S07	株式会社アースブルー
S08	株式会社カインドウェア
S09	三興化学工業株式会社
S10	株式会社ケアコム
S11	NPO 法人 HAICS 研究会
S12	ニッタ株式会社
S13	イワツキ株式会社
S14	ニュートリー株式会社
S15	関東化学株式会社
S16	アイテック阪急阪神株式会社
S17	株式会社写真化学
S18	株式会社日本医化器械製作所
S19	日本製紙クレシア株式会社
S20	株式会社スミロン
S21	川本産業株式会社
S22	ピオメリュー・ジャパン株式会社
S23	有限会社 グッツール
S24	ケーディーアイコンス株式会社
S25	栄研化学株式会社
S26	株式会社セーフマスター
S27	株式会社スギヤマゲン
S28	白十字株式会社
S29	メンリッケヘルスケア株式会社
S30	有限会社テクノアメニティ
S31	株式会社 NBC メッシュテック
S32	株式会社ダン・タクマ
S33	オックスフォード・イムノテック株式会社
S34	アリーアメディカル株式会社
S35	株式会社ジエイ・エム・エス
S36	大研医器株式会社
S37	日本エア・リキード株式会社
S38	平和メディク株式会社
S39	株式会社グッドスマイルインターナショナル
S40	杏林製薬株式会社
S41	キョーリンメディカルサプライ株式会社
S42	大衛株式会社

企業展示会場（グランドプリンスホテル新高輪 パミール館 1F 青玉・紅玉）

青玉



紅玉



No.	出展社名
K01	株式会社セントラルユニ
K02	メディコムジャパン
K03	株式会社トーカイ/株式会社ティ・アシスト
K04	株式会社重松製作所
K05	株式会社メディテックジャパン
K06	スミスメディカル・ジャパン株式会社
K07	アキレス株式会社
K08	興研株式会社
K09	株式会社共和
K10	株式会社エリカ オプチカル
K11	東洋羽毛首都圏販売株式会社
K12	株式会社長谷川綿行
K13	日本メディカルプロダクツ株式会社
K14	シーバイエス株式会社
K15	乾商事株式会社



日程表 1日目 (2月23日金)

企業展示時間 9:00～18:00

グランドプリンスホテル新高輪			
第1会場 (B1F 飛天)	第2会場 (3F 天平)	第3会場 (3F 平安)	ポスター会場 (B1F さくら)
8:00			
9:00	開会式 会長講演 外科診療と感染対策 司会：小西 敏郎 演者：針原 康	教育講演 1 知っていますか？B型肝炎教育のこと： 医療従事者養成課程における実態と課題 司会：前田ひとみ 演者：操 華子	一般口演 1 抗菌薬適正使用 -1 O1-1～6
10:00	理事長講演 感染制御におけるパラダイムシフト—日本環境感染学会が目指すべき未来像— 司会：大久保 憲 演者：賀来 満夫	教育講演 2 大規模災害における 口腔保健活動の課題 司会：緒方 剛 演者：足立了平	一般口演 2 抗菌薬適正使用 -2 O2-1～6
11:00	シンポジウム 1 手指衛生遵守率の評価と フィードバック—最新技術を用いた先端施設の取り組み 司会：操 華子、飯沼 由嗣 演者：浅野 恵子、有瀬 和美、 新居 晶恵、堀 賢	教育講演 3 ベッドパウンウォッシャー：フラッシュャー ディスインフェクター (FD) の適正使用 司会：鍋谷 佳子 演者：村上 啓雄	一般口演 3 抗菌薬適正使用 -3 O3-1～5
12:00		教育講演 4 薬剤耐性・アウトブレイクとコスト 司会：山 智 演者：今中 雄一	ポスター閲覧
13:00	ランチョンセミナー 1 CDC ガイドライン 2011 の その後—閉鎖式デバイス、その 選択に誇りを持てますか？— 共催：日本ベクトン・ディッキンソン(株)	ランチョンセミナー 2 あらためて見直そう。尿路感染管理～AMR 対策も踏まえて～ 共催：關メディコン	
14:00	ベーシックレクチャー 1 感染制御に必要な統計学 ～統計を学ぶための第一歩～ 司会：芹 康雄 演者：菊地 義弘	一般口演 4 抗菌薬適正使用 -4 O4-1～6	ポスター発表 (前半)
15:00	招請講演 1 看護師のキャリア教育の 動向と今後 司会：小林 寛伊 演者：坂本 すが	ベーシックレクチャー 2 消毒薬の視点から強く感染制御～実践に役立つ消毒薬の基礎知識～ 司会：白石 正 演者：潮平 英郎	ポスター発表 (後半)
16:00	名誉会員・功労会員授与式 学会賞表彰・受賞講演 上田 Award 表彰	スイーツセミナー 1 針刺し損傷防止機能付きペン型 注入器用注入針の導入効果 共催：日本ベクトン・ディッキンソン(株)	ポスター閲覧
17:00	第 14 回教育委員会講習会 あなたの施設にも CRE がやってくる 司会：川名 明彦、平松 玉江 演者：賀井 陽子、美島 路恵、西 圭史、 三澤 成毅	アフタヌーンセミナー 1 感染対策地域ネットワークの今、これから～躊躇するアナタ、でもアナタならきっとできる！ネットワーク構築～ 共催：丸石製薬(株)	ポスター撤去
18:00	教育講演 5 培養検査のプロセスを考える～原因菌を確実に検出するために～ 司会：大毛 宏喜 演者：日暮 芳己	BSI-1～2 SSI-1 歯科・医療材料 手指衛生 -1～4 インフルエンザ -1～2 C.difficile・ノロウイルス 抗菌薬適正使用 -1～4 消毒・洗浄・滅菌 MRSA 等の細菌感染	針刺し切創・体液曝露 結核 標準予防策、経路別予防策 -1～2 組織、活動 -1～2 教育、啓発 -1～2 アウトブレイク -1～3 ウイルス感染 NICU 地域連携 -1～2
19:00			



国際館パミール				
第4会場 (1F 瑞光)	第5会場 (1F 旭光)	第6会場 (1F 暁光)	第7会場 (2F 青葉)	
				8:00
				9:00
一般口演 7 環境整備 -1 O7-1~6	シンポジウム 2 感染制御の戦略 ～どのように推進しますか～ 司会：植田 貴史、橋本 文代 演者：一木 薫、塚田 真弓、帯金 里美、 泉澤 友宏	日本環境感染学会・職業感染 制御委員会との合同企画 職業感染制御委員会企画 司会：國島 広之、菅野 みゆき 演者：藤田 昌久、豊川 真弘、四柳 宏、 吉川 徹	一般口演 12 BSI（血液感染）-1 O12-1~6	10:00
一般口演 8 教育、啓発 -1 O8-1~6	災害時感染制御検討委員会 企画 感染制御のスペシャリストが担う べき災害時の役割～我々は何を学 び、何を創ろうとしているのか～ 司会：櫻井 滋、加来 浩器 基調発言：賀来 満夫 演者：泉川 公一、加来 浩器、 菅原 えりさ、児玉 栄一	教育講演 6 在宅ケアにおける感染管理の考え方 ～地域包括ケアシステムの推進に備える 司会：上瀬 紳子 演者：高山 義浩	一般口演 13 BSI（血液感染）-2 O13-1~5	11:00
一般口演 9 教育、啓発 -2 O9-1~5		教育講演 7 肺結核の院内感染対策～空気感染 対策の実態と感染拡大防止の方法～ 司会：堀 誠治 演者：井端 英恵	一般口演 14 プロセス管理 O14-1~5	12:00
ランチョンセミナー 3 誤刺防止機構付静脈留置針導入 10年 新たな課題と対策 共催：ビー・ブラウンエススクラップ(株)	ランチョンセミナー 4 手指衛生とその周辺に関するホット トピックス～患者さんにも医療者にも 優しい手指衛生を目指して～ 共催：サラヤ(株)		ランチョンセミナー 5 当院 ICT の取り組み～インフルエン ザを例として、看護師の立場で～ 共催：富士フィルム(株) / 富士フィルムメディカル(株)	13:00
一般口演 10 手指衛生 -1 O10-1~6	JHAIS 委員会企画 サーベイランスのプロが伝授！ 2016年 JHAIS サマリーと症例判定 司会：高野 八子、針原 康 演者：森兼 啓太、藤田 烈、坂本 晴世、 清水 潤三、渡邊 都貴子、 柴谷 涼子	教育講演 8 AMR・HAI サーベイランスの今後 司会：村木 優一 演者：早川 佳代子	一般口演 15 微生物検査 O15-1~6	14:00
一般口演 11 手指衛生 -2 O11-1~6	パネルディスカッション 1 軟性内視鏡器具の再生処理に関 する課題と動向 司会：金光 敬二、島崎 豊 演者：木村 英伸、齋藤 康一郎、 長谷川 久弥、高階 雅紀	日本救急医学会合同企画 「救急外来部門における感染対 策」の標準化に挑む 2017 司会：池田 弘人、佐々木 淳一 第一部：合同 WG 活動報告 2017 演者：森田 正則、椎野 泰和、藤田 昌久、 志馬 伸朗 第二部：感染対策をディベートで考 える！救急医 vs 感染制御医 プレゼンター：鍋谷 佳子 ディスカッサント：松山 重成、長門 直、 添田 博	スイーツセミナー 2 手荒れ対策もバッチリ！手指衛生 遵守率アップに向けた取り組み 共催：杏林製薬(株) / 日本エア・リキード(株)	15:00
アフタヌーンセミナー 2 医療環境のきれいごと 共催：関モレーンコーポレーション	あり方委員会企画 ファミリーマネジメント 感染管理担当者のあり方を考える 司会：菅野 みゆき、吉田 真紀子 演者：坂本 史衣、小野 勤子、岡 幸彦 追加発言：賀来 満夫	教育講演 9 学校・保育園・幼稚園における感染 予防一日常的な指導とアウトブレイク 発生時の支援の実態 司会：高野 八子 演者：坂本 晴世		16:00
		教育講演 10 病院清掃委託事業者は医療 サービスの質向上の担い手 司会：森屋 恭爾 演者：菅原 えりさ		17:00
				18:00
				19:00

日程表（1日目）

日程表 1日目 (2月23日金)

国際館パミール			
第8会場 (2F 松葉)	第9会場 (3F 松雲)	第10会場 (3F 白雲)	第11会場 (3F 香雲)
8:00			
9:00	教育講演 11 カテーテル関連尿路感染を減らす サーベイランスと対策 司会：高橋 聡 演者：坂本 史衣	新生児感染症管理予防研究会 合同シンポジウム NICUの感染制御一次の10年に 向けた課題3選 司会：大城 誠、星野 智子 演者：大城 誠、松永 展明、木下 大介、 坂本 晴世	パネルディスカッション 3 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) を取り巻く現状： 課題と対策 司会：泉川 公一、石井 良和 演者：鈴木 里和、石井 良和、八木 哲也、 長谷川 悠太、藤田 せつ子
10:00	一般口演 16 消毒・洗浄・滅菌 -1 O16-1～6		
11:00	一般口演 17 消毒・洗浄・滅菌 -2 O17-1～6	教育講演 12 感染対策を「習慣」にする サーベイランスデータの活用 司会：木津 純子 演者：坂本 史衣	
	一般口演 18 消毒・洗浄・滅菌 -3 O18-1～5	教育講演 13 SSI 防止ガイドラインをどう考えるか 司会：荒川 創一 演者：清水 潤三	パネルディスカッション 2 環境浄化の新しい技術と 医療現場への応用 司会：大久保 恵、吉田 理香 演者：大久保 恵、尾家 重治、金森 肇、 西村 秀一
12:00			パネルディスカッション 4 国外で拡散し国内へ持ち込まれる 薬剤耐性菌と感染対策 司会：大曲 貴夫、三澤 成毅 演者：菅井 基行、長野 則之、石井 良和、 早川 佳代子
13:00	ランチョンセミナー 6 現場での器材の再生処理と薬剤 耐性菌対策～ローカルレベルに なっていませんか？～ 共催：吉田製薬㈱	昼食提供コーナー	ランチョンセミナー 7 クロストリジウム・ディフィシル感 染症の日常診療の課題に迫る ～診断、治療、感染管理～ 共催：アステラス製薬㈱
14:00	一般口演 19 標準予防策、経路別予防策 O19-1～6	日本外科感染症学会合同企画 手術部位感染予防の考え方 ―エビデンスの解釈と コストについて 司会：大久保 恵、渋谷 智恵 パネリスト：渡邊 学、畑 啓昭、 青山 恵美、澤木 ゆかり プレゼンター：大毛 宏喜 総括発言：吉田 理香	職業感染制御研究会企画 (シンポジウム) 血液体液曝露の残された課題 司会：満田 年宏、李 宗子 演者：李 宗子、満田 年宏、網中 真由美、 森澤 雄司
15:00	一般口演 20 針刺し切創・体液曝露 -1 O20-1～6		シンポジウム 4 今だから知りたい口腔衛生管理 の基礎知識 司会：坂本 春生、栗原 英晃 演者：今井 健一、岸本 裕充、高橋 美穂、 長谷 由紀子
16:00	一般口演 21 針刺し切創・体液曝露 -2 O21-1～6	シンポジウム 3 看護師特定行為研修を 感染管理に活用する 司会：洪 愛子、森澤 雄司 演者：渋谷 智恵、柴谷 涼子、細田 清美、 齋藤 祐輔	教育講演 14 JANIS データの利用法について 司会：柴山 恵吾 演者：筒井 敦子、加藤 維斗
17:00			パネルディスカッション 5 サーベイランスデータに基づいた 現場実践～効果的なサーベイ ランスのフィードバックに向けた 私たちの取り組み～ 司会：黒須 一見、大石 貴幸 演者：嶋 雅範、黒木 利恵、片岡 明美、 下川 結花
18:00			シンポジウム 5 抗菌薬適正使用支援プログラム をめぐる新しい展開 司会：森澤 雄司、松本 昌哉 演者：山田 康一、足立 遼子、矢島 秀明、 寺山 義泰
19:00			
意見交換会			



同時通訳

グランドプリンスホテル高輪				
第12会場 (B1F プリンズルーム)	第13会場 (B1F クラウンルーム)	第14会場 (B1F ロイヤルルーム)	第15会場 (B1F アメジスト)	
				8:00
				9:00
パネルディスカッション 6 施設内アウトブレイク こんなとき ICT はどうする？ 司会：大友 陽子、小池 竜司 演者：三浦 美穂、池谷 修、太田 浩敏、石黒 信久	一般口演 22 インフルエンザ -1 O22-1～6	一般口演 25 地域連携 -1 O25-1～6	一般口演 28 ウイルス感染 -1 O28-1～5	10:00
	一般口演 23 インフルエンザ -2 O23-1～6	一般口演 26 地域連携 -2 O26-1～6	一般口演 29 ウイルス感染 -2 O29-1～4	11:00
シンポジウム 6 どっぷり浸りたいあなたへ ～透析関連感染サーベイランスを 元にした感染対策から、透析室で 日常遭遇する感染症対策まで～ 司会：森兼 晋太、多湖 ゆかり 演者：森兼 晋太、山下 恵美、多湖 ゆかり、谷口 弘美、林沼 聖子	一般口演 24 インフルエンザ -3 O24-1～5	一般口演 27 薬剤耐性菌 O27-1～4	一般口演 30 細菌感染 O30-1～6	12:00
ランチョンセミナー 8  Formulation matters ～組成が 示唆する手指消毒剤の効果～ 共催：ゴージョージャパン(株)	ランチョンセミナー 9 みんなで取り組む小児の感染管理 ～手洗いからワクチンまで～ 共催：ジャパンワクチン(株) / 第一三共(株)	ランチョンセミナー 10 手術室の感染対策を改善するた めのコツ 共催：ハリヤード・ヘルスケア・インク		13:00
日本医療薬学会 合同シンポジウム AMR 対策アクションプランへの貢 献：両学会がどのように関わって いくか、どのように結果を出して いくか！ 司会：小野寺 直人、北原 隆志 演者：高山 和郎、堀 賢、猪川 和朗、小田 真隆、館田 一博	教育講演 15 消毒薬の適切な使用と 新世代消毒薬 司会：佐和 章弘 演者：緒岡 克弘			14:00
				15:00
私立医科大学病院 感染対策推進会議企画 病院における薬剤耐性菌対策—私立医科大学 病院感染対策推進会議データからの考察— 司会：若田 敬 演者：三澤 成毅、池谷 修、藤田 烈 追加発言：堀 誠治				16:00
				17:00
シンポジウム 7 薬剤師が ICT、AST メンバーの中 で果たす役割を今改めて考える 司会：佐和 章弘、山崎 博史 演者：山崎 博史、村木 優一、前田 真之、白石 正 統括発言：小野寺 直人				18:00
				19:00

日程表 (1日目)

日程表 2日目 (2月24日)

企業展示時間 8:30~15:00 (青玉、紅玉のみ 16:30 まで)

グランドプリンスホテル新高輪			
第1会場 (B1F 飛天)	第2会場 (3F 天平)	第3会場 (3F 平安)	ポスター会場 (B1F さくら)
8:00			ポスター貼付
シンポジウム 8 2017 年の感染制御に関する Top Papers 司会: 森兼 啓太 演者: 本田 仁、早川 佳代子、森兼 啓太	教育講演 16 感染管理と栄養 司会: 尾家 重治 演者: 深柄 和彦	一般口演 31 手指衛生 -3 O31-1~6	ポスター閲覧
	教育講演 17 実用化が期待されるワクチンの 概要と展望 司会: 辻 明良 演者: 岡部 信彦	一般口演 32 手指衛生 -4 O32-1~6	
パネルディスカッション 7 アウトブレイクの経験を どのように生かすか 司会: 藤田 烈、八木 哲也 演者: 原之園 美希、稲垣 薫、松永 直久		一般口演 33 手指衛生 -5 O33-1~6	ポスター発表 (前半)
12:00	ランチョンセミナー 11 インфекション ZERO へ 限らない挑戦 共催: 岡大塚製薬工場		ポスター発表 (後半)
13:00			
副会長講演 多職種が力を発揮して感染対策を極める (予定) 司会: 柴 孝也 演者: 高野 八百子	教育講演 18 ファシリテッドクックと感染対策 司会: 満田 年宏 演者: 森田 優子	一般口演 34 組織、活動 -1 O34-1~6	ポスター発表 (後半)
招請講演 2 医療事故調査制度について 司会: 木村 哲 演者: 宮田 哲郎	ベーシックレクチャー 3 微生物を知らう: アウトブレイクを 起こす細菌 パート 1 司会: 佐藤 智明 演者: 岡部 一成、和久田 光毅	一般口演 35 組織、活動 -2 O35-1~5	
日本環境感染学会多剤耐性菌 感染制御委員会企画 確認しよう! 薬剤耐性グラム陰性桿 菌の基礎知識と感染対策の実践 司会: 柳原 克紀、菅原 えりさ 演者: 小佐井 康介、石井 良和、 渡邊 都貴子、山岸 由佳	ベーシックレクチャー 4 微生物を知らう: アウトブレイクを 起こす細菌 パート 2 司会: 中島 一敏 演者: 河口 豊、桑川 周	一般口演 36 C.difficile O36-1~6	ポスター撤去
	ベーシックレクチャー 5 大規模調理施設としての 病院給食食品安全管理 司会: 内田 美保 演者: 一色 賢司		
閉会式			
第 275 回 ICD 講習会 本邦における医療関連感染サー ベイランスを知らう—医療関連感 染サーベイランスとその活用によ る感染対策— 司会: 針原 康、草地 信也 演者: 簡井 敦子、針原 康、藤本 修平 大曲 貴夫			BSI-3~4 手指衛生 -5~7 抗菌薬適正使用 -5~6 教育、啓発 -3~4 ワクチン 組織、活動 -3 アウトブレイク -4~5 環境整備 -1~2 薬剤耐性菌 -1~2 微生物検査 -1~2 サーベイランス 病院建築設備 医療機器 SSI-2 地域連携 -3~4 プロセス管理 -1~2 その他 -1~2
19:00			

ポスター発表

BSI-3~4
手指衛生 -5~7
抗菌薬適正使用 -5~6
教育、啓発 -3~4
ワクチン
組織、活動 -3
アウトブレイク -4~5
環境整備 -1~2
薬剤耐性菌 -1~2
微生物検査 -1~2
サーベイランス
病院建築設備
医療機器
SSI-2
地域連携 -3~4
プロセス管理 -1~2
その他 -1~2



国際館パミール			
第4会場 (1F 瑞光)	第5会場 (1F 旭光)	第6会場 (1F 暁光)	第7会場 (2F 青葉)
			8:00
一般口演 37 組織、活動-3 O37-1～6	シンポジウム 9 医療機関・行政におけるバイオ セーフティを考える 司会：金光 敬二、長沢 光章 演者：篠原 克明、堀 成美、田中 慎一、 加来 浩器	教育講演 19 院内感染する輸入感染症—麻疹、 中東呼吸器症候群（MERS）、 インフルエンザ A（H7N9）— 司会：小野寺 昭一 演者：三崎 貴子	一般口演 46 アウトブレイク -1 O46-1～6
一般口演 38 組織、活動-4 O38-1～6		教育講演 20 トコジラミの脅威：ムシすると トリ返しにつかない事態に！ 司会：高橋 孝 演者：金井 信一郎	一般口演 47 アウトブレイク -2 O47-1～6
一般口演 39 組織、活動-5 O39-1～5	パネルディスカッション 8 HIV 感染症患者の入院・入所の 拡大のためにできること 司会：田邊 嘉也、内山 正子 演者：横薨 能行、池田 和子、桑原 正祐、 水野 雄介	教育講演 21 4学会提言：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌への 臨床的対応—CPE も対象とした感染対策の重要性— 司会：草地 信也 演者：館田 一博	一般口演 48 アウトブレイク -3 O48-1～5
ランチョンセミナー 12 もっと良くなる環境整備のポイント ～手指衛生だけじゃダメなの？～ 共催：テルモ(株)	ランチョンセミナー 13 環境整備と医療経済 共催：杏林製薬(株) / キョーリンメディカルサプライ(株)	ランチョンセミナー 14 結核 doctor's delay ゼロをめざして —慈恵医大の取り組み— 共催：オックスフォード・イムノテック(株)	
			12:00
一般口演 40 手指衛生 -6 O40-1～6	一般口演 43 教育、啓発 -3 O43-1～6		一般口演 49 アウトブレイク -4 O49-1～6
		教育講演 22 AMR アクションプラン 日本の戦略 司会：竹末 芳生 演者：大曲 典夫	
一般口演 41 手指衛生 -7 O41-1～6	一般口演 44 教育、啓発 -4 O44-1～5	教育講演 23 新規抗菌薬の必要性和開発状況 司会：臼杵 尚志 演者：花木 秀明	一般口演 50 アウトブレイク -5 O50-1～5
一般口演 42 NICU O42-1～5	一般口演 45 教育、啓発 -5 O45-1～5	ベーシックレクチャー 6 どうする？手術室 司会：大友 陽子 演者：橋場 敦子、矢野 邦夫	
			16:00
			17:00
			18:00
			19:00

日程表 2日目 (2月24日)

国際館パミール			
第8会場 (2F 松葉)	第9会場 (3F 慶雲)	第10会場 (3F 白雲)	第11会場 (3F 香雲)
8:00			
一般口演 51 環境整備-2 O51-1~6	シンポジウム 10 VRE アウトブレイク：地域における蔓延をどう阻止するか？ ～地域での蔓延阻止は地域連携が鍵を握る～ 司会：満田 年宏、須川 真規子 演者：山口 征啓、藤田 直久、下川 純花、小林 利彰	シンポジウム 12 日本における <i>Clostridioides (Clostridium) difficile</i> の流行状況と感染対策 司会：三浦 成毅、館田 一博 演者：加藤 なる、齋藤 良一、森 伸晃、館田 一博	シンポジウム 13 Antimicrobial stewardship team のための MRSA 感染治療戦略 司会：山本 善裕、浜田 幸宏 演者：浜田 幸宏、茂見 茜里、関 雅文、辻 泰弘、楠田 貴史 コメンテーター：竹末 芳生
一般口演 52 環境整備-3 O52-1~6		パネルディスカッション 10 地域包括ケアシステムを推進するために必要な感染対策の視点～病院、施設、在宅等様々な立場から～ 司会：高山 義浩、高山 和郎 演者：加藤 なる、浅田 由美子、別所 千枝、高山 義浩	シンポジウム 14 感染制御担当者に求められるマネジメント力 司会：本田 仁、小野 和代 演者：小西 竜太、本田 仁、大友 陽子、浦上 宗治
一般口演 53 環境整備-4 O53-1~5	教育講演 24 ジェネリック抗菌薬についてもっと知ろう 司会：二木 芳人 演者：藤村 茂		
12:00			
ランチョンセミナー 15 検査室における感染対策 共催：サクラ精機㈱	昼食提供コーナー	ランチョンセミナー 16 手術時の感染予防：課題と対策 共催：三興化学工業㈱	昼食提供コーナー
13:00			
一般口演 54 SSI-1 O54-1~6	パネルディスカッション 9 シングルユース製品 (SUD) を取り巻く諸問題 司会：千鈞 浩樹、深尾 亜由美 演者：橋本 真紀代、久保田 英雄、高階 雅紀、森井 大一 特別発言：大久保 憲	編集委員会企画 臨床の知見をエビデンスにするーアクセプトされる論文を書くためにー 司会：長谷川 直樹 演者：木津 純子、操 肇子	シンポジウム 15 診療科の特殊性を考慮した感染対策 司会：松永 直久、細田 清美 演者：牧上 久仁子、大首 清香、青木 美栄子、岡森 景子
一般口演 55 SSI-2 O55-1~6	シンポジウム 11 感染制御のエビデンスを作る 司会：小池 竜司、藤田 烈 演者：平川 晃弘、横田 勲、松村 泰志、田代 志門	薬害感染制御研究会企画 (ベシックレクチャー) 研究にエビデンスデータを利用するにあたって知るべきこと 司会：人見 重美 演者：木戸内 清、細見 由美子	パネルディスカッション 11 インフルエンザ対策ーどこまで行うかー 司会：村上 啓雄、吉田 正樹 演者：川名 明彦、重野 みゆき、本田 順一、草 麻紀子、吉田 正樹
一般口演 56 SSI-3 O56-1~5		教育講演 25 米国における医療感染学 (Healthcare Epidemiology) の現状とその方向性 司会：山口 征啓 演者：後藤 道彦	
17:00			
18:00			
19:00			



同時通訳

グランドプリンスホテル高輪				
第12会場 (B1F プリンズルーム)	第13会場 (B1F クラウンルーム)	第14会場 (B1F ロイヤルルーム)	第15会場 (B1F アメジスト)	
				8:00
シンポジウム 16 感染症診断・治療・制御における4職種役割と他職種に望むこと 司会：渋谷 智恵、佐藤 智明 演者：龍野 桂太、古谷 直子、高橋 佳子、溝口 美祐紀	一般口演 57 ワクチン -1 O57-1~7	一般口演 62 UTI-1 O62-1~6	一般口演 67 医療材料 O67-1~6	9:00
シンポジウム 17 欧米ガイドラインからみた手術部位感染予防対策 司会：土田 敏恵、小林 美奈子 演者：土田 敏恵、畑 啓昭、川村 英樹、高橋 佳子、渡邊 学	一般口演 58 ワクチン -2 O58-1~7	一般口演 63 UTI-2 O63-1~6	一般口演 68 サーベイランス O68-1~6	10:00
				11:00
ランチョンセミナー 17 医療関係者のための予防接種 共催：アステラス製薬㈱	ランチョンセミナー 18 カテーテル関連血流感染をどうモニタリングするか?:血液培養サーベイランスシステムの有用性 共催：日本ベクトン・ティッキングソン㈱	ランチョンセミナー 19 院内で結核患者を発見。その時どうする 共催：塩東製薬工業㈱		12:00
				13:00
シンポジウム 18 効果的な抗菌薬適正使用支援を押し進めるために必要なエLEMENTは？ 司会：三嶋 廣繁、本田 仁 演者：丹羽 隆、藤田 直久、鈴木 純、森岡 慎一郎、堀越 裕歩	一般口演 59 MRSA-1 O59-1~6	一般口演 64 結核 -1 O64-1~6		14:00
	一般口演 60 MRSA-2 O60-1~6	一般口演 65 結核 -2 O65-1~6		15:00
教育講演 26 逆ギレされないコミュニケーション team STEPPSの活用 司会：美島 路恵 演者：中澤 晴	一般口演 61 MRSA-3 O61-1~5	一般口演 66 結核 -3 O66-1~5		16:00
				17:00
				18:00
				19:00

参加者へのご案内

1. 参加受付

当日参加受付：グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール 1F

※グランドプリンスホテル新高輪・高輪には受付はございません。

日時：2月23日（金）8：00～17：00

2月24日（土）8：00～14：30

※事前参加登録された方は、予めお送りした参加証をお持ちください。

受付にお立ち寄りいただく必要はございません。

ネームカードケースは、当日参加受付付近にご用意しております。

※事前参加登録デスクはグランドプリンスホテル新高輪国際館パミール 1F にご 있습니다。

事前参加登録の参加証を紛失した際は お立ち寄りください。

2. 学会参加費（当日参加登録）

受付にて下記の要領でお支払いください。

1. 会員および非会員：11,000 円

2. 学生・大学院生・留学生：無料

（学校法人の正規生として所属する学生証、あるいは留学生の証明書を当日受付にご提示ください。）

参加証は氏名・所属をご記入の上、学会場では必ず着用してください。

3. 意見交換会

日時：2月23日（金）19：10～20：40（開場 18：40 予定）

場所：グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール 3F「慶雲＋白雲」（第9・10会場）

会費：無料

※会場では参加証を必ず着用してください。

4. 理事会

日時：2月22日（木）16：10～17：40

場所：グランドプリンスホテル高輪 B1F「アメジスト」（第15会場）

5. 評議員会

日時：2月22日（木）17：50～18：50

場所：グランドプリンスホテル高輪 B1F「クラウンルーム」（第13会場）

6. 名誉会員・功労会員授与式、学会賞表彰・受賞講演、上田 Award 表彰

日時：2月23日（金）15：50～16：40

場所：グランドプリンスホテル新高輪 B1F「飛天」（第1会場）

7. 第14回教育委員会講習会

日時：2月23日（金）17：00～18：50

場所：グランドプリンスホテル新高輪 B1F「飛天」（第1会場）

テーマ「あなたの施設にも CRE がやってくる」



8. 第275回ICD講習会

日時：2月24日（土）17：00～19：00

場所：第1会場（グランドプリンスホテル新高輪 B1F「飛天」）

テーマ「本邦における医療関連感染サーベイランスを知ろう

—医療関連感染サーベイランスとその活用による感染対策—

更新のための15単位が取得できます。また認定資格の一部となります。

*学術集会への参加のみの場合、取得可能な更新単位は5点です。

講習参加には必ず事前登録が必要です。ICD 制度協議会ホームページ講習会一覧よりお申込みください。

【ICD 講習会に関する問合せ先】

ICD 制度協議会

URL：http://www.icdjc.jp/klist.html TEL：03-5842-5845

FAX：03-5842-5846 E-mail：icd@theia.ocn.ne.jp

9. ランチョンセミナー

日時：2月23日（金）12：30～13：20

2月24日（土）12：00～12：50

※全セミナーの整理券は、事前申込にて規定数に達しましたので、当日配付予定はございません。整理券をお持ちでない方でも、当日の会場の空き状況により、入場することができますので、直接会場にお越しください。なお整理券は、セミナー開始5分後に無効となります。

10. スイーツセミナー

日時：2月23日（金）15：30～16：20

※全セミナーの整理券は、事前申込にて規定数に達しましたので、当日配付予定はございません。整理券をお持ちでない方でも、当日の会場の空き状況により、入場することができますので、直接会場にお越しください。なお整理券は、セミナー開始5分後に無効となります。

ランチョンセミナー・スイーツセミナーの事前申し込みをされた参加者の方へ
参加証とともに整理券を事前発送いたしております。
再発行は出来ませんので、忘れないように、必ずご持参ください。

11. アフタヌーンセミナー

日時：2月23日（金）16：40～17：30

整理券の配付はございません。直接会場にお越しください。

12. 昼食提供コーナー

日時：2月23日（金）12：30～13：10、2月24日（土）12：00～12：40

配付場所：グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール 3F「慶雲・香雲」

配付方法：整理券制

配付物：お弁当を配付いたします。数に限りがございますのでご了承ください。

【整理券詳細】

整理券配布時間：2月23日（金）8：00～12：00、2月24日（土）8：00～11：30

整理券配布場所：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 1F ホワイエ

13. スイーツコーナー

配付場所：グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール 3F「北辰」「翠雲」
参加証付属のスタンプラリー用紙と引き換えに、特製スイーツを配付いたします。

【スタンプの集め方】

展示会場内の展示ブースを回り、スタンプを4つ集めてください。

※無くなり次第、配付を終了いたします。

※スタンプラリーの詳細は学術集会ホームページをご参照ください。

14. 日本環境感染学会事務局からのお知らせ

〈入会に関するお願い〉

新しくご入会いただく方は、下記日本環境感染学会のホームページ事務手続きよりご入会申請をお願いいたします。

<http://www.kankyokansen.org/>

〈年会費納入に関するお願い〉

第33回日本環境感染学会総会・学術集会会場では年会費の納入が出来ません。

事務局よりお送りいたしました「払込取扱票」にて、年会費をお振込みいただきますようお願いいたします。

〈上記に関するお問い合わせ〉

〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-26-6 池田山パークヒルズ 202 号室

一般社団法人日本環境感染学会事務局

TEL：03-6721-9131/FAX：03-6721-9132

E-mail：jsipc@kankyokansen.org

15. その他のご案内

1. 会場内での写真・ビデオ撮影は固くお断りいたします。
2. 携帯電話の会場内での使用はご遠慮ください。
3. クロークのご案内

日時：2月23日（金）8：00～17：30

2月24日（土）8：00～15：00

場所：グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール 1F

貴重品のお預かりはできません。お預けの荷物は当日中にお引き取りください。

16. ドリンクサービスのご案内

各展示会場にてドリンクサービスをご用意いたします。



演者・司会・座長の先生方へ

【抄録について】

本抄録に印刷されている演題は、インターネットによって応募された抄録内容が直接印刷されております。表記の統一はなされておられません。（ごく一部において機械的に変更されている場合もあります）

共同著者は、日本環境感染学会学会員のみ記載しております。（2017年12月26日時点）

発表形式	1 演題あたりの発表時間	スライド枚数
指定演題	別途ご連絡しております。お時間をご確認ください。	スライド枚数に制限はありませんが、発表時間内で収まる枚数で作成してください。
一般口演	講演7分＋質疑応答3分	
ポスター発表	講演3分＋質疑応答2分	ポスター展示要項をご参照ください。

1. 指定演題司会・一般口演座長の方へ

- ・担当セッションの開始時刻10分前までに、次司会・次座長席（各会場内右前方）にご着席ください。
- ・セッション開始時刻になりましたらご登壇いただき、セッションを開始してください。
- ・司会・座長席上に計時装置が設置してあります。発表終了1分前に黄色、終了時に赤色の警告ランプが点灯します。セッションの進行は司会・座長の先生にお任せいたしますが、終了時間を厳守いただきますようご配慮ください。

2. 指定演題・一般口演演者の方へ

1) 発表時間

- ・セッションごとに講演時間、質疑応答の有無・時間および総合討論の有無など構成が異なります。事前にお送りしておりますご案内をご参照ください。
- ・演台上に計時装置が設置してあります。発表終了1分前に黄色、終了時に赤色の警告ランプが点灯します。時間厳守にご協力ください。

2) 発表データの準備

- ・PCプレゼンテーションのみです。
- ・USBメモリ、PC本体による発表が可能です。※CD-Rなどには対応していません。

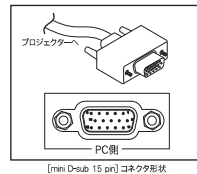
＜メディア持込の場合＞

- ・会場には、Windows 10搭載のPCをご用意しております。
対応するアプリケーションソフトは、Windows版PowerPoint 2010/2013/2016です。上記以外のソフトで作成したデータをご使用の場合、またはMacintosh端末をご使用の場合には、PC本体のお持ち込みをお願いいたします。
- ・動画データがある場合はPCのお持ち込みを推奨いたします。
- ・フォントはOS標準フォントをご使用ください。
日本語：MSゴシック、MS明朝、MSPゴシック、MSP明朝
英語：Arial、Times New Roman、Century等
画面レイアウトのバランス崩れを防ぐため、上記以外のフォントのご使用はご遠慮ください。
- ・動画については、Windows Media Playerで再生可能な形式にしてください。それ以外の形式の場合には、会場のPCでは再生できませんので、必ずご自身のPCをご持参ください。

- ・プレゼンテーションに他のデータ（静止画・動画・グラフなど）をリンクさせている場合は、必ず他データも保存し、事前に他のPCで動作確認をお願いします。
- ・ファイル名は「演題番号 演者名.ppt（2010/2013/2016の場合は.pptx）」としてください。

〈PC 本体持込の場合〉

- ・スムーズな進行をするために「発表者ツール」の使用はお控えください。
- ・スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除してください。
- ・プロジェクターのモニター端子はミニ D-Sub15 ピンです。
PC 本体お持ち込みで変換コネクタが必要な場合は必ずご持参ください。また、電源アダプタも必ずご持参ください。
- ・発表演題のファイル名は「演題番号 演者名.ppt（2010/2013/2016の場合は.pptx）」としてください。



3) 発表データの登録・運搬・返却

- ・PC 本体のお持ち込み、USB メモリのお持ち込みいずれの場合も、発表予定時間の 45 分前までに、PC センターにてデータ登録を行っていただきますようお願いいたします。
- ※発表会場のある施設内の PC センターでご登録ください。各施設はネットワークで繋がっていません。
- ※第 1 日目の早朝の受付は、同日の午前中の発表の方を優先させていただきます。
- ※第 1 日目午後・第 2 日目の発表の方は、第 1 日目の午前 11 時以降からのデータ受付にご協力をお願いいたします。
- ※第 2 日目の午前中の発表者は、できるだけ前日中にご登録をお済ませください。
- ※円滑な運営のため、必ず PC センターをお通しください。

〈PC センター受付時間〉

日 時	受付時間	受付場所
2 月 23 日（金）	8：00～17：30	PC センター① 〈第 1 会場～第 3 会場でご発表の方〉 グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら
		PC センター② 〈第 4 会場～第 11 会場でご発表の方〉 国際館バミール 2F
2 月 24 日（土）	8：00～15：00	PC センター③ 〈第 12 会場～第 15 会場でご発表の方〉 グランドプリンスホテル 高輪 B1F

※発表会場毎に受付場所が異なります。指定の場所での登録をお願いいたします。

〈メディア持込の場合〉

- ・受付されたデータはサーバーに登録させていただき、メディアはその場で返却いたします。
- ・受付されたデータはそれぞれの発表会場に予め配信いたします。
- ・お預かりしたデータは、会期終了後直ちに、責任を持って消去いたします。

〈PC 本体持込の場合〉

- ・液晶モニターで外部出力の確認作業をいたします。
- ・確認作業後は発表者ご自身で、各会場の PC オペレーター席（会場内左前方）へ、ご発表の 20 分前までには運搬をお願いいたします。お預かりした PC は講演終了後に、オペレーター席でご返却いたします。お引き取り忘れのないようご注意ください。



4) 口演会場において

- ・演者はセッション開始 15 分前までに会場内左方最前列の次演者席にお着きください。
- ・司会の指示のもと、舞台上のキーボード・マウスを各自操作し、発表してください。

3. ポスター発表 座長の方へ

- ・担当セッション開始時刻 10 分前までに、ポスター会場（グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら）にある「ポスター座長受付デスク」までお越しください。座長用リボンと指示棒をお渡しいたします。
- ・担当セッション開始時刻 5 分前までに、担当ポスター前へ移動してください。
- ・セッション開始時刻になりましたら、セッションを開始してください。
- ・タイムキーパーは付きません。座長一任のもと、円滑な進行をお願いいたします。
- ・時間厳守にご協力ください。
- ・各発表者の持ち時間は、講演 3 分・質疑応答 2 分（計 5 分）です。

4. ポスター発表 演者の方へ

- ・会場は、ポスター会場（グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら）です。
- ・第 1 日目（2 月 23 日（金））と第 2 日目（2 月 24 日（土））とでポスターの入れ替えがあります。
- ・次ページの掲示・発表・撤去スケジュールをご確認のうえ、お間違えの無いように行ってください。ポスター会場での受付はございません。

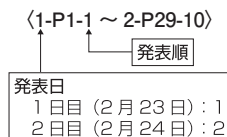
1) 発表形式・発表時間

- ・各発表者の持ち時間は、講演 3 分・質疑応答 2 分（計 5 分）です。
- ・ご自身のポスター前で座長の進行のもと、指定の時間内で発表をお願いいたします。
- ・各ポスターパネルに設置しているリボンをお付けください。

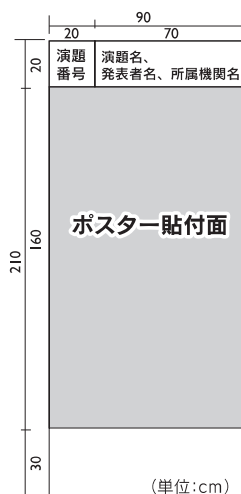
2) 展示要項

- ・ポスター本文の貼付面は縦 160cm×横 90cm です（右図参照）。
- ・演題番号は事務局で用意いたします。
- ・演題名、演者名、所属（縦 20cm×横 70cm）は各自で作成ください。
- ・ポスターは研究の【目的】【方法】【結果】及び【結論】等が明確に分かるように作成ください。また、2～3m の距離からでも十分に分かる程度の文字サイズで作成してください。
- ・掲示のための画鋏は各パネルに用意してあります。
- ・指定の撤去時間以降に残されたポスターは、事務局にて処分いたします。

3) ポスター演題番号の見方



【ポスター作成見本】



演者・司会・
座長の先生方へ

4) 掲示・発表・討論・撤去スケジュール

学会1日目と2日目に分けて掲示・発表・撤去をお願いいたします。下記のスケジュールをご確認のうえ、お間違えのないよう準備をお願いいたします。指定の時間内に必ず掲示・撤去を行ってください。

※ポスター撤去時間を過ぎた後も掲示されているポスターは、処分いたしますのでご注意ください。

日程	ポスター貼付	発表・討論	ポスター撤去
2月23日(金)	9:00~10:00	13:40~14:30	17:00~18:00
		14:40~15:30	
2月24日(土)	8:00~9:00	13:10~14:00	15:00~17:00
		14:10~15:00	

5) 利益相反(COI)について

COI自己申告の基準に基づき、発表時に講演者・一般演題発表者(ポスターを含む)は、利益相反(COI)の開示をお願いいたします。

COI自己申告の基準については学会ホームページの利益相反細則第2条をご参照ください。
(http://www.kankyokansen.org/modules/about/index.php?content_id=24)

- ・口頭発表時、スライドの最初にCOI状態を開示する。
- ・ポスター掲示では最後にCOI状態を開示する。

- 1) 口頭・ポスター発表時、申告すべきCOI状態がない時 2) 口頭・ポスター発表時、申告すべきCOI状態がある時

日本環境感染学会
COI開示
筆頭発表者: ○○ ○○

演題発表に関連し、開示すべき
COI関係にある企業などはありません。

日本環境感染学会
COI開示
筆頭発表者: ○○ ○○

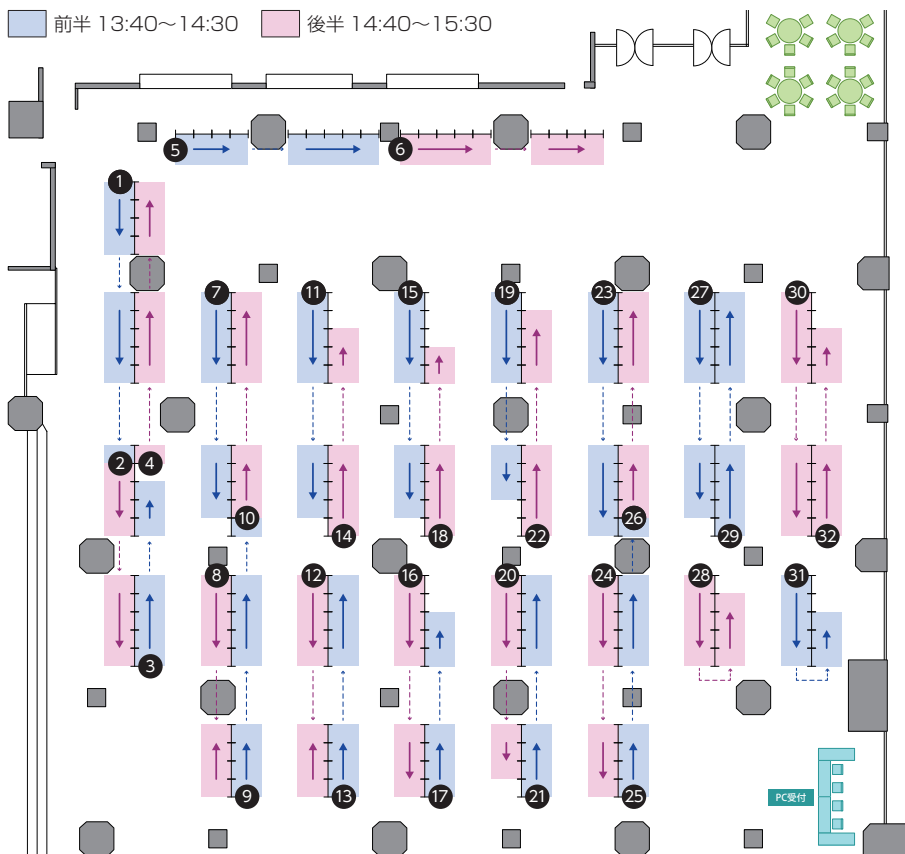
演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業として、

①顧問:	なし
②株保有・利益:	なし
③特許使用料:	なし
④講演料:	なし
⑤原稿料:	なし
⑥受託研究・共同研究費:	○○製薬
⑦奨学寄付金:	○○製薬
⑧寄付講座所属:	あり(○○製薬)
⑨贈答品などの報酬:	なし



ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら) 第1日目(2月23日金)

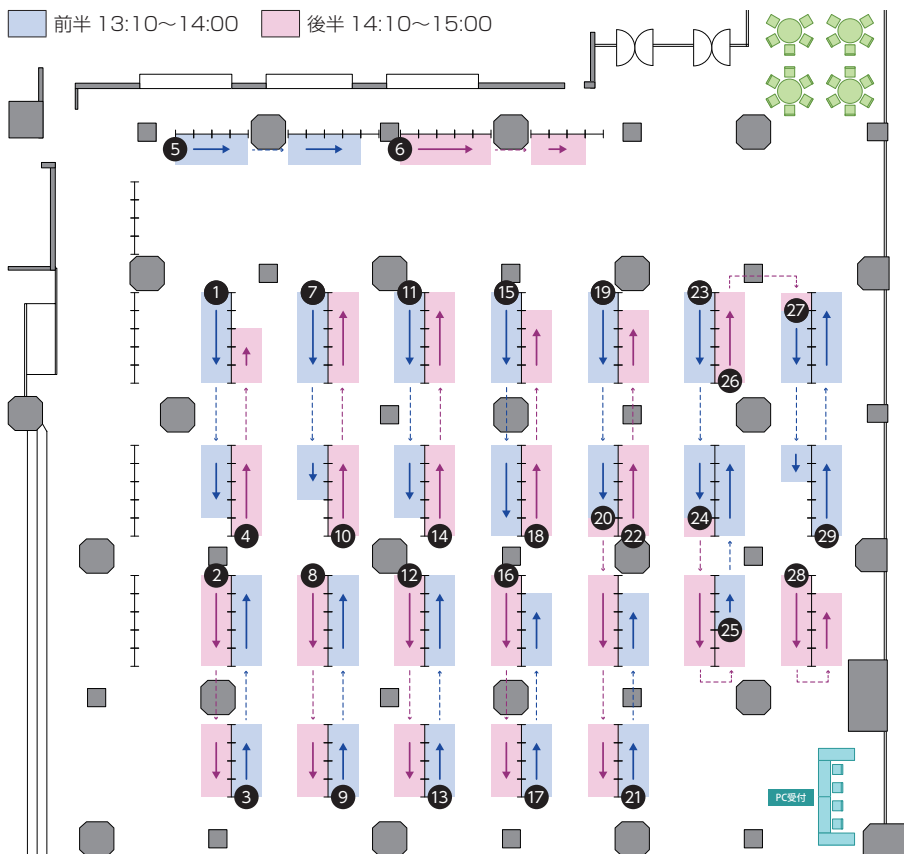
■ 前半 13:40~14:30 ■ 後半 14:40~15:30



①	BSI-1	1-P1-1~10
②	BSI-2	1-P2-1~9
③	SSI-1	1-P3-1~9
④	歯科・医療材料	1-P4-1~10
⑤	手指衛生 -1	1-P5-1~9
⑥	手指衛生 -2	1-P6-1~9
⑦	手指衛生 -3	1-P7-1~9
⑧	手指衛生 -4	1-P8-1~9
⑨	インフルエンザ -1	1-P9-1~10
⑩	インフルエンザ -2	1-P10-1~9
⑪	C.difficile・ノロウイルス	1-P11-1~9
⑫	抗菌薬適正使用 -1	1-P12-1~9
⑬	抗菌薬適正使用 -2	1-P13-1~9
⑭	抗菌薬適正使用 -3	1-P14-1~8
⑮	抗菌薬適正使用 -4	1-P15-1~9
⑯	消毒・洗浄・滅菌	1-P16-1~9

⑰	MRSA等の細菌感染	1-P17-1~8
⑱	針刺し・切創・体液曝露	1-P18-1~7
⑲	結核	1-P19-1~8
⑳	標準予防策、経路別予防策 -1	1-P20-1~8
㉑	標準予防策、経路別予防策 -2	1-P21-1~9
㉒	組織、活動 -1	1-P22-1~9
㉓	組織、活動 -2	1-P23-1~10
㉔	教育、啓発 -1	1-P24-1~9
㉕	教育、啓発 -2	1-P25-1~10
㉖	アウトブレイク -1	1-P26-1~9
㉗	アウトブレイク -2	1-P27-1~9
㉘	アウトブレイク -3	1-P28-1~9
㉙	ウイルス感染	1-P29-1~10
㉚	NICU	1-P30-1~10
㉛	地域連携 -1	1-P31-1~8
㉜	地域連携 -2	1-P32-1~8

ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら) 第2日目(2月24日土)



① BSI-3	2-P1-1~9
② BSI-4	2-P2-1~9
③ 手指衛生-5	2-P3-1~9
④ 手指衛生-6	2-P4-1~8
⑤ 手指衛生-7	2-P5-1~8
⑥ 抗菌薬適正使用-5	2-P6-1~8
⑦ 抗菌薬適正使用-6	2-P7-1~8
⑧ 教育、啓発-3	2-P8-1~9
⑨ 教育、啓発-4	2-P9-1~9
⑩ ワクチン	2-P10-1~10
⑪ 組織、活動-3	2-P11-1~9
⑫ アウトブレイク-4	2-P12-1~9
⑬ アウトブレイク-5	2-P13-1~9
⑭ 環境整備-1	2-P14-1~10
⑮ 環境整備-2	2-P15-1~10

⑯ 薬剤耐性菌-1	2-P16-1~9
⑰ 薬剤耐性菌-2	2-P17-1~8
⑱ 微生物検査-1	2-P18-1~9
⑲ 微生物検査-2	2-P19-1~9
⑳ サーベイランス	2-P20-1~10
㉑ 病院建築設備	2-P21-1~8
㉒ 医療機器	2-P22-1~9
㉓ SSI-2	2-P23-1~9
㉔ 地域連携-3	2-P24-1~8
㉕ 地域連携-4	2-P25-1~8
㉖ プロセス管理-1	2-P26-1~6
㉗ プロセス管理-2	2-P27-1~6
㉘ その他-1	2-P28-1~9
㉙ その他-2	2-P29-1~10



第33回日本環境感染学会総会・学術集会プログラム

同時通訳

会長講演

2月23日（金） 9：00～9：30 第1会場（グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天）

司会：小西 敏郎（東京医療保健大学 副学長）

外科診療と感染対策

針原 康（NTT 東日本関東病院）

副会長講演

2月24日（土） 13：10～13：40 第1会場（グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天）

司会：柴 孝也（東京慈恵会医科大学）

多職種が力を発揮して感染対策を極める（予定）

高野 八百子（慶應義塾大学病院 感染制御センター）

理事長講演

2月23日（金） 9：40～10：30 第1会場（グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天）

司会：大久保 憲（医療法人 平岩病院）

感染制御におけるパラダイムシフトー日本環境感染学会が目指すべき未来像ー

賀来 満夫（日本環境感染学会 理事長/東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 総合感染症学分野
感染制御・検査診断学分野）

招請講演1

2月23日（金） 14：40～15：30 第1会場（グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天）

司会：小林 寛伊（根岸感染制御研究所 所長/東京医療保健大学 名誉学長/関東病院 名誉院長）

看護師のキャリア教育の動向と今後

坂本 すが（東京医療保健大学 副学長）

招請講演2

2月24日（土） 13：50～14：40 第1会場（グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天）

司会：木村 哲（東京医療保健大学 学長）

医療事故調査制度について

宮田 哲郎（山王病院・山王メディカルセンター 血管病センター/国際医療福祉大学 医学部教授）



シンポジウム1

2月23日(金) 10:40~12:10 第1会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天)

手指衛生遵守率の評価とフィードバックー最新技術を用いた先端施設の取り組み

司会：操 華子(静岡県立大学大学院 看護学研究科)

飯沼 由嗣(金沢医科大学 臨床感染症学講座)

1) 常設ネットワークカメラを用いた手指衛生実施率向上への取り組み

浅野 恵子(学校法人 聖路加国際大学 聖路加国際病院 QI センター 感染管理室)

2) 直接観察法の5年間の経験

有瀬 和美(高知大学医学部附属病院 感染管理部)

3) 手指衛生モニタリングシステムによる医師の外来手指衛生の評価

新居 晶恵(三重大学医学部附属病院 感染制御部)

4) タブレットコンピュータを用いた直接観察と改善のPDCA

堀 賢(順天堂大学 大学院医学研究科 感染制御科学)

シンポジウム2

2月23日(金) 9:00~10:30 第5会場(国際館バミール 1F 旭光)

感染制御の戦略～どのように推進しますか～

司会：植田 貴史(兵庫医科大学病院 感染制御部)

橋本 丈代(福岡大学病院)

1) 全病院的な手指衛生遵守への多面的アプローチによる耐性菌院内発生予防効果

一木 薫(兵庫医科大学病院 感染制御部)

2) CRE のアウトブレイクとシンクから分離された CRE との遺伝子解析と感染対策

塚田 真弓(東邦大学医療センター大森病院 感染管理部)

3) 感染管理ベストプラクティスによる標準化～汚染のない血液培養採取と複数セット採取への取り組み～

帯金 里美(医療法人純正会 名古屋市立緑市民病院)

4) グラム陽性球菌菌血症における ICT 介入の効果

泉澤 友宏(東京慈恵会医科大学附属柏病院 感染対策室)

シンポジウム3

2月23日(金) 15:20~16:50 第9会場(国際館バミール 3F 慶雲)

看護師特定行為研修を感染管理に活用する

司会：洪 愛子(神戸女子大学 健康福祉学部)

森澤 雄司(自治医科大学附属病院 感染制御部)

1) 「特定行為に係る看護師の研修制度」を活用した感染管理看護師(ICN)の実践活動の発展性について

渋谷 智恵(公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程)

2) 特定行為研修を終了した ICN の活動～感染症診療体制強化への取り組み

柴谷 涼子(独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院 看護部 看護ケア推進室)

3) 特定行為研修修了者が実践する感染管理活動の拡大～関連高齢者施設における取り組みと評価～

細田 清美(社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院)



- 4) 多職種から見た特定行為研修を修了した感染管理認定看護師が感染防止対策に及ぼす影響と
は～薬剤師の立場で～

齋藤 佑輔 (社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院 薬剤部)

シンポジウム4

2月23日 (金) 13:40～15:10 第11会場(国際館パミール 3F 香雲)

今だから知りたい口腔衛生管理の基礎知識

司会: 坂本 春生 (東海大学医学部付属八王子病院 歯科・口腔外科)

栗原 英見 (広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 歯周病態学研究室)

- 1) 口腔の特性と常在微生物叢による感染症

今井 健一 (日本大学 歯学部 細菌学講座/総合歯学研究所 生体防御部門)

- 2) 経口気管挿管患者に対する口腔ケア・オーラルマネジメントのポイント～口腔のバイタルサインを意識する～

岸本 裕充 (兵庫医科大学 歯科口腔外科学講座)

- 3) なぜ周術期口腔機能管理を行う必要があるのか?

高橋 美穂 (東海大学医学部付属八王子病院 歯科口腔外科)

- 4) 歯科外来の感染予防の現状は?

長谷 由紀子 (広島大学病院 診療支援部 歯科衛生部門)

シンポジウム5

2月23日 (金) 17:00～18:30 第11会場(国際館パミール 3F 香雲)

抗菌薬適正使用支援プログラムをめぐる新しい展開

司会: 森澤 雄司 (自治医科大学附属病院 感染制御部)

松本 哲哉 (東京医科大学 微生物学分野)

- 1) 当院の AST による 3 年間の活動の有効性評価

山田 康一 (大阪市立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学講座/大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部/大阪市立大学医学部附属病院 感染症内科)

- 2) 当院 AST によるカルバペネム処方後監査における薬剤師の役割と支援効果に関する検討

足立 遼子 (国立国際医療研究センター病院 ICT)

- 3) ICT 薬剤師と感染症医の連携による経口第 3 世代セファロスポリン系薬の使用量 100% 減への推進

矢島 秀明 (前橋赤十字病院 薬剤部)

- 4) 都立府中療育センターにおける連携施設への感染症コンサルト体制の構築

寺山 義泰 (東京都立府中療育センター ICT)

シンポジウム6

2月23日 (金) 10:40～12:10 第12会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F プリンスルーム)

どっぷり浸りたいあなたへ～透析関連感染サーベイランスを元にした感染対策から、透析室で日常遭遇する感染症対策まで～

司会: 森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部/透析関連感染サーベイランス研究会 (DSN-J))

多湖 ゆかり (彦根市立病院/透析関連感染サーベイランス研究会 (DSN-J))

- 1) 透析関連感染サーベイランスの意義: NHSN (DSN) と DSN-J の比較

森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部/透析関連感染サーベイランス研究会 (DSN-J))



- 2) 透析関連感染の現状とその評価：多施設共同サーベイランスの成果～第8回日本環境感染学会
上田 Award 授賞論文の解説～

山下 恵美（一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院/透析関連感染サーベイランス研究会（DSN-J））

- 3) 透析関連感染サーベイランスデータから考える対策の実際

多湖 ゆかり（彦根市立病院 感染対策室 看護部/透析関連感染サーベイランス研究会（DSN-J））

- 4) 透析患者に対するワクチン接種は効果があるのか？～23 価肺炎球菌荚膜ポリサッカライドワクチンの死亡抑制効果を探る～

谷口 弘美（東葛クリニック病院/透析関連感染サーベイランス研究会（DSN-J））

- 5) ガイドライン（四訂版）改訂後に、DSN-J で行った透析関連感染防止のアンケート調査の報告

林沼 聖子（近江八幡市立総合医療センター/透析関連感染サーベイランス研究会（DSN-J））

シンポジウム7

2月23日（金） 17：00～19：00 第12会場（グランドプリンスホテル高輪 B1F プリンスルーム）

薬剤師が ICT、AST メンバーの中で果たす役割を今改めて考える

司会：佐和 章弘（広島国際大学 薬学部 医療薬学研究センター）

山崎 博史（宇部興産中央病院 薬剤部）

- 1) 薬剤師主導のプロトコルに基づく薬物治療管理（PBPM）と環境および器材汚染への対応

山崎 博史（宇部興産中央病院 薬剤部）

- 2) 感染制御を実践する薬剤師への提言：抗菌薬使用サーベイランスの推進と ICT・AST におけるデータの利活用について

村木 優一（京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野）

- 3) AST の活動における薬剤師の役割と臨床的アウトカム評価の実践について

前田 真之（昭和大学 薬学部 臨床薬学講座 感染制御薬学部門）

- 4) ICT、AST 薬剤師の現状と資格取得薬剤師に期待すること

白石 正（山形大学大学院 医学系研究科 創薬科学講座）

統括発言：

小野寺 直人（岩手医科大学 医学部 臨床検査医学講座/岩手医科大学附属病院 感染症対策室）

シンポジウム8

2月24日（土） 8：30～10：00 第1会場（グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天）

2017 年の感染制御に関する Top Papers

司会：森兼 啓太（山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部）

- 1) パート 1

本田 仁（東京都多摩総合医療センター 感染症科）

- 2) パート 2

早川 佳代子（国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター）

- 3) パート 3

森兼 啓太（山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部）



シンポジウム9

2月24日(土) 8:30~10:00 第5会場(国際館バミール 1F 旭光)

医療機関・行政におけるバイオセーフティを考える

司会：金光 敬二(福島県立医科大学 感染制御学講座)

長沢 光章(国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科)

1) バイオセーフティとは

篠原 克明(国立感染症研究所)

2) 平時からの新興再興感染症対応

堀 成美(国立国際医療研究センター 国際感染症センター)

3) バイオセーフティと滅菌(滅菌技師の立場から)

田中 慎一(聖マリアンナ医科大学大学)

4) バイオセキュリティから

加来 浩器(防衛医科大学校 防衛医学研究センター 広域感染症疫学・制御研究部門)

シンポジウム10

2月24日(土) 8:30~10:00 第9会場(国際館バミール 3F 慶雲)

VREアウトブレイク：地域における蔓延をどう阻止するか？～地域での蔓延阻止は地域連携が鍵を握る～

司会：満田 年宏(東京女子医科大学 感染制御科)

須川 真規子(公立陶生病院 感染制御室)

1) 北九州地域における VRE 対策について

山口 征啓(健和会大手町病院/KRICT(北九州地域感染対策チーム))

2) 京都地区における VRE 対策の総括とその後

藤田 直久(京都府立医科大学附属病院 感染対策部)

3) 横須賀・三浦地区における VRE 対策：医療施設側の対応

下川 結花(国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院)

4) 横須賀地域における VRE 対策：行政の立場からの対策と支援

小林 利彰(横須賀市保健所)

シンポジウム11

2月24日(土) 14:50~16:20 第9会場(国際館バミール 3F 慶雲)

感染制御のエビデンスを作る

司会：小池 竜司(東京医科歯科大学医学部附属病院 感染制御部/東京医科歯科大学 医療イノベーション推進センター)

藤田 烈(帝京大学 臨床研究センター)

1) 臨床研究における研究計画書作成の統計学的ポイント

平川 晃弘(東京大学大学院 医学系研究科 生物統計情報学講座)

2) 臨床研究における統計解析のポイント

横田 勲(京都府立医科大学大学院 医学研究科 生物統計学)

3) 電子カルテデータの利用の可能性と限界

松村 泰志(大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学)

4) 観察研究における倫理的配慮とは

田代 志門(国立がん研究センター)

シンポジウム12

2月24日(土) 8:30~10:00 第10会場(国際館パミール 3F 白雲)

日本における *Clostridioides (Clostridium) difficile* の流行状況と感染対策

司会：三澤 成毅(順天堂大学医学部附属順天堂病院 臨床検査部)

館田 一博(東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座/東邦大学 医学部 感染管理部)

1) 日本の医療施設における *Clostridium difficile* 感染症：多施設前視研究から

加藤 はる(国立感染症研究所 細菌第二部)

2) *Clostridium difficile* の臨床微生物検査法：培養検査から遺伝子検査まで

齋藤 良一(東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 生体防御検査学分野)

3) わが国における *Clostridium difficile* の院内感染対策の現状

森 伸晃(国立病院機構 東京医療センター 総合内科/国立病院機構 東京医療センター 院内感染対策室)

4) *C. difficile* 感染症の疫学：“1日”多施設共同研究からアジアの疫学まで

館田 一博(東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座/東邦大学 医学部 感染管理部)

シンポジウム13

2月24日(土) 8:30~10:00 第11会場(国際館パミール 3F 香雲)

Antimicrobial stewardship teamのためのMRSA感染治療戦略

司会：山本 善裕(富山大学大学院 医学薬学研究部 感染予防医学講座)

浜田 幸宏(東京女子医科大学病院 薬剤部)

1) 侵襲時の薬物動態とMRSAに対する抗菌薬治療戦略

浜田 幸宏(東京女子医科大学病院 薬剤部)

2) バンコマイシンにおけるTDMと投与設計

茂見 茜里(鹿児島大学病院 薬剤部/鹿児島大学病院 医療環境安全部 感染制御部門)

3) テイコプラニンにおけるTDMと投与設計

関 雅文(東北医科薬科大学病院 感染症内科・感染制御部)

4) リネゾリドおよびダブトマイシンにおけるTDMと投与設計

辻 泰弘(富山大学大学院 医学薬学研究部(薬学) 医療薬学研究室)

5) 間歇的血液透析、持続的腎代替療法における抗MRSA薬投与設計

植田 貴史(兵庫医科大学病院 感染制御部)

コメンテーター：

竹末 芳生(兵庫医科大学 感染制御学)

シンポジウム14

2月24日(土) 10:10~11:40 第11会場(国際館パミール 3F 香雲)

感染制御担当者に求められるマネジメント力

司会：本田 仁(東京都立多摩総合医療センター 感染症科)

小野 和代(東京医科歯科大学医学部附属病院 看護部)

1) 強いミドルマネージャーが医療機関を変える

小西 竜太(独立行政法人 労働者健康安全機構 関東労災病院)

2) 感染制御の施設トップリーダーとして～医師の立場から～

本田 仁(東京都立多摩総合医療センター 感染症科)

3) 組織横断的活動の調整役として～看護師の立場から～

大友 陽子(東京女子医科大学病院 総合感染症・感染制御部)



4) 臨床現場で専門性の発揮を期待される実務者として～薬剤師の立場から～

浦上 宗治 (佐賀大学医学部附属病院 感染制御部)

シンポジウム15

2月24日(土) 13:10～14:40 第11会場(国際館パミール 3F 香雲)

診療科の特殊性を考慮した感染対策

司会: 松永 直久 (帝京大学医学部附属病院 感染制御部)

細田 清美 (福井県済生会病院 感染対策室)

1) 病態に基づく疥癬対策再考—やらなくてよいこと・やるべきこと

牧上 久仁子 (つばさ在宅クリニック)

2) 眼科領域における感染対策

大音 清香 (医療法人社団済安堂 井上眼科病院 看護部)

3) 耳鼻咽喉科診療用ユニットを使用した診察・治療の感染対策

青木 美栄子 (新潟大学医歯学総合病院 感染管理部)

4) 歯科医療器材の再処理に関する課題

岡森 景子 (医療法人医誠会 本部 感染監査室)

シンポジウム16

2月24日(土) 8:30～10:00 第12会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F プリンスルーム)

感染症診断・治療・制御における4職種役割と他職種に望むこと

司会: 渋谷 智恵 (社団法人日本看護協会看護研修学校)

佐藤 智明 (東京大学医学部附属病院 感染制御部)

1) 医師の役割

龍野 桂太 (東京大学医学部附属病院 感染制御部)

2) 感染制御における感染管理担当看護師の役割

古谷 直子 (医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 地域感染症疫学・予防センター)

3) 薬剤師の役割

高橋 佳子 (兵庫医科大学病院 薬剤部)

4) 検査技師の役割

溝口 美祐紀 (東京大学医学部附属病院)

シンポジウム17

2月24日(土) 10:10～11:40 第12会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F プリンスルーム)

欧米ガイドラインからみた手術部位感染予防対策

司会: 土田 敏恵 (兵庫医療大学 看護学部・看護学研究科)

小林 美奈子 (三重大学大学院医学系研究科 先端的外科)

1) 周術期血糖管理

土田 敏恵 (兵庫医療大学 看護学部・看護学研究科)

2) 予防抗菌薬 (注射製剤とその他の使用)、消毒薬による予防 (消化器外科の立場から)

畑 啓昭 (国立病院機構 京都医療センター 外科・感染制御部)

3) 整形外科領域における術後感染予防抗菌薬

川村 英樹 (鹿児島大学病院 医療環境安全部 感染制御部門)



4) MRSA 保菌者対策

高橋 佳子 (兵庫医科大学病院 薬剤部)

5) 欧米ガイドラインからみた手術部位感染 (SSI) 予防対策：術中対策 (手術材料、器材など)

渡邊 学 (東邦大学 医療センター 大橋病院 外科)

シンポジウム18

2月24日(土) 13:10~15:10 第12会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F プリンスルーム)

効果的な抗菌薬適正使用支援を押し進めるために必要なエLEMENTは？

司会：三嶋 廣繁 (愛知医科大学病院 感染症科)

本田 仁 (東京都立多摩総合医療センター 感染症科)

1) 多職種で行う抗菌薬適正使用支援の推進

丹羽 隆 (岐阜大学医学部附属病院 薬剤部/岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター ICT)

2) 大学病院入院患者への抗菌薬適正使用支援の推進に必要なエLEMENT

藤田 直久 (京都府立医科大学附属病院 感染対策部)

3) 市中病院の入院患者の抗菌薬適正使用支援の推進に必要なエLEMENT

鈴木 純 (岐阜県総合医療センター 感染症内科/感染対策部)

4) 療養型医療機関での抗菌薬適正使用支援の推進に必要なエLEMENT

森岡 慎一郎 (国立国際医療研究センター 国際感染症センター)

5) 外来経口抗菌薬の抗菌薬適正使用支援の推進に必要なエLEMENT

堀越 裕歩 (東京都立小児総合医療センター 感染症科)



パネルディスカッション1

2月23日（金） 15：20～16：50 第5会場（国際館バミール 1F 旭光）

軟性内視鏡器具の再生処理に関する課題と動向

司会：金光 敬二（福島県立医科大学 感染制御学講座）

島崎 豊（中部地区中材業務研究会）

1) 軟性内視鏡器具の再処理に関する取組みについて

木村 英伸（オリンパス株式会社 技術開発部門 医療第1開発本部 本部長）

2) 耳鼻咽喉科診療における内視鏡の感染制御

齋藤 康一郎（杏林大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室）

3) 新生児・小児喉頭気管支鏡検査における衛生管理と課題

長谷川 久弥（東京女子医科大学東医療センター 新生児科）

4) 大規模病院における軟性内視鏡器具の洗浄消毒滅菌の中央化について

高階 雅紀（大阪大学医学部附属病院）

パネルディスカッション2

2月23日（金） 10：40～12：10 第10会場（国際館バミール 3F 白雲）

環境浄化の新しい技術と医療現場への応用

司会：大久保 憲（医療法人 平岩病院）

吉田 理香（東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 感染制御学）

1) 医療環境の浄化に求められる本質と選択肢

大久保 憲（医療法人 平岩病院）

2) これから求められる環境消毒剤

尾家 重治（宇部フロンティア大学 人間健康学部 看護学科）

3) 米国における“*No touch*”技術を用いた医療環境浄化の動向と知見：紫外線照射装置を中心に

金森 肇（東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 総合感染症学分野/感染制御・検査診断学分野/東北大学病院 総合感染症科/検査部）

4) 環境のウイルス不活化・殺菌を標榜する、国産メーカー開発の種々の技術の検証：市販の付加価値性能装置付き空気清浄機ならびに二酸化塩素製剤の問題点

西村 秀一（国立病院機構仙台医療センター 臨床研究部 ウイルスセンター）

パネルディスカッション3

2月23日（金） 9：00～10：30 第11会場（国際館バミール 3F 香雲）

カルバベネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）を取り巻く現状：課題と対策

司会：泉川 公一（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野）

石井 良和（東邦大学医学部 微生物・感染症学/感染制御学分野）

1) カルバベネム耐性腸内細菌科細菌とカルバベネマーゼ産生腸内細菌科細菌、日本と世界の現状

鈴木 里和（国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター 1室）

2) 日常検査の一環として実施可能なカルバベネマーゼ産生腸内細菌科細菌（CPE）検出法に関する精察

石井 良和（東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座）

3) 我が国における CRE/CPE の感染対策はどうあるべきか

八木 哲也（名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染制御学）

4) 地域連携による薬剤耐性菌調査の取り組み

長谷川 悠太 (横浜市健康福祉局 健康安全部 健康安全課)

藤田 せつ子 (横浜市健康福祉局 健康安全部 健康安全課)

パネルディスカッション4

2月23日 (金) 10:40~12:10 第11会場(国際館バミール 3F 香雲)

国外で拡散し国内へ持ち込まれる薬剤耐性菌と感染対策

司会: 大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター 感染症内科)

三澤 成毅 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部)

1) 国外で拡散している薬剤耐性菌とその輸入症例

菅井 基行 (国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター)

2) 薬剤耐性腸内細菌科細菌の検出と pitfall

長野 則之 (信州大学大学院 医学系研究科 医療生命科学分野)

3) ESB� およびカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌に対する感染対策

石井 良和 (東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座)

4) 海外にて入院歴のある患者に対する薬剤耐性菌持ち込みへの対策

早川 佳代子 (国立国際医療研究センター 国際感染症センター)

パネルディスカッション5

2月23日 (金) 15:20~16:50 第11会場(国際館バミール 3F 香雲)

サーベイランスデータに基づいた現場実践~効果的なサーベイランスのフィードバックに向けた私たちの取り組み~

司会: 黒須 一見 (国立研究開発法人 国際医療研究センター 国際協力局)

大石 貴幸 (済生会横浜市東部病院 TQMセンター 感染管理対策室)

1) VAE サーベイランスデータに基づいた現場実践~ICT と RST が協働で行う VAE 発生率低減に向けた取り組み~

嶋 雅範 (三菱京都病院)

2) 一般病棟における CLA-BSI の取り組み

黒木 利恵 (独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター 感染制御室)

3) 中規模病院における CLA-BSI サーベイランスの課題と取り組み~できることからコツコツと、スタッフの行動変容を促すために~

片岡 明美 ((公財) 東京都保健医療公社 東部地域病院 看護部)

4) IT を活用した CA-UTI の取り組み

下川 結花 (国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院)

パネルディスカッション6

2月23日 (金) 9:00~10:30 第12会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F プリンスルーム)

施設内アウトブレイク こんなとき ICT はどうする?

司会: 大友 陽子 (東京女子医科大学病院 総合感染症・感染制御部)

小池 竜司 (東京医科歯科大学医学部附属病院 感染制御部)

1) CRE アウトブレイクの対策と課題

三浦 美穂 (久留米大学病院)

2) 医療機関におけるインフルエンザアウトブレイクと抗インフルエンザ薬の予防投薬

池谷 修 (慶應義塾大学病院 感染制御部/慶應義塾大学病院 薬剤部)

3) *Clostridium difficile* によるアウトブレイク時における微生物検査室の対応

太田 浩敏 (岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター/岐阜大学医学部附属病院 検査部)

4) 事例 4 多剤耐性アシネトバクターアウトブレイク時の対応

石黒 信久 (北海道大学病院 感染制御部)

パネルディスカッション7

2月24日(土) 10:10~11:40 第1会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天)

アウトブレイクの経験をどのように生かすか

司会: 藤田 烈 (帝京大学 医学部 臨床研究医学講座)

八木 哲也 (名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部)

1) 2000年セラチア菌アウトブレイクの経験と現在

原之園 美希 (社会医療法人 同仁会 耳原総合病院)

2) 再び、バンコマイシン耐性腸球菌アウトブレイクを起こさないために

稲垣 薫 (西尾市民病院 感染対策管理室)

3) 「ピンチをチャンスに」から「風化との闘い」へ

松永 直久 (帝京大学医学部附属病院 感染制御部)

パネルディスカッション8

2月24日(土) 10:10~11:40 第5会場(国際館バミール 1F 旭光)

HIV 感染症患者の入院・入所の拡大のためにできること

司会: 田邊 嘉也 (新潟県立新発田病院)

内山 正子 (新潟大学医歯学総合病院)

1) 拠点病院以外の医療施設の HIV 感染症患者との関わり方

横幕 能行 (国立病院機構 名古屋医療センター)

2) HIV 感染者に必要なケアの現状と課題 (看護師の立場から)

池田 和子 (国立研究開発法人国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

3) HIV 感染症患者の受け入れについての現状と課題

桑原 正祐 (新潟厚生連 新潟医療センター)

4) HIV 感染症患者の入院・入所の拡大のためにできること

水野 雄介 (株式会社 ギルエルコーポレーション グランドホームやこと)

パネルディスカッション9

2月24日(土) 13:10~14:40 第9会場(国際館バミール 3F 慶雲)

シングルユース製品 (SUD) を取り巻く諸問題

司会: 千酌 浩樹 (鳥取大学医学部附属病院 感染制御部)

深尾 亜由美 (岐阜大学医学部附属病院 看護部)

1) 現場でのシングルユース製品の諸問題

橋本 真紀代 (半田市立半田病院 カテーテル内視鏡看護課)

2) SUDs のリユースにかかわる課題

久保田 英雄 (東京医科歯科大学 医学部附属病院 材料部)

3) SUD の再製造における医療安全上の課題

高階 雅紀 (大阪大学医学部附属病院)



4) “再使用禁止” の通知をどう読むか

森井 大一 (大阪大学大学院 医学系研究科 博士課程)

特別発言：

大久保 憲 (医療法人 平岩病院)

パネルディスカッション10

2月24日 (土) 10:10~11:40 第10会場(国際館パミール 3F 白雲)

地域包括ケアシステムを推進するために必要な感染対策の視点～病院、施設、在宅等様々な立場から～

司会：高山 義浩 (沖縄県立中部病院 感染症内科)

高山 和郎 (東京大学医学部附属病院 薬剤部)

1) 生活の場を支える在宅医療・看護の実際

澤田 理恵 (埼玉医科大学総合医療センター訪問看護ステーション)

2) 包括ケアシステム推進のために必要な感染対策の視点～在宅における感染対策と人材育成～

残間 由美子 (財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院)

3) 薬剤師からみた在宅における感染対策～精神科の視点を活かした感染対策～

別所 千枝 (医療法人社団更生会 草津病院 薬剤課)

4) 高齢者施設における感染管理の考え方

高山 義浩 (沖縄県立中部病院 感染症内科)

パネルディスカッション11

2月24日 (土) 14:50~16:20 第11会場(国際館パミール 3F 香雲)

インフルエンザ対策—どこまで行うか—

司会：村上 啓雄 (岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター)

吉田 正樹 (東京慈恵会医科大学 感染制御部)

1) インフルエンザ対策のオーバービュー

川名 明彦 (防衛医科大学校 感染症・呼吸器内科)

2) 大規模病院でのインフルエンザ対策

菅野 みゆき (東京慈恵会医科大学附属柏病院 感染対策室)

3) 急性期病棟・療養病棟を有する病院のインフルエンザ予防対策

本田 順一 (社会医療法人雪の聖母会 雪の聖母会 聖マリア病院 医療の質管理本部)

4) 中小病院でのインフルエンザ対策—2012/13 シーズンに経験したインフルエンザアウトブレイクを教訓にして—

峯 麻紀子 (重工記念長崎病院 感染対策室)

5) 高齢者施設・社会福祉施設でのインフルエンザ対策—どこまで行うか—

吉田 正樹 (東京慈恵会医科大学 感染制御部)

**教育講演1**

2月23日（金） 9：00～9：40 第2会場（グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平）

司会：前田 ひとみ（熊本大学大学院 生命科学研究部）

知っていますか？ B型肝炎教育のこと：医療従事者養成課程における実態と課題

操 華子（静岡県立大学大学院 看護学研究科）

教育講演2

2月23日（金） 9：50～10：30 第2会場（グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平）

司会：緒方 剛（茨城県土浦保健所 所長）

大規模災害における口腔保健活動の課題

足立 了平（神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科）

教育講演3

2月23日（金） 10：40～11：20 第2会場（グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平）

司会：鍋谷 佳子（大阪大学医学部附属病院 看護部/感染制御部）

ベッドパウンウォッシャー：フラッシュャーディスインフェクター（FD）の適正使用

村上 啓雄（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター）

教育講演4

2月23日（金） 11：30～12：10 第2会場（グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平）

司会：一山 智（京都大学 医学部 臨床病態検査学）

薬剤耐性・アウトブレイクとコスト

今中 雄一（京都大学大学院 医学研究科 医療経済学分野）

教育講演5

2月23日（金） 17：50～18：30 第2会場（グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平）

司会：大毛 宏喜（広島大学病院 感染症科）

培養検査のプロセスを考える～原因菌を確実に検出するために～

日暮 芳己（東京大学医学部附属病院 感染制御部 微生物検査室）

教育講演6

2月23日（金） 10：40～11：20 第6会場（国際館バミール 1F 暁光）

司会：上灘 紳子（鳥取大学医学部附属病院 看護部）

在宅ケアにおける感染管理の考え方～地域包括ケアシステムの推進に備える

高山 義浩（沖縄県立中部病院 感染症内科）

教育講演7

2月23日（金） 11：30～12：10 第6会場（国際館バミール 1F 暁光）

司会：堀 誠治（東京慈恵会医科大学附属病院）

肺結核の院内感染対策～空気感染対策の実際と感染拡大防止の方法～

井端 英憲（国立病院機構 三重中央医療センター 呼吸器内科）

教育講演8

2月23日（金） 13：40～14：20 第6会場（国際館バミール 1F 暁光）

司会：村木 優一（京都薬科大学 医療薬科学系 臨床薬剤疫学分野）

AMR・HAI サーベイランスの今後

早川 佳代子（国立国際医療研究センター 国際感染症センター）



教育講演9

2月23日(金) 17:00~17:40 第6会場(国際館バミール 1F 暁光)

司会: 高野 八百子 (慶應義塾大学病院 感染制御センター)

学校・保育園・幼稚園における感染予防—日常的な指導とアウトブレイク発生時の支援の実例

坂木 晴世 (独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院)

教育講演10

2月23日(金) 17:50~18:30 第6会場(国際館バミール 1F 暁光)

司会: 森屋 恭爾 (東京大学大学院 医学系研究科 病因病理学専攻感染制御学)

病院清掃委託事業者は医療サービスの質向上の担い手

菅原 えりさ (東京医療保健大学大学院)

教育講演11

2月23日(金) 9:00~10:00 第9会場(国際館バミール 3F 慶雲)

司会: 高橋 聡 (札幌医科大学 医学部 感染制御・臨床検査医学講座)

カテーテル関連尿路感染を減らすサーベイランスと対策

坂本 史衣 (学校法人 聖路加国際大学 聖路加国際病院 QI センター感染管理室)

教育講演12

2月23日(金) 10:10~10:50 第9会場(国際館バミール 3F 慶雲)

司会: 木津 純子 (薬学共用試験センター)

感染対策を「習慣」にするサーベイランスデータの活用

坂本 史衣 (学校法人 聖路加国際大学 聖路加国際病院 QI センター感染管理室)

教育講演13

2月23日(金) 11:00~11:40 第9会場(国際館バミール 3F 慶雲)

司会: 荒川 創一 (三田市民病院)

SSI 防止ガイドラインをどう考えるか

清水 潤三 (大阪労災病院 肝胆脾外科)

教育講演14

2月23日(金) 15:20~16:20 第10会場(国際館バミール 3F 白雲)

JANIS データの利用法について

司会: 柴山 恵吾 (国立感染症研究所 細菌第二部)

1) JANIS 検査部門はデータの宝庫です!

筒井 敦子 (国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター)

2) 院内感染対策における JANIS 検査部門データの活用法

加藤 維斗 (東京大学医学部附属病院 感染制御部 微生物検査室)

教育講演15

2月23日(金) 13:40~14:20 第13会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F クラウンルーム)

司会: 佐和 章弘 (広島国際大学 薬学部 医療薬学研究センター)

消毒薬の適切な使用と新世代消毒薬

頼岡 克弘 (周南市立新南陽市民病院 薬剤部)



教育講演16

2月24日(土) 8:30~9:10 第2会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平)

司会: 尾家 重治 (宇都フロンティア大学 人間健康学部看護学科)

感染管理と栄養

深柄 和彦 (東京大学医学部附属病院 手術部)

教育講演17

2月24日(土) 9:20~10:00 第2会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平)

司会: 辻 明良 (東邦大学 名誉教授)

実用化が期待されるワクチンの概要と展望

岡部 信彦 (川崎市健康安全研究所)

教育講演18

2月24日(土) 13:10~13:50 第2会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平)

司会: 満田 年宏 (東京女子医科大学病院 総合感染症・感染制御部 感染制御科)

ファシリテッドッグと感染対策

森田 優子 (認定特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ/神奈川県立こども医療センター)

教育講演19

2月24日(土) 9:20~10:00 第6会場(国際館バミール 1F 暁光)

司会: 小野寺 昭一 (湖山リハビリテーション病院 名誉院長)

院内感染する輸入感染症—麻疹、中東呼吸器症候群(MERS)、インフルエンザA(H7N9)—

三崎 貴子 (川崎市健康安全研究所)

教育講演20

2月24日(土) 10:20~10:50 第6会場(国際館バミール 1F 暁光)

司会: 高橋 孝 (北里大学大学院感染制御科学府 感染制御科学専攻 感染制御・免疫学履修コース・感染症学研究室)

トコジラミの脅威: ムシするとトリ返しのつかない事態に!

金井 信一郎 (信州大学医学部附属病院 感染制御室)

教育講演21

2月24日(土) 11:10~11:40 第6会場(国際館バミール 1F 暁光)

司会: 草地 信也 (東邦大学医療センター大橋病院 外科・がんセンター)

4 学会提言: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌への臨床的対応—CPE を対象とした感染対策の重要性—

舘田 一博 (東邦大学 医学部 微生物学教室)

教育講演22

2月24日(土) 14:00~14:40 第6会場(国際館バミール 1F 暁光)

司会: 竹末 芳生 (兵庫医科大学 感染制御学)

AMR アクションプラン 日本の戦略

大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター)



教育講演23

2月24日(土) 14:50~15:30 第6会場(国際館バミール 1F 暁光)

司会：臼杵 尚志(香川大学医学部附属病院 消化器外科)

新規抗菌薬の必要性和開発状況

花木 秀明(北里大学 感染制御研究センター・感染制御機構)

教育講演24

2月24日(土) 10:50~11:30 第9会場(国際館バミール 3F 慶雲)

司会：二木 芳人(昭和大学 医学部 臨床感染症学)

ジェネリック抗菌薬についてもっと知ろう

藤村 茂(東北医科薬科大学大学院 薬学研究科 臨床感染症学教室)

教育講演25

2月24日(土) 15:30~16:00 第10会場(国際館バミール 3F 白雲)

司会：山口 征啓(健和会大手町病院 副病院長・感染症内科)

米国における医療疫学(Healthcare Epidemiology)の現状とその方向性

後藤 道彦(Network Epidemiologist, Iowa City VA Medical Center/VA Midwest Health Care Network/Assistant Professor of Medicine, Division of Infectious Diseases, University of Iowa Carver College of Medicine)

教育講演26

2月24日(土) 15:30~16:10 第12会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F プリンスルーム)

司会：美島 路恵(東京慈恵会医科大学附属病院 感染対策室)

逆ギレされないコミュニケーション teamSTEPPS の活用

中澤 靖(東京慈恵会医科大学 感染制御部)


ベーシックレクチャー1 2月23日(金) 13:40~14:20 第2会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平)

司会: 斧 康雄 (帝京大学)

感染制御に必要な統計学~統計を学ぶための第一歩~

菊地 義弘 (地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター 医療安全管理室)

ベーシックレクチャー2 2月23日(金) 14:30~15:10 第2会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平)

司会: 白石 正 (山形大学医学部附属病院 薬剤部)

消毒薬の視点から覗く感染制御~実践に役立つ消毒薬の基礎知識~

潮平 英郎 (琉球大学医学部附属病院 薬剤部/琉球大学医学部附属病院 感染対策室/感染対策チーム)

ベーシックレクチャー3 2月24日(土) 14:00~14:40 第2会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平)

微生物を知ろう:アウトブレイクを起こす細菌 パート1

司会: 佐藤 智明 (東京大学医学部附属病院 感染制御部)

1) エンテロкокカスと VRE

園部 一成 (東京医科歯科大学医学部附属病院 検査部 細菌検査室)

2) セラチアと多剤耐性菌

和久田 光毅 (藤田保健衛生大学病院 医療の質・安全対策部 感染対策室/臨床検査部 微生物遺伝子検査室)

ベーシックレクチャー4 2月24日(土) 14:50~15:30 第2会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平)

微生物を知ろう:アウトブレイクを起こす細菌 パート2

司会: 中島 一敏 (大東文化大学 スポーツ・健康科学部)

1) 大腸菌とカルバペネマーゼ産生菌

河口 豊 (川崎医科大学附属病院 中央検査部)

2) 緑膿菌とMDRP

奥川 周 (東京大学医学部附属病院 感染症内科)

ベーシックレクチャー5 2月24日(土) 15:40~16:20 第2会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平)

司会: 内田 美保 (小松短期大学)

大規模調理施設としての病院給食食品安全管理

一色 賢司 (日本食品分析センター 学術顧問/北海道大学 名誉教授)

ベーシックレクチャー6 2月24日(土) 15:40~16:20 第6会場(国際館パミール 1F 暁光)

どうする?手術室

司会: 大友 陽子 (東京女子医科大学病院 総合感染症・感染制御部)

1) 医療安全と感染対策の間で手術室看護師として出来る事

橋場 敦子 (東京女子医科大学病院 中央手術室)

2) こうしよう!手術室

矢野 邦夫 (浜松医療センター 感染症内科)



災害時感染制御検討委員会企画

2月23日(金) 10:40~12:10 第5会場(国際館バミール 1F 旭光)

感染制御のスペシャリストが担うべき災害時の役割～我々は何を学び、何を創ろうとしているのか～

司会：櫻井 滋 (岩手医科大学附属病院 医療安全管理部 感染症対策室)

加来 浩器 (防衛医科大学校 防衛医学研究センター 広域感染症疫学・制御研究部門)

基調発言：

賀来 満夫 (東北大学 大学院医学系研究科 内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野)

- 1) 避難施設における感染制御と支援のありかた～熊本地震での支援経験を踏まえて、今後を考察する～

泉川 公一 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野/長崎大学病院 感染制御教育センター)

- 2) 災害時感染制御と自衛隊の位置づけ～民間との共同について～

加来 浩器 (防衛医科大学校 防衛医学研究センター 広域感染症疫学・制御研究部門)

- 3) 被災地の感染制御担当者とは何を共有し、同支援すべきか～後方支援とその課題～

菅原 えりさ (東京医療保健大学大学院)

- 4) 大規模災害時の避難施設におけるウイルス性疾患対策～ワクチンと予防投与に期待されること～

児玉 栄一 (東北大学 災害科学国際研究所 災害感染症学分野)

JHAIS委員会企画

2月23日(金) 13:40~15:10 第5会場(国際館バミール 1F 旭光)

サーベイランスのprogが伝授！2016年JHAISサマリーと症例判定

司会：高野 八百子 (慶應義塾大学病院 感染制御センター)

針原 康 (NTT東日本関東病院 手術部・外科)

- 1) SSI サーベイランス報告

森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部/透析関連感染サーベイランス研究会)

- 2) デバイスサーベイランス報告①：ICU 一般病棟部門

藤田 烈 (帝京大学 医学部 臨床研究医学講座)

- 3) デバイスサーベイランス報告②：NICU 部門

坂木 晴世 (国立病院機構西埼玉中央病院 看護部)

- 4) 事例判定 (SSI)

清水 潤三 (大阪労災病院 肝胆脾外科)

- 5) 事例判定 (VAE)

渡邊 都貴子 (山陽学園大学 看護学部)

- 6) 事例判定 (BSI, UTI)

柴谷 凉子 (独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院 看護部看護ケア推進室)



第14回教育委員会講習会

2月23日(金) 17:00~18:50 第1会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天)

あなたの施設にも CRE がやってくる

司会：川名 明彦（防衛医科大学校 感染症・呼吸器内科）

平松 玉江（国立がん研究センター中央病院）

1) CRE Up To Date

貫井 陽子（東京医科歯科大学医学部附属病院 感染制御部）

2) CRE 感染対策：CRE 検出！ その時どう対応する？

美島 路恵（東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部 感染対策室）

3) CRE の治療について。抗菌薬と消毒薬の使い方

西 圭史（杏林大学医学部付属病院 医療安全管理部 感染対策室）

4) CRE および CPR の特徴、検出およびスクリーニングにおける注意点

三澤 成毅（順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部）

日本環境感染学会多剤耐性菌感染制御委員会企画

2月24日(土) 14:50~16:20 第1会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天)

確認しよう！薬剤耐性グラム陰性桿菌の基礎知識と感染対策の実践

司会：柳原 克紀（長崎大学病院 検査部）

菅原 えりさ（東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科）

1) 薬剤耐性グラム陰性桿菌はどうして発生するのか？

小佐井 康介（長崎大学病院 検査部）

2) 効くはずの抗菌薬が効かない？

石井 良和（東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座）

3) 薬剤耐性グラム陰性菌の感染対策：最新のエビデンス

渡邊 都貴子（山陽学園大学 看護学部）

4) 薬剤耐性グラム陰性桿菌のアウトブレイク事例から学ぶ

山岸 由佳（愛知医科大学病院 感染症科/愛知医科大学病院 感染制御部）

日本環境感染学会・職業感染制御委員会との合同企画

2月23日(金) 9:00~10:30 第6会場(国際館/ミール 1F 晩光)

職業感染制御委員会企画

司会：國島 広之（聖マリアンナ医科大学 感染症学講座）

菅野 みゆき（東京慈恵会医科大学附属柏病院 感染対策室）

1) 臨床現場における職業曝露防止の現状と課題

藤田 昌久（日本医科大学付属病院 医療安全管理部 感染制御室）

2) 臨床検査室における感染管理

豊川 真弘（福島県立医科大学 新医療系学部設置準備室）

3) 職業感染対策としての HB ワクチン 未解決の問題

四柳 宏（東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野）

4) 職域における職業感染対策と感染管理担当者の役割

吉川 徹（独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所）



編集委員会企画

2月24日(土) 13:10~14:40 第10会場(国際館パミール 3F 白雲)

司会: 長谷川 直樹 (慶應義塾大学病院 医学部感染制御センター)

臨床の知見をエビデンスにする—アクセプトされる論文を書くために—

木津 純子 (薬学共用試験センター)

操 華子 (静岡県立大学大学院 看護学研究科)

日本外科感染症学会合同企画

2月23日(金) 13:40~15:10 第9会場(国際館パミール 3F 慶雲)

手術部位感染予防の考え方—エビデンスの解釈とコストについて

司会: 大久保 憲 (医療法人 平岩病院)

渋谷 智恵 (公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程 感染管理学科)

パネリスト: 渡邊 学 (東邦大学医療センター大橋病院 外科)

畑 啓昭 (国立病院機構 京都医療センター 外科・ICT)

青山 恵美 ((医) 大雄会総合大雄会病院 感染対策課)

澤木 ゆかり (浜松医科大学医学部附属病院 感染対策室)

プレゼンター: 大毛 宏喜 (広島大学病院 感染症科)

総括発言: 吉田 理香 (東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 感染制御学)

日本医療薬学会合同シンポジウム

2月23日(金) 13:40~15:40 第12会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F プリンスルーム)

AMR 対策アクションプランへの貢献: 両学会がどのように関わっていくか・どのように結果を出していくか!

司会: 小野寺 直人 (岩手医科大学 医学部 臨床検査医学講座/岩手医科大学附属病院 感染症対策室)

北原 隆志 (長崎大学病院 薬剤部)

- 1) 抗微生物薬適正使用の推進における薬剤師の貢献—抗菌薬サーベイランスから Antimicrobial stewardship

高山 和郎 (東京大学医学部附属病院 薬剤部)

- 2) 感染予防および管理が AMR 対策に及ぼす影響

堀 賢 (順天堂大学大学院 医学研究科 感染制御科学)

- 3) 抗微生物薬の適正使用推進における薬剤師の貢献—TDM と PK-PD に基づいた antimicrobial stewardship のエビデンス—

猪川 和朗 (広島大学大学院薬物治療学)

- 4) AMR 対策を志向した免疫賦活剤の開発研究

小田 真隆 (京都薬科大学 薬学部 微生物・感染制御学分野)

- 5) AMR 対策アクションプランへの貢献 両学会がどのように関わっていくか・どのように結果を出していくか!

舘田 一博 (東邦大学 医学部 微生物学教室)



日本救急医学会合同企画

2月23日(金) 14:50~16:50 第6会場(国際館バミール 1F 暁光)

「救急外来部門における感染対策」の標準化に挑む 2017

司会：池田 弘人（帝京大学 医学部 救急医学）
佐々木 淳一（慶應義塾大学 医学部 救急医学）

第一部：合同 WG 活動報告 2017

1) 病院前救護活動における感染対策標準化へ向けて

森田 正則（堺市立総合医療センター 救命救急センター/救急外来部門における感染対策検討ワーキンググループ）

2) 救急外来部門における感染対策チェックリスト（案）

椎野 泰和（日本救急医学会 救急外来部門における感染対策検討委員会）

3) 救急外来部門における感染対策チェックリスト（案）～ハード面について～

藤田 昌久（日本医科大学付属病院 医療安全管理部 感染制御室）

4) 救急外来部門における微生物検査体制：問題点と解決への糸口

志馬 伸朗（広島大学大学院 医歯薬保健学研究所 救急集中治療医学）

第二部：感染対策をディベートで考える！救急医 vs 感染制御医

プレゼンター：鍋谷 佳子（大阪大学医学部附属病院 看護部/感染制御部）

ディスカッサント：松山 重成（兵庫県災害医療センター 救急部）

長門 直（公立学校共済組合中国中央病院）

添田 博（東京医科大学病院 薬剤部）

新生児感染症管理予防研究会合同シンポジウム

2月23日(金) 9:00~10:30 第10会場(国際館バミール 3F 白雲)

NICU の感染制御一次の 10 年に向けた課題 3 選

司会：大城 誠（名古屋第一赤十字病院 小児科）
星野 智子（独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院 看護部）

1) セッション開催に際して

大城 誠（名古屋第一赤十字病院 小児科）

2) 新生児集中治療室（NICU）における血液培養の現状と未来—感染制御と抗菌薬適正使用の適切な評価として—

松永 展明（順天堂大学 医学部 小児科学講座）

3) 本邦 NICU での PICC 管理の実態と改善すべき課題～「NICU における PICC 関連血流感染症のリスク因子調査」からの提言～

木下 大介（新生児感染症管理予防研究会）

4) 本邦の中心ライン関連血流感染と人工呼吸器関連肺炎の現状と国際比較

坂木 晴世（独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院）

職業感染制御研究会企画(シンポジウム)

2月23日(金) 13:40~15:10 第10会場(国際館バミール 3F 白雲)

血液体液曝露の残された課題

司会：満田 年宏（東京女子医科大学/職業感染制御研究会）

李 宗子（職業感染制御研究会）

- 1) エピネット日本版および施設調査（JES2015 まで）のデータ分析から見える手術室における針刺し、切創の課題

李 宗子（職業感染制御研究会）

- 2) 針刺し・切創対策に関する最近の動向

満田 年宏（東京女子医科大学/職業感染制御研究会）

- 3) 皮膚粘膜曝露と嘔みつき・引っ掻き—エピネット日本版全国調査 2015 年データの詳細分析から—

網中 真由美（国立看護大学校/職業感染制御研究会）

- 4) 血液体液曝露後の対応における課題

森澤 雄司（自治医科大学/職業感染制御研究会）

職業感染制御研究会企画(ベーシックレクチャー)

2月24日(土) 14:50~15:20 第10会場(国際館バミール 3F 白雲)

研究にエピネットデータを利用するにあたって知るべきこと

司会：人見 重美（筑波大学 臨床医学系 感染症内科）

- 1) エピネット日本版サーベイランスの成り立ちとその意義

木戸内 清（名古屋市昭和保健所/職業感染制御研究会）

- 2) エピネット日本版の正しいデータ収集・入力方法—データ入力の間違い事例等から—

細見 由美子（International Safety Center/職業感染制御研究会）

私立医科大学病院感染対策推進会議企画

2月23日(金) 15:50~16:50 第12会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F プリンスルーム)

病院における薬剤耐性菌対策—私立医科大学病院感染対策推進会議データからの考察—

司会：岩田 敏（国立がん研究センター中央病院 感染症部）

- 1) 薬剤耐性菌発生状況（ここ3年のトレンドも含めて）

三澤 成毅（順天堂大学医学部附属順天堂医院/私立医科大学病院感染対策推進会議）

- 2) 抗菌薬使用量、消毒薬使用量の状況（ここ3年のトレンドも含めて）

池谷 修（慶應義塾大学病院 薬剤部/慶應義塾大学病院 感染制御部/私立医科大学病院感染対策推進会議）

- 3) 薬剤耐性菌発生に関わる要因の分析

藤田 烈（帝京大学 医学部 臨床研究医学講座/私立医科大学病院感染対策推進会議）

追加発言：堀 誠治（東京慈恵会医科大学附属病院 感染制御部）



あり方委員会企画

2月23日(金) 17:00~18:30 第5会場(国際館バミール 1F 旭光)

ファシリティマネジメント 感染管理担当者のあり方を考える

司会：菅野 みゆき (東京慈恵会医科大学附属柏病院 感染対策室)

吉田 真紀子 (東北大学病院 検査部)

1) 医療環境の評価と改善における感染対策担当者の役割

坂本 史衣 (学校法人 聖路加国際大学 聖路加国際病院 QI センター感染管理室)

2) 清掃事業者は何で評価されるか？清掃の品質基準のあり方を考える

小野 勤子 (イオンディライト株式会社 病院・介護営業推進部)

3) 空調制御システムから見た感染対策

岡 幸彦 (アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー EPS 事業推進室)

追加発言：賀来 満夫 (東北大学大学院 医学系研究科 内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野)

第275回ICD講習会

2月24日(土) 17:00~19:00 第1会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天)

本邦における医療関連感染サーベイランスを知ろう—医療関連感染サーベイランスとその活用による感染対策—

司会：針原 康 (NTT東日本関東病院 手術部・外科)

草池 信也 (東邦大学医療センター大橋病院 外科・がんセンター)

1) JANIS サーベイランスの概要

筒井 敦子 (国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター)

2) 日本環境感染学会による JHAIS サーベイランス

針原 康 (NTT 東日本関東病院 手術部・外科)

3) 細菌検査サーベイランスデータの活用法—2DCM-web と RICSS—

藤本 修平 (東海大学医学部 基礎医学系 生体防御学)

4) 耐性菌対策と医療関連感染サーベイランス

大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター)

名誉会員・功労会員授与式、学会賞表彰・受賞講演、上田Award表彰

2月23日(金) 15:50~16:40 第1会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天)

プレゼンター：針原 康 (NTT東日本関東病院)

賀来 満夫 (東北大学 大学院医学系研究科 内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野)

鑑讃・勸讃：炭山 嘉伸 (東邦大学 理事長)

宮崎 久義 (国立病院機構熊本医療センター)

奥住 捷子 (獨協医科大学 感染制御センター)

学会賞：中島 順一郎 (医療法人財団友朋会 嬉野温泉病院)

上田Award：梅津 敦士 (宗像水光会総合病院 医療安全管理室)



ランチョンセミナー1 2月23日(金) 12:30~13:20 第1会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F 飛天)

司会：佐々木 淳一（慶應義塾大学医学部救急医学/慶應義塾大学病院 救急科）

**CDC ガイドライン 2011 のその後一閉鎖式デバイス、その選択に誇りを持てますか？ー
～CDC ガイドライン 2011 前後に起きた FDA 市販後調査～**

William R. Jarvis (Jason&Jarvis Associates, LLC, Consultant)

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

ランチョンセミナー2 2月23日(金) 12:30~13:20 第3会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 平安)

あらためて見直そう、尿路感染管理～AMR 対策も踏まえて～

司会：高橋 聡（札幌医科大学 医学部 感染制御・臨床検査医学講座）

司会より情報提供

「泌尿器科領域における感染制御ガイドライン」の改訂について

高橋 聡（札幌医科大学 医学部 感染制御・臨床検査医学講座）

あらためて見直そう、尿路感染管理～AMR 対策も踏まえて～

高野 八百子（慶應義塾大学病院 感染制御部）

共催：株式会社メディコン

ランチョンセミナー3 2月23日(金) 12:30~13:20 第4会場(国際館パミール 1F 瑞光)

誤刺防止機構付静脈留置針導入 10 年 新たな課題と対策

司会：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）

誤刺防止機構付静脈留置針導入後の新たな課題と対策

平松 玉江（国立がん研究センター中央病院 看護部）

抗がん剤末梢静脈投与における曝露対策

藤井 恵美（国立がん研究センター中央病院 看護部 患者サポート研究開発センター）

共催：ビー・ブラウンエースクラップ株式会社

ランチョンセミナー4 2月23日(金) 12:30~13:20 第5会場(国際館パミール 1F 旭光)

司会：八木 哲也（名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染制御学分野）

手指衛生とその周辺に関するホットトピックス

～患者さんにも医療者にも優しい手指衛生を目指して～

満田 年宏（東京女子医科大学 感染制御科）

共催：サラヤ株式会社

ランチョンセミナー5 2月23日(金) 12:30~13:20 第7会場(国際館パミール 2F 青葉)

司会：石黒 信久（北海道大学病院 感染制御部）

当院 ICT の取り組み～インフルエンザを例として、看護師の立場で～

市川 ゆかり（旭川赤十字病院 感染管理室）

共催：富士フィルム株式会社/富士フィルムメディカル株式会社



ランチョンセミナー6

2月23日(金) 12:30~13:20 第8会場(国際館バミール 2F 松葉)

司会：國島 広之(聖マリアンナ医科大学 感染症学講座)

現場での器材の再生処理と薬剤耐性菌対策～ローカルルールになっていませんか？～

橋本 丈代(福岡大学病院 感染制御部)

共催：吉田製薬株式会社

ランチョンセミナー7

2月23日(金) 12:30~13:20 第10会場(国際館バミール 3F 白雲)

クロストリジウム・ディフィシル感染症の日常診療の課題に迫る～診断、治療、感染管理～

司会：竹末 芳生(兵庫医科大学 感染制御学)

パネリスト：中嶋 一彦(兵庫医科大学 感染制御部)

一木 薫(兵庫医科大学 感染制御部)

共催：アステラス製薬株式会社

ランチョンセミナー8

2月23日(金) 12:30~13:20 第12会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F プリンスルーム) 

司会：堀 賢(順天堂大学大学院 医学研究科 感染制御科学)

Formulation matters ～組成が示唆する手指消毒剤の効果～

James Arbogast(ゴージャー米国本社 衛生科学・公衆衛生推進)

共催：ゴージャージャパン株式会社

ランチョンセミナー9

2月23日(金) 12:30~13:20 第13会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F クラウンルーム)

司会：岩田 敏(国立がん研究センター中央病院 感染症/慶應義塾大学医学部)

みんなで取り組む小児の感染管理～手洗いかからワクチンまで～

宮入 烈(国立成育医療センター感染症科/感染防御対策室)

共催：ジャパンワクチン株式会社/第一三共株式会社

ランチョンセミナー10

2月23日(金) 12:30~13:20 第14会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F ロイヤルルーム)

司会：貫井 陽子(東京医科歯科大学医学部附属病院 感染制御部)

手術室の感染対策を改善するためのコツ

四宮 聡(箕面市立病院 ICT)

共催：ハリヤード・ヘルスケア・インク

ランチョンセミナー11

2月24日(土) 12:00~12:50 第2会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平)

インфекション ZERO へ限らない挑戦

司会：賀来 満夫(東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学分野)

周術期感染対策を再考する—WHO、ACS/SIS、CDC 各ガイドラインの比較—

針原 康(NTT 東日本関東病院)

清潔手術の感染対策

中井 真尚(静岡市立静岡病院 ICU・CUU・HCU 兼 心臓血管外科)

共催：株式会社大塚製薬工場



ランチョンセミナー12

2月24日(土) 12:00~12:50 第4会場(国際館パミール 1F 瑞光)

司会：森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部)

もっと良くなる環境整備のポイント~手指衛生だけじゃダメなの?~

笹原 鉄平 (自治医科大学医学部 感染免疫学講座 臨床感染症部門/自治医科大学医学部附属病院 臨床感染症センター 感染制御部)

共催：テルモ株式会社

ランチョンセミナー13

2月24日(土) 12:00~12:50 第5会場(国際館パミール 1F 旭光)

司会：金光 敬二 (福島県立医科大学 医学部 感染制御学講座)

環境整備と医療経済

福田 治久 (九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 医療経営学分野)

共催：杏林製薬株式会社/キョーリンメディカルサプライ株式会社

ランチョンセミナー14

2月24日(土) 12:00~12:50 第6会場(国際館パミール 1F 暁光)

司会：館田 一博 (東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座)

結核 doctor's delay ゼロをめざして一慈恵医大の取り組み

中澤 靖 (東京慈恵会医科大学附属病院 感染対策室)

共催：オックスフォード・イムノテック株式会社

ランチョンセミナー15

2月24日(土) 12:00~12:50 第8会場(国際館パミール 2F 松葉)

司会：洪 愛子 (神戸女子大学 看護学研究科開設準備室)

検査室における感染対策

坂本 史衣 (学校法人 聖路加国際大学 聖路加国際病院 QI センター感染管理室)

共催：サクラ精機株式会社

ランチョンセミナー16

2月24日(土) 12:00~12:50 第10会場(国際館パミール 3F 白雲) 

手術時の感染予防：課題と対策

司会：満田 年宏 (東京女子医科大学 感染制御科)

手術室における感染予防の最新情報

Jean Carlet (Groupe hospitalier Paris Saint-Joseph)

新素材“スマート素材”の手術用手袋への応用：針刺し防護性能を目指して

Pierre Hoerner (Lucenxia)

共催：三興化学工業株式会社

ランチョンセミナー17

2月24日(土) 12:00~12:50 第12会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F プリンスルーム)

司会：尾内 一信 (川崎医科大学 小児科学講座)

医療関係者のための予防接種

多屋 馨子 (国立感染症研究所 感染症疫学センター 第三室)

共催：アステラス製薬株式会社


ランチョンセミナー18 2月24日(土) 12:00~12:50 第13会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F クラウンルーム)

司会：藤田 烈 (帝京大学医学部臨床研究医学講座 帝京大学臨床研究センター)

カテーテル関連血流感染をどうモニタリングするか？：血液培養サーベイランスシステムの有用性

山元 佳 (国立国際医療研究センター 国際感染症センター 総合感染症科)

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

ランチョンセミナー19 2月24日(土) 12:00~12:50 第14会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F ロイヤルルーム)

司会：大塚 喜人 (亀田総合病院 臨床検査部)

院内で結核患者を発見。その時どうする

細川 直登 (亀田総合病院 感染症科)

共催：極東製薬工業株式会社

スイーツセミナー1 2月23日(金) 15:30~16:20 第2会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平)

針刺し損傷防止機能付きペン型注入器用注入針の導入効果

司会：三鴨 廣繁 (愛知医科大学 感染症科)

國島 広之 (聖マリアンナ医科大学 感染症学講座)

星野 ゆかり (仙台厚生病院 看護部)

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

スイーツセミナー2 2月23日(金) 15:30~16:20 第7会場(国際館バミール 2F 青葉)

司会：内山 正子 (新潟大学医歯学総合病院 感染管理部)

手荒れ対策もバッチリ！手指衛生遵守率アップに向けた取り組み

坂木 晴世 (独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院 看護部)

共催：杏林製薬株式会社/日本エア・リキード株式会社

アフタヌーンセミナー1 2月23日(金) 16:40~17:30 第2会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 天平)

司会：森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部)

感染対策地域ネットワークの今、これから～躊躇するアナタ、でもアナタならきっとできる！ネットワーク構築～

吉田 雅喜 (八雲総合病院 小児科診療部)

共催：丸石製薬株式会社

アフタヌーンセミナー2 2月23日(金) 16:40~17:30 第4会場(国際館バミール 1F 瑞光)

司会：中澤 靖 (東京慈恵会医科大学 感染制御科/東京慈恵会医科大学附属病院 感染対策室)

医療環境のきれいごと

金森 肇 (東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座感染制御・検査診断学分野、東北大学病院 総合感染症科/検査部/感染管理室)

共催：株式会社モレオンコーポレーション

一般演題 口演

1日目

〈O1-1~O30-6〉

2日目

〈O31-1~O68-6〉



第1日目 2月23日(金) 第3会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 平安)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
1 抗菌薬適正使用-1 9:00~10:00	藤本 卓司 (耳原総合病院 救急総合診療科)	O1-1	MRSA 感染症に対してグリコペプチド系抗菌薬の早期至適トラフ値到達が治療効果に及ぼす影響について	産業医科大学病院 感染制御部	鈴木 克典
		O1-2	当院における術後感染予防抗菌薬適正使用に関する調査～術前・術中追加投与の適正化に向けて～	金沢医科大学病院 薬剤部	西田 祥啓
		O1-3	当院 ICT による抗 MRSA 薬の適正使用支援についての検討	神奈川リハビリテーション病院 ICT	岡村 秀行
		O1-4	抗 MRSA 薬の使用状況と適正使用にむけた取り組み	済生会山口総合病院 薬剤部	吉本 和代
		O1-5	外科・泌尿器科領域の術後感染予防抗菌薬の変更による抗菌薬減少効果について	PL病院 薬剤部	富田 有香
		O1-6	Antimicrobial Stewardship (AS) ラウンド開始前後における抗菌薬使用密度 (AUD) の変化について	岡山市立市民病院 ICT	梶田 志保
2 抗菌薬適正使用-2 10:10~11:10	濁川 博子 (東京通信病院 感染症内科)	O2-1	倉敷平成病院における AST ラウンドの取り組みと評価	社会医療法人全仁会 倉敷平成病院	齋藤 文佳
		O2-2	小児医療施設での Antimicrobial Stewardship Team が与える抗菌薬使用量への影響	福岡市立こども病院 感染対策室	由留部圭伍
		O2-3	システムの有効活用による抗菌薬適正使用支援活動効率化の取り組み	東京医科歯科大学医学部附属病院	相曾 啓史
		O2-4	外来抗菌薬使用量の推移と耐性菌検出率の変化について	兵庫県立リハビリテーション中央病院 薬剤部	高見 望美
		O2-5	リネゾリドの適正使用を目的に行った許可制導入による処方動向と感受性の変化	岩手医科大学附属病院 感染対策室	佐々木拓弥
		O2-6	当院入院患者における内服抗菌薬使用状況の検証	上尾中央医科グループ 三郷中央総合病院	上田 恵子
3 抗菌薬適正使用-3 11:20~12:10	相野田 祐介 (社会福祉法人 三井記念病院 感染制御部)	O3-1	当院における抗菌薬使用量の数量的評価	八女発心会 姫野病院	山田 貴之
		O3-2	特定抗菌薬使用前の細菌検査未施行症例への取り組み	中東遠総合医療センター 院内感染対策委員会	山本 恭子
		O3-3	ナショナルデータベースを用いた抗菌薬使用量動向調査—卸データとの比較、年齢階級別の解析—	三重大学医学部附属病院	山崎 大輔
		O3-4	当センターにおける腸内細菌の耐性率と LVFX の使用状況について	兵庫県立加古川医療センター 薬剤部	坂井 良美
		O3-5	バンコマイシンにおける初回負荷投与の有効性に関する検討	兵庫医科大学病院 感染制御部	植田 貴史

第1日目 2月23日(金) 第3会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 平安)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
4 抗菌薬適正使用- 4 13:40~14:40	根井 貴仁 (日本医科大学付 属病院)	O4-1	ガイドライン改訂に基づいたバンコ マイシン初回投与設計の変更による トラフ値への影響の検討	PL病院 薬剤部	中田 一孝
		O4-2	抗菌薬ポケットガイドが医師の抗菌 薬処方に与えた影響の調査	国立病院機構相模原病 院 薬剤部	水島 淳裕
		O4-3	カルバペネム系抗菌薬の ASP 向け での取り組み	高松市市民病院 薬剤局	三輪あゆみ
		O4-4	AUD、DOT を用いたカルバペネム系 抗菌薬使用動向と緑膿菌の感性率に 関する検討	弘前大学医学部附属病 院 薬剤部	岡村 祐嗣
		O4-5	TAZ/PIPC・VCM 併用群と MEPM・VCM 併用群の腎障害発症 リスクの比較検討	東京労災病院 ICT	川村ひとみ
		O4-6	広島県下 31 施設による抗菌薬使用と 耐性菌分離率に関する地域共同サー ベイランス	広島県病院薬剤師会 調査広報委員会 AUR サーベイランス部門	池本 雅章
5 抗菌薬適正使用- 5 14:50~15:50	加藤 英明 (横浜市立大学附 属病院 感染制御 部)	O5-1	ICT 薬剤師による抗菌薬適正使用へ の取組み	大分県立病院 薬剤部	清國 直樹
		O5-2	感染症治療薬チェックシート導入の 有用性に関する検討	JA尾道総合病院 薬剤 科	藤本 雅宣
		O5-3	病棟薬剤師と連携した Antimicrobial stewardship の効果—カルバペネム 抗菌薬を対象に	下越病院 薬剤課	三星 知
		O5-4	TDM 管理下におけるテイコプラニ ンの治療状況と安全性	磐田市立総合病院 感 染対策チーム	松原 大祐
		O5-5	腎機能低下例におけるバンコマイシ ン初回負荷投与の有効性と安全性の 評価	AMG 上尾中央総合病 院	高橋 直博
		O5-6	AST での薬剤師の関わり—薬剤師に よる啓発活動は医師の処方行動に影 響を与えることができるか—	済生会兵庫東病院 薬 剂科	古田 優子
6 抗菌薬適正使用- 6 16:00~17:00	金井 信一郎 (信州大学医学部 附属病院 感染制 御室)	O6-1	当院における外来での経口抗菌薬使 用状況について	坂出市立病院 薬局	森 喜郎
		O6-2	当院における誤嚥性肺炎患者へのス ルバクタム/アンピシリン 1 回 3g 投 与の有効性及び安全性の検討	JCHO 高岡ふしき病院 薬剤科	水野 宏昭
		O6-3	感染管理システム施設連携研究会 17 施設による抗菌薬使用と耐性菌分離 率に関する国内共同サーベイランス	感染管理システム施設 連携研究会	白野 倫徳
		O6-4	多摩南部地域病院の抗菌薬使用状況	公益財団法人 東京都 保健医療公社 多摩南 部地域病院 薬剤科	佐々木康弘
		O6-5	入院加療を要した菌性感染症への抗 菌薬使用状況	防衛医科大学校病院 菌科口腔外科	砂川 雄貴
		O6-6	DPC データ・JANIS データを結合さ せた、抗菌薬使用量サーベイランスの 試み	KKR 高松病院 ICT	青木 洋二


第1日目 2月23日(金) 第4会場(国際館パミール 1F 瑞光)

一般演題口演

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
7 環境整備-1 9:00~10:00	中島 百合 (独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター)	O7-1	当院におけるアウトブレイクの積極的介入による MRSA・ESBL 新規院内検出率減少効果について	国立病院機構兵庫中央病院 ICT	川崎 量子
		O7-2	ICUの環境調査と結果の見える化と清掃方法の見直しによる清浄度向上に向けての取り組み	松下記念病院 集中治療室	前田 哲平
		O7-3	環境整備時の个人防护具の使用と手指衛生は実践できているか	公立豊岡病院 看護部	出口 晴菜
		O7-4	超音波処置室の環境改善における ICT 介入と看護師介入の効果	大阪赤十字病院 ICT	小谷 奈穂
		O7-5	看護補助者による環境整備チェックリストを使用した環境整備の実施と ATP 測定値の変動	マツダ病院	宗本 幹枝
		O7-6	吐物処理における次亜塩素酸ナトリウムとペーパータオルの用い方とその評価	山口県病院薬剤師会感染制御委員会	松尾 義哉
8 教育、啓発-1 10:10~11:10	竹村 美和 (滋賀医科大学医学部附属病院)	O8-1	民間病院における中心ライン関連血流感染及び挿入部の発赤症例低減に向けた取り組み～被覆材集合教育に焦点を当てて～	医療法人清栄会 清瀬病院	大石恵理子
		O8-2	感染リンクスタッフによる現場教育の効果	能代厚生医療センター	袴田 陽子
		O8-3	小学生に対する擦式手指消毒剤ディスペンサーの教室内設置による感染予防に関する効果	埼玉県寄居町立桜沢小学校	横田 彩佳
		O8-4	長期療養型病院における手指衛生の教育介入と評価	札幌エルム病院 薬局	横内 淳子
		O8-5	インフルエンザワクチン接種を受けた当院職員のインフルエンザ罹患時の状況についての検討	北播磨総合医療センター 感染対策室	高橋 尚子
		O8-6	当院の術後感染予防抗菌薬の使用後調査	立川相互病院 薬剤部	沢 仁美
9 教育、啓発-2 11:20~12:10	赤峰 みすず (天心堂 へつぎ病院 感染管理室)	O9-1	歯科大学附属病院における義歯修理時の義歯消毒遵守率の再調査	大阪歯科大学附属病院 ICT	内藤 徹
		O9-2	教育コンテンツの違いによる学習効果の違いについて～関門地域感染症研究会セミナーによる抗菌薬適正使用の取り組みについて～	産業医科大学病院 感染制御部	鈴木 克典
		O9-3	看護学生のユニフォームにおける着用回数別細菌汚染	大阪市立大学 医学部看護学科	岡山 加奈
		O9-4	手形培地を利用した感染対策の試み	株式会社 ビー・エム・エル	霜島 正浩
		O9-5	ASUISHI 医師養成事業 2 期生における感染制御領域の学習方略満足度と行動目標到達度調査	名古屋大学大学院医学系研究科	井口 光孝



第1日目 2月23日(金) 第4会場(国際館パミール 1F 瑞光)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
10 手指衛生-1 13:40~14:40	甲斐 美里 (済生会熊本病院 TQM部 感染管理 室)	O10-1	手指消毒剤の使用量増加に向けた取 組みと MRSA 院内感染率低下につ いて	大阪府 済生会 茨木 病院 ICT	中家 聖子
		O10-2	手指消毒薬使用量増加の要因の検討	国立研究開発法人 国 立長寿医療研究セン ター	前川 裕子
		O10-3	手指衛生の保持における温水洗浄便 座の有効性	宇部フロンティア大学 人間健康学部 看護学 科	青鹿 宏美
		O10-4	水戸医療センターでのチーム医療に よる手術時手洗い法移行の試み	水戸医療センター 外 科	小崎 浩一
		O10-5	バームスタンプを用いた教育的介入 の再考~スタッフの行動変容とその 有効性~	杏林大学病院 CICU	渡邊 健太
		O10-6	要因解析を用いた集中治療室におけ る手指衛生改善の試み	鹿児島大学病院 感染 制御部門	川村 英樹
11 手指衛生-2 14:50~15:50	平工 加奈子 (東京女子医科大 学病院 総合感染 症・感染制御部)	O11-1	ImageJ を用いた手洗い指導の見える 化の検討	総合病院 国保旭中央 病院	五十嵐礼子
		O11-2	オムツ交換時の手指衛生と手袋着脱 のタイミングの遵守率向上への活動	半田市立半田病院 6A 病棟	桑原 申明
		O11-3	携帯用アルコール手指消毒剤使用量 調査と直接観察法による手指衛生遵 守率の評価	地方独立行政法人岐阜 県立下呂温泉病院	熊崎 公香
		O11-4	手指衛生が必要な5つのタイミング に着目した実施状況に対する教育の 効果	NHO徳島病院 筋ジス トロフィー病棟	原田 千尋
		O11-5	現場主導のチームによるクロスモニ タリングの手指衛生向上への効果	東邦大学医療センター 大森病院 感染管理部	富田 学
		O11-6	皮膚の自己評価ツールを用いた看護 師の手荒れ調査	愛知医科大学病院 感 染制御部	久留宮 愛



第1日目 2月23日(金) 第7会場(国際館パミール 2F 青葉)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
12 BSI (血液感染)- 1 9:00~10:00	田辺 正樹 (三重大学医学部 附属病院)	O12-1	尿路由来菌血症における原因菌と予後に関する解析	福井大学医学部附属病院 薬剤部	新谷 智則
		O12-2	細菌検査データと DPC データの統合による MRSA 菌血症のリスク分析	久留米大学病院 臨床検査部	宮本 直樹
		O12-3	A 病院で 2016 年に増加したカンジダ血症の調査	岩手県立胆沢病院 感染管理室	長嶋 昭人
		O12-4	一般病棟の中心ライン関連血流感染対策におけるニードルレスコネクタ用イソプロピルアルコール含浸フォーム付き保護栓導入の効果	福岡大学病院 感染制御部	小林加奈江
		O12-5	造血幹細胞移植病棟における中心ライン関連血流感染 (CLABSI) の現状と対策	国立がん研究センター中央病院 感染制御室	室谷美々子
		O12-6	ビタミン・アミノ酸加糖電解質輸液投与患者における末梢静脈カテーテル関連血流感染事例についての報告	地方独立行政法人大牟田市立病院 感染対策チーム	笠田 高志
13 BSI (血液感染)- 2 10:10~11:00	下川 結花 (国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院)	O13-1	末梢静脈カテーテル留置期間延長に向けた現状調査～血流感染と静脈炎の関連の検討～	久留米大学医療センター ICT	江崎 祐子
		O13-2	当院血液腫瘍内科における末梢静脈カテーテル留置期間延長に伴う血流感染の変化	東大病院 看護部	間平 珠美
		O13-3	CLABSI 削減における 0.5% クロルヘキシジナルアルコールの効果—ガイドラインに盲従すべきか自施設の対策を継続するか—	一宮市立市民病院 心臓血管外科	宮原 健
		O13-4	当院における ESBL 産生腸内細菌による血流感染症に対する carbapenems と cefmetazole の有効性の比較	東京新宿メディカルセンター 薬剤部	栗島 彬
		O13-5	末梢静脈輸液カテーテル挿入時のシャワーカバーのリユースの安全性	市立旭川病院	桐 則行
14 プロセス管理 11:20~12:10	武良 由香 (公益財団法人ときわ会 常磐病院)	O14-1	東海地区 9 施設における血流感染マネジメントバンドル 2017 を用いた抗菌薬適正使用の遵守状況	東海血流感染ネットワーク	奥平 正美
		O14-2	ICU における吸引手順の見直しベストプラクティスに向けての取り組み	社会医療法人財団池友会 新行橋病院	宗岡 直輝
		O14-3	ベストプラクティス作成による尿道留置カテーテル挿入手技の統一化	長野医療生活協同組合 長野中央病院 感染対策室	小林 史博
		O14-4	感染予防ガイドラインに沿った透析業務の感染対策—感染管理ベストプラクティスを活用して—	岩手県立中部病院 看護科	菅原 智香
		O14-5	電子カルテ導入時の電子カルテ端末及びカート清掃がクロストリジウム・デフィシル感染症 (CDI) の発生抑制に与える効果	沖縄県立中部病院 感染症内科	椎木 創一



第1日目 2月23日(金) 第7会場(国際館パミール 2F 青葉)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
15 微生物検査 13:40~14:40	犬塚 和久 (JA愛知厚生連 医療事業部 医療 事業課)	O15-1	迅速検査陰性患者を発端とする小児 病棟におけるノロウイルス集団感染 事例	鹿児島大学病院 医療 環境安全部 感染制御 部門	折田美千代
		O15-2	胆汁からの CRE 検出に伴う内視鏡清 浄度調査の実施報告	古賀総合病院 臨床検 査技術部	河野 満子
		O15-3	当院における血液培養 2 セット採取 率適正化への取り組みと課題	医療法人社団創進会 みつわ台総合病院 ICT	林 真由美
		O15-4	当センターにおける 1 種類のドライ プレートのみによる全検出菌薬剤感 受性測定について	自動車事故対策機構 千葉療護センター	森 修治
		O15-5	血液培養結果の即日報告が広域抗菌 薬使用回避に及ぼす有用性について	公立昭和病院 ICT	横沢 隆行
		O15-6	当センターにおけるカルバペネム耐 性 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> の検出 状況	埼玉県立がんセンター 検査技術部	今井 美美



第1日目 2月23日(金) 第8会場(国際館パミール 2F 松葉)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
16 消毒・洗浄・滅菌-1 9:00~10:00	伏見 了 (東京医療保健大学大学院)	O16-1	薬剤耐性菌に対するノンアルコール手指衛生剤の有効性	宇部フロンティア大学 人間健康学部 看護学科	重藤 和貴
		O16-2	多剤排出ポンプ遺伝子陽性 MRSA に対する消毒薬の殺菌効果	東京薬科大学 薬学部 病原微生物学教室	中南 秀将
		O16-3	緑膿菌に対する電解中性水の樹脂上での除菌効果	順天堂大学大学院 感染制御科学	伊丹 愛子
		O16-4	次亜塩素酸ナトリウムの有機物による残留塩素濃度の変化について	札幌医科大学附属病院 感染制御部	中江 舞美
		O16-5	薬事的観点から見た、消毒効果を目的とした製品(医薬品・医薬部外品・雑品)の衛生管理における問題と改善	山口大学医学部附属病院 感染制御部	河口 義隆
		O16-6	上部および下部消化器内視鏡チャンネル内に残留する汚れの ATP+ADP+AMP、蛋白質および一般生菌数の測定	キッコーマンバイオケミファ株式会社 企画開発部	場家 幹雄
17 消毒・洗浄・滅菌-2 10:10~11:10	高階 雅紀 (大阪大学医学部附属病院)	O17-1	患者拭拭用木綿製タオルの電子レンジ処理による滅菌効果の検討	東京医療保健大学大学院	鎌田 明
		O17-2	哺乳瓶・乳首の中央材料室での一括洗浄・滅菌に向けた取り組み~ATP検査での洗浄評価を行って~	鳥取赤十字病院	鈴木 千春
		O17-3	再生医材のトレサビリティを考える~システム構築と運用の検討~	国立国際医療研究センター病院 看護部	田中 敬子
		O17-4	アルコール製剤によるノロウイルス不活化効果について	シーバイエス株式会社 研究開発室	宮澤めぐみ
		O17-5	硫酸塩による酸性エタノール混合物のウイルス不活化増強効果	株式会社ニイタカ 技術部	尾崎 恵太
		O17-6	当院における次亜塩素酸ナトリウム浸漬液適正使用推進活動の評価	金沢医科大学病院 薬剤部	多賀 允俊
18 消毒・洗浄・滅菌-3 11:20~12:10	齋藤 祐平 (東京大学医学部附属病院)	O18-1	消毒薬適正使用推進チームによる院内消毒薬の標準化に向けた取り組み	東京医科大学病院 薬剤部	下平 智秀
		O18-2	ベッドバンウォッシャー洗浄評価から見えた課題	琉球大学医学部附属病院 看護部	富島 美幸
		O18-3	用手洗浄を行った浸漬禁止手術器械の洗浄評価	自衛隊阪神病院 看護部手術室	谷口 未央
		O18-4	経栄養関連器材および準備・片付けを行う環境における細菌学的調査	愛知医科大学看護学部	三善 郁代
		O18-5	透析用バスキュラーアクセスカテーテルの刺入部感染に対する取り組み	KKR高松病院 臨床工学科	山崎さおり

第1日目 2月23日(金) 第8会場(国際館パミール 2F 松葉)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
19 標準予防策、経路 別予防策 13:40~14:40	荒木 弥生 (東邦大学医療セ ンター大森病院)	O19-1	透析室におけるインフルエンザ、ノロ ウイルスに対する感染トリアージの 報告	東北公済病院 透析セ ンター	佐々木由紀
		O19-2	クロストリジウム・ディフィシル感 染症の集団発生における、病棟の対策 と課題～排泄ケアの取り組みを通し て～	NHO東佐賀病院	田中 智之
		O19-3	病棟看護師のサージカルマスク着用 の理由と行動要因の関連 (第1報)	順天堂大学大学院医療 看護学研究科	小林 裕美
		O19-4	ノルウェー疥癬症例を経験して得ら れた標準予防策の重要性	愛知県がんセンター愛 知病院 ICT	和田 美佳
		O19-5	N95マスクのフィットテストによる 有効性の検討	藤岡市国民健康保険 鬼石病院	稲川 秀樹
		O19-6	病棟看護師のサージカルマスク着用 の理由と行動要因の関連 (第2報)	順天堂大学大学院医療 看護学研究科	小林 裕美
20 針刺し切創・体 液曝露-1 14:50~15:50	木戸内 清 (名古屋市昭和保 健所)	O20-1	Team STEPPSを活用した針刺し・ 切創防止に向けた取り組み	医療法人 光臨会 荒 木脳神経外科病院	島中 延枝
		O20-2	全手術にニュートラルゾーンシート を導入して、みえたもの～手術室にお ける針刺し切創の現状と課題～	厚生連高岡病院	廣野 和子
		O20-3	安全翼状針による針刺し低減に向け た教育の在り方の一考察～中途採用 者教育の効果～	カレスサッポロ北光記 念病院 感染制御室	村田 弘美
		O20-4	当院の血液・体液曝露後対応の見直 し～抗HIV薬を常備することになっ たきっかけ～	清恵会病院 看護部	山本 真紀
		O20-5	インスリン注射時の針刺し防止に向 けた取り組み	鹿児島市立病院 ICT	久保 直美
		O20-6	医師と看護師の針刺し・切創報告率 に関する分析	名古屋市衛生研究所	平光 良充
21 針刺し切創・体 液曝露-2 16:00~17:00	萱場 広之 (弘前大学医学部 附属病院 検査部)	O21-1	看護師の採血・静脈注射時の手袋着 用率向上への取り組み～ICNとリン クナースが協働して～	NHO近畿中央胸部疾患 センター 看護部	大槻登季子
		O21-2	安全機能付きペン型インスリン針の 採用経緯	長岡赤十字病院 感染 対策チーム	塩入久美子
		O21-3	手術室外回り看護師におけるゴーグ ル着用の現状調査と改善に向けての 取り組み	海南病院 手術セン ター	伊藤 里香
		O21-4	看護師による注射・採血時の針刺し 現状と課題	前橋赤十字病院	小林 杏
		O21-5	針刺し・切創、曝露予防の新たな取り 組み	地方独立行政法人 京 都市立病院機構 京都 市立病院 感染管理セ ンター・ICT	村上あおい
		O21-6	看護師の個人防護具使用に関する認 識・実践と職場の安全風土	国立看護大学校	網中眞由美



第1日目 2月23日(金) 第13会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F クラウンルーム)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
22 インフルエンザ-1 9:00~10:00	坂口 みきよ (東芝病院 看護部)	O22-1	インフルエンザ予防内服規定の作成とその有用性について	福岡記念病院 感染制御部	加村 真知子
		O22-2	閉鎖病棟入院患者の行動特性を踏まえたインフルエンザ流行の要因分析	岩手医科大学附属病院 感染症対策室	栗山 聡美
		O22-3	院内放送・面会制限導入によるインフルエンザ対策強化への試み	東京医科大学茨城医療センター 感染制御部	鈴木 昌子
		O22-4	老人保健施設内で発生したインフルエンザアウトブレイクにおける予防投与の効果	医療法人三善会 津島中央病院 薬局	清水 直明
		O22-5	血液病棟を有する当院で経験した2014/15シーズン、2016/2017年シーズンのインフルエンザアウトブレイクについての検討	まつもと医療センター 松本病院 ICT	平林 幸生
		O22-6	沖縄での冬季及び夏季のインフルエンザ院内発症状況の比較	沖縄県立中部病院 看護部	富山 辰徳
23 インフルエンザ-2 10:10~11:10	小林 治 (杏林大学 保健学部)	O23-1	大気中インフルエンザウイルス粒子の検出・モニタリング装置の開発	東京エレクトロン 革新技术企画室	田村 明威
		O23-2	さいたま市内で検出されたインフルエンザ AH1pdm09 ウイルス HA 遺伝子に関する系統解析	さいたま市 健康科学研究センター	櫻井 裕子
		O23-3	オセルタミビル3日間投与でのインフルエンザ曝露後予防投与効果の検討	滝川市立病院 感染制御チーム	工藤 結香
		O23-4	低濃度 ClO ₂ ガスによる空中浮遊インフルエンザウイルス失活に及ぼす雰囲気湿度の影響	アムテック株式会社 研究開発部	林 宏行
		O23-5	季節性インフルエンザ流行期の外来トリアージへの取り組み	独立行政法人 労働者健康安全機構 愛媛労災病院	菅原 麻貴
		O23-6	呼吸器感染症ウイルスに対するアセチルトリプトファンの消毒作用	和歌山県立医科大学 保健看護学部	池田 敬子
24 インフルエンザ-3 11:20~12:10	石黒 信久 (北海道大学病院 感染制御部)	O24-1	富良野における小児の4価インフルエンザワクチン効果 2016-17 シーズン	富良野協会病院 小児科	角谷不二雄
		O24-2	回復期及び療養病棟におけるインフルエンザのアウトブレイクを経験して	有隣病院 感染対策室	奥田 幹久
		O24-3	インフルエンザアウトブレイクの振り返りと今後の課題	友愛会病院 感染制御室	西川 潤
		O24-4	迅速診断キットを利用した透析患者のインフルエンザ発生時の感染対策解除時期の一考察	しげい病院 検査健診部	谷 誠
		O24-5	院内発症したインフルエンザの伝播経路に関する検討	東京慈恵会医科大学附属柏病院 感染対策室	菅野みゆき

第1日目 2月23日(金) 第14会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F ロイヤルルーム)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
25 地域連携-1 9:00~10:00	武内 世生 (高知大学医学部 附属病院 総合診 療部)	O25-1	地域連携感染カンファレンス参加施設との抗 HIV 薬共同利用に向けた取り組み	埼玉県済生会栗橋病院 感染対策室	小美野 勝
		O25-2	全国の感染管理認定看護師所属施設での結核対策の現状と結核認識度に関するアンケート調査	公益財団法人結核予防会 複十字病院 看護部	飯干 恵子
		O25-3	介護サービス事業者等感染対策推進事業の追跡調査で得られた今後の課題	滋賀県感染制御ネットワーク	木下 桂
		O25-4	地域支援ラウンドにおける薬剤師の役割	箕面市立病院 薬剤部	山路 加奈
		O25-5	感染制御活動の地域連携における多剤耐性菌検査体制の現状調査とフィードバック結果の活用について	KAWASAKI地域感染制御協議会	宮本 豊一
		O25-6	長崎大学病院とリベリア Tellewoyan Memorial Hospital とのパートナーシップ提携による感染制御支援活動	長崎大学病院 感染制御教育センター	寺坂 陽子
26 地域連携-2 10:10~11:10	野田 洋子 (金沢医科大学病 院)	O26-1	横浜市金沢区 7 病院と福祉保健センターにおける感染対策の連携 流行性感染症入院スクリーニングシステムの導入	神奈川県立循環器呼吸器病センター ICT	横谷チエミ
		O26-2	三重県感染対策ネットワーク(MieIC-Net)における検査技師の活動について	三重大学病院 感染制御部	中村 明子
		O26-3	地域感染対策標準化へのリフレクション~5 年間のワーキング活動から見えるもの~	前橋赤十字病院 感染管理室	清水真理子
		O26-4	医療関係者のためのワクチンガイドラインを基に施設間でも利用が可能である QR コードを活用した職員の予防接種履歴情報管理の試み	国立病院機構 茨城東病院 胸部療育医療センター	後藤 智彦
		O26-5	血流感染マネジメントバンドル 2017 の実用性の検証	東海血流感染ネットワーク	村松 有紀
		O26-6	茨城県内 36 施設の手指消毒薬と嘔吐・下痢時の環境消毒薬の使用実態	総合守谷第一病院 薬剤部	中野 英明
27 薬剤耐性菌 11:20~12:10	馬場 尚志 (岐阜大学医学部 附属病院 生体支 援センター)	O27-1	当院の薬剤耐性菌サーベイランス体制~海外で医療を受けた患者への対応~	日本医科大学付属病院 感染制御室	藤田 昌久
		O27-2	さいたま市内で分離されたサルモネラ属菌の血清型と薬剤感受性について	さいたま市健康科学研究センター	上野 裕之
		O27-3	北摂地区 5 市立病院における緑膿菌の薬剤感受性の現状	市立吹田市民病院 中央検査部	佐々木正義
		O27-4	輸入農産物を介した薬剤耐性アスベルギルス拡散の実態調査	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野	守屋江利子



第1日目 2月23日(金) 第15会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F アメジスト)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
28 ウイルス感染-1 9:00~9:50	吉田 敦 (東京女子医科大学 感染症科)	O28-1	いわゆるかぜウイルスによる、小児病棟での感染拡大と重症化(後方視的検討、非介入)	慶應義塾大学病院 感染制御部	新庄 正宜
		O28-2	接触者対応として行った職員抗体価検査の結果から麻疹対策を考える	伊勢崎市民病院 医療安全管理室	後藤 恵
		O28-3	院内感染対策における水痘抗原皮内反応の有用性の検討	JA岐阜厚生連中濃厚生病院 小児科	内田 靖
		O28-4	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)診療における環境感染対策について	りんくう総合医療センター総合内科・感染症内科	倭 正也
		O28-5	アデノウイルスに対するポビドンヨード製剤の抗ウイルス効果	東京医療保健大学大学院	鈴木 潤一
29 ウイルス感染-2 10:10~10:50	笠井 正志 (兵庫県立こども病院 感染症科)	O29-1	在宅酸素療法を導入した新生児慢性肺疾患患者における呼吸器ウイルスの検出状況	石井記念愛染園附属愛染橋病院	井石 倫弘
		O29-2	当院小児科におけるマイクロ流路チップを用いた direct リアルタイム RT-LAMP(RT-LAMP)法による多種類呼吸器ウイルス検査の試み	愛染橋病院 医療安全管理室	上田 史子
		O29-3	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の3例と当院での対応	三原赤十字病院 院内感染対策チーム	竹原 清人
		O29-4	医療従事者における自己申告による麻疹の予防接種歴と麻疹抗体価	日赤医療センター 感染管理室	上田 晃弘
30 細菌感染 11:10~12:10	長尾 美紀 (京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部)	O30-1	末梢総合栄養輸液の <i>Bacillus cereus</i> 菌血症の発生防止に寄与する適切な点滴時間	愛知医科大学病院 感染制御部	塩田 有史
		O30-2	障害者施設における O157 アウトブレイクと HUS 発生リスクの考察	豊橋市民病院	高橋 一嘉
		O30-3	外陰部壊疽性菌膜炎(フルニエ壊疽): 各科間の連携と細菌検査室疾患認識の重要性	安城更生病院 ICT	岡村 武彦
		O30-4	非 HIV ニューモシスチス肺炎 (non HIV-PCP) に対する ST 合剤の治療成績	磐田市立総合病院 感染対策チーム	片桐 崇志
		O30-5	細菌性肺炎における喀痰培養と治療期間の検討	JA北海道厚生連 遠軽厚生病院 薬剤科	久保 淳一
		O30-6	寝たきり高齢者と若年健常者、高齢健常者における皮膚細菌叢の相違に関する検討	金沢大学 保健 病態検査	長瀬 賢史

第2日目 2月24日(土) 第3会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 平安)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
31 手指衛生-3 8:30~9:30	藤原 広子 (一般財団法人住友病院 感染制御部)	O31-1	手指衛生向上のための多方面介入	富山市民病院 看護部	浅岡 那奈
		O31-2	手荒れのある看護職員への介入と振り返り	慈光会 甲府城南病院	長田江津子
		O31-3	当院手術室外回り看護師の手指衛生遵守率向上を目指した教育の効果	重工記念長崎病院 看護部	前迫 直美
		O31-4	ノンアルコール手指衛生剤導入による手荒れおよび手指衛生への影響	大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部	藤田 明子
		O31-5	手荒れアトピー外来第2報~手荒れの治療効果と手指衛生への影響~	中通総合病院	平山 雅士
		O31-6	感染防止対策加算1病院と2病院が協同で行った擦式アルコール手指消毒薬使用量増加への取り組み	重工記念長崎病院 ICT	峯 麻紀子
32 手指衛生-4 9:40~10:40	杉町 富貴子 (医療法人社団高邦会 高木病院)	O32-1	看護師の手指衛生遵守率向上と行動変容に向けた取り組み~ベストプラクティスを導入して~	大阪市立大学医学部附属病院 9階西病棟	金藤由香利
		O32-2	小規模施設における手指衛生遵守率・実施回数向上への取り組み~フィードバックの頻度・対象者を変えることによる影響~	高千穂町国民健康保険病院	興梠 裕樹
		O32-3	感染対策ネットワーク下関(ICNS)における8施設の擦式アルコール手指消毒薬使用量の増加要因	下関市立市民病院	浅野 郁代
		O32-4	病棟全職員による擦式消毒薬個人携帯、その効果と普及要因~慢性期病院での取り組み~	医療法人財団百葉の会 湖山リハビリテーション病院 ICT	成松 聡美
		O32-5	医療における手指衛生の5つの瞬間に対する意識調査	高松平和病院 看護部	横田 未緒
		O32-6	手術時手洗におけるラビング法導入後の実態調査~バームスタンプ法を用いて~	久留米大学病院 中央手術部	西尾 友希
33 手指衛生-5 10:50~11:50	渡邊 都貴子 (山陽学園大学 看護学部 看護学科)	O33-1	手指消毒回数の増加を目指した活動報告	公益財団法人健和会 大手町病院	金谷 成寿
		O33-2	ICU 看護師における WHO の推奨する「手指衛生5つのタイミング」の遵守率実態調査	大阪市立総合医療センター 看護部	山口 直樹
		O33-3	ICT 活動による手指衛生向上への取り組み	土岐市立総合病院 感染防止対策室	水野 依子
		O33-4	手指衛生の遵守に向けた取り組みについての検証	金町中央病院	小澤 吉美
		O33-5	ツーステージ法とウォーターレス法の比較~バームスタンプによる評価~	高砂市民病院 手術室	阪本 瑞穂
		O33-6	医療従事者保菌表皮ブドウ球菌株のトリクロサン低感受性の検討~トリクロサンの手指消毒効果への影響と検出株表現型の変動~	岩手医科大学 看護学部 看護専門基礎講座	一ノ渡 学



第2日目 2月24日(土) 第3会場(グランドプリンスホテル新高輪 3F 平安)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
34 組織、活動-1 13:10~14:10	一木 薫 (兵庫医科大学病院 感染制御部)	O34-1	当院の看護部感染管理委員会の取り組み—感染管理リカレント研修の成果—	高知大学医学部附属病院 看護部	竹田香須美
		O34-2	感染管理認定看護師(CNIC)の業務の現状と課題—郵送調査による検討から—	元武庫川女子大学大学院看護学研究科	嵩 ひかり
		O34-3	多職種で実践する感染制御チームの活動の効果について	あおもり協立病院 医療安全管理室	菊池久美子
		O34-4	当院における転入時監視培養検査の取り組み	神奈川県立こども医療センター 検査科	山下 恵
		O34-5	インフルエンザ流行期に臨床検査技師が救急室に臨時勤務する試み~3年間の経験から~	AMG 上尾中央総合病院 検査技術科	波多野佳彦
		O34-6	千葉大学医学部付属病院における2017年度新採用者の麻疹・風疹・水痘・ムンプスワクチン接種履歴書面報告と抗体価測定結果	千葉大学医学部附属病院 感染制御部	高柳 晋
35 組織、活動-2 14:20~15:10	四宮 聡 (箕面市立病院)	O35-1	山間部僻地中核病院での環境感染への取り組み	身延町早川町組合立飯富病院 ICT	伊藤 千明
		O35-2	神経筋・難病病院における ESB� の検出状況と環境改善に向けた取り組み	独立行政法人国立病院機構 箱根病院 看護部	治田 弘子
		O35-3	法人全体の感染対策チーム連携の構築~おむつ交換の感染管理ベストプラクティス手順書を使用しての遵守率アップから~	医療法人社団松下会 白庭病院 感染対策室	木野田利枝
		O35-4	感染対策部門への事務職員配置による業務評価	北海道社会事業協会 帯広病院 ICT	山下 亜矢
		O35-5	当院 ICT の抗菌薬適正使用支援に向けた取り組み—脳膿瘍より嫌気性菌が検出された1症例を通して—	社会医療法人持道会 総合南東北病院ICT	高橋 真弓
36 C.difficile 15:20~16:20	中村 敦 (名古屋市立大学)	O36-1	PCR を用いたアルゴリズムの Clostridium difficile 関連感染 (CDI) に対する費用対効果での有用性	兵庫医科大学 感染制御部	中嶋 一彦
		O36-2	健康小児の Clostridium difficile における消化管保有の現状	三重大学大学院医学系 研究科看護学専攻	村端真由美
		O36-3	当院における Clostridium difficile 感染症の背景因子	豊後大野市民病院	小林 美枝
		O36-4	当院における Clostridium difficile 感染症対策における培養検査の意義	仙台厚生病院	佐々木周人
		O36-5	クロストリジウム・ディフィシル関連下痢症の再発を誘発する要因の検討	川崎医科大学付属病院 薬剤部	萱 智史
		O36-6	当院における Clostridium difficile 感染症 (CDI) の発生の推移と取り組み	魚沼市立小出病院 ICT	廣井 幸枝

第2日目 2月24日(土) 第4会場(国際館パミール 1F 瑞光)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
37 組織、活動-3 8:30~9:30	中澤 靖 (東京慈恵会医科大学附属病院)	O37-1	中心ライン関連血流感染サーベイランス導入への取り組み~感染管理システムを有効活用したサーベイランスを目指して~	がん・感染症センター都立駒込病院	森 亜聡
		O37-2	ICTの介入により黄色ブドウ球菌菌血症(SAB)のマネージメントの質は向上したか	旭川赤十字病院 感染管理室	堀田 裕
		O37-3	中心静脈カテーテル回診導入によるカテーテル管理状況の比較分析と今後の課題	淀川キリスト教病院 感染対策課	北里 実義
		O37-4	インフルエンザウイルス感染症集団発生事例アウトブレイク調査から得た ICT 活動課題	邦友会 小田原循環器病院	府川真理子
		O37-5	化学療法・免疫抑制療法における B 型肝炎ウイルス再活性化スクリーニングの開始	総合上飯田第一病院 ICT	板津 慶太
		O37-6	広島県各施設における AST 活動及び抗菌薬適正使用に対する取り組み状況調査~広島 ICT・AST 活動研修会のアンケート調査から~	広島市立安佐市民病院 薬剤部	植竹 宣江
38 組織、活動-4 9:40~10:40	湯原 里美 (土浦協同病院 感染管理室)	O38-1	AMR 専門検討会を通じた当院における AMR 対策の取り組み	慶應義塾大学病院 感染制御部	上糞 義典
		O38-2	適切な个人防护用具装着に向けての取り組み	広島市立安佐市民病院	森合 真治
		O38-3	中心静脈カテーテル(CVC)管理の質の向上に向けて~委員会協働の CVC 回診~	健和会大手町病院 医療安全管理部	諸永 幸子
		O38-4	救命救急センター集中治療室における多職種を含めた感染予防対策	神戸市立医療センター中央市民病院 看護部	中谷 愛
		O38-5	救急センター感染制御推進チームによる多職種へのアプローチ効果	岩手医科大学附属病院 救急科	照井 善貴
		O38-6	毎週 4 職種で行う全部署 ICT ラウンドの勧め	福山市民病院 感染対策室	三宅智津恵
39 組織、活動-5 10:50~11:40	峯 麻紀子 (重工記念長崎病院)	O39-1	当院におけるインフルエンザ流行時期の面会制限対応の工夫~職員の負担感を減らし、接遇も配慮する~	昭南病院 感染管理委員会	吉永 篤司
		O39-2	歯科大学/歯学部附属病院における院内感染対策ラウンドについての実態調査: 歯科単科大学病院の課題	九州歯科大学 外科	中島 秀彰
		O39-3	院内感染症サーベイランスにおける ICD の役割	金沢医科大学 臨床感染症学	河合 泰宏
		O39-4	NICU・GCU の MRSA 感染対策における ICT の有効な介入方法	高知医療センター ICT	山崎みどり
		O39-5	一般精神科病院における感染管理状況についての調査	四国大学看護学部	長尾多美子



第2日目 2月24日(土) 第4会場(国際館パミール 1F 瑞光)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
40 手指衛生-6 13:10~14:10	中根 香織 (昭和大学病院)	O40-1	手指消毒剤の個人携帯と使用量の公開による、手指消毒剤使用量の変化	国立病院機構 仙台西多賀病院	櫻井 幸子
		O40-2	手術室外回り看護師の手指衛生における実態調査	千葉大学医学部附属病院 看護部	谷中 麻里
		O40-3	擦式アルコール手指消毒剤使用状況と MRSA 検出率の検討	済生会広島病院 ICT	砂古志穂子
		O40-4	看護師の手指衛生に関する組織風土尺度の開発研究	日本医科大学千葉北総病院 看護部	桐明 孝光
		O40-5	HCU における手指消毒剤使用回数向上への取り組み	静岡県立総合病院 ICT	山田 愛実
		O40-6	手指衛生剤使用後の簡易効果判定の検討	松波総合病院 感染対策チーム	宮崎 崇
41 手指衛生-7 14:20~15:20	坂根 圭子 (鳥根大学医学部附属病院)	O41-1	ポータブルエックス線検査における撮影前の手指衛生遵守率向上への取り組み	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 放射線技術科	竹内 誠
		O41-2	過去の手指消毒回数と院内感染率の推移などから影響を与えた要因と今後の取り組みについて考える	佐世保中央病院	奥田 聖子
		O41-3	手指衛生自動モニタリングシステムの医療現場での活用に関する予備的研究—AMS プログラム「moniture」の使用経験—	総合病院 厚生中央病院 感染制御チーム	佐々木圭子
		O41-4	携帯用手指消毒剤導入の効果～病棟全体のアンケート結果および手指消毒剤の使用量調査から～	立川中央病院中央病院	河瀬 員子
		O41-5	直接観察法を用いた擦式消毒用アルコール製剤使用の実態調査～5つのタイミングに着目したモン～	熊本整形外科病院 看護部	山本重沙加
		O41-6	手指衛生遵守向上に向けた多角的な取り組み	金沢医科大学病院 看護部	中川 佳子
42 NICU 15:30~16:20	立花 亜紀子 (埼玉県立小児医療センター)	O42-1	NICU における MRSA 積極的監視培養導入前後の新規 MRSA 検出率について～標準予防対策経費を踏まえて～	北里大学病院 感染管理室	高城由美子
		O42-2	NICU・GCU における B 群連鎖球菌検出状況の検討	山口県済生会下関総合病院	國弘 健二
		O42-3	NICU での感染対策(第1報)—緑膿菌対策への取り組み	竹田総合病院 医療の質管理部 感染防止対策室	高橋久美子
		O42-4	NICU/GCU におけるメチシリン耐性 <i>Staphylococcus epidermidis</i> の多発発生時のリスク因子解析	愛知医科大学病院 感染制御部	高橋 知子
		O42-5	NICU における MRSA 院内伝播への介入により感染源が特定された事例	香川大学医学部附属病院 感染制御部 ICT	間嶋由美子

第2日目 2月24日(土) 第5会場(国際館パミール 1F 旭光)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
43 教育、啓発-3 13:10~14:10	松島 由実 (社会医療法人 畿内会 岡波総合 病院)	O43-1	薬剤耐性菌の感染拡大防止に向けた 職員指導と実践への取り組み	JCHO 京都鞍馬口医療 センター ICT	高谷あかね
		O43-2	院内デイクアにおける感染対策に関 する活動報告	西尾市民病院 看護部	青木美由紀
		O43-3	当院における入院中に ESBL 産生菌 を新規獲得した患者背景について	独立行政法人国立病院 機構 別府医療セン ター ICT	金内 弘志
		O43-4	血液培養採取手順書作成と教育の継 続により観られた血液培養検査の質 改善について	国立病院機構名古屋医 療センター 感染制御 対策室	鈴木奈緒子
		O43-5	小学生に対する感染症予防教育の有 効性と課題	NPO法人ひろしま感染 症ネットワーク	久保 有子
		O43-6	4年制大学看護学科での感染症予防 のための免疫学教育への一提言と キャリア形成	秀明大学 学校教師学 部	神崎 秀嗣
44 教育、啓発-4 14:20~15:10	栗原 慎太郎 (長崎大学病院 感染制御教育セン ター)	O44-1	看護基礎教育における感染看護に関 する教育方法の検討—感染性胃腸炎 を想定したシミュレーション教育の 導入に焦点をあてて—	宮崎県立看護大学	勝野絵梨奈
		O44-2	下野市における小学生、中学生に対 する感染防止対策教育の実践	上都賀総合病院 薬剤 部	野澤 彰
		O44-3	吐物処理シミュレーション研修の取 組みと効果	秋田赤十字病院 医療 安全推進室	井上 貴子
		O44-4	手指衛生指導計画に PDCA サイクル を活用した効果	社会医療法人信愛会交 野病院 看護部	亀田 郁江
		O44-5	当院における血液培養検査の普及に 向けての取り組み	JA香川県厚生連滝宮総 合病院 ICT	武下 公子
45 教育、啓発-5 15:30~16:20	萬井 美貴子 (社会医療法人三 栄会 ツカザキ病 院)	O45-1	感染対策リンクナース委員が自信を 持って指導するためのシミュレー ショントレーニング	国立病院機構東京医療 センター 医療安全管 理部	黒田 美徳
		O45-2	感染予防教育を看護補助者に5年間 継続して実施した評価	土浦協同病院 看護部	鈴木 あや
		O45-3	動画を用いた感染対策研修会の取 組み報告	岩手県立中部病院 感 染管理室	鈴木 直子
		O45-4	シミュレーションによる学習会を実 施し手指衛生遵守率の向上を目指 す—実践報告—	順天堂大学医学部附属 順天堂静岡病院	平馬 知実
		O45-5	血流感染マネジメントバンドル 2017 を活用した A 病院の血液培養検査の 実態調査	愛知医科大学病院 感 染制御部	村松 有紀



第2日目 2月24日(土) 第7会場(国際館パミール 2F 青葉)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
46 アウトブレイク-1 8:30~9:30	林 三千雄 (住友病院 感染制御部)	O46-1	MRSA アウトブレイクを経験した病棟でのベストプラクティス運用の効果	大阪市立大学医学部附属病院 看護部	野々瀬由佳
		O46-2	職員食で発生した集団食中毒事例への対応	鹿児島徳洲会病院 看護部	川畑 リカ
		O46-3	インフルエンザのアウトブレイクへの早期対応の検討~複数の病棟でのアウトブレイクを経験して~	益田地域医療センター 医師会病院 感染対策室	岩崎 良子
		O46-4	病院内におけるインフルエンザアウトブレイクの背景・要因の検討とチーム STEPPS 手法を用いた対策実施後の評価	埼玉石心会病院 感染管理室	須田江津子
		O46-5	病院職員インフルエンザアウトブレイク後のアンケート結果から見えてきた課題	緑成会 横浜総合病院 ICT	吉岡 美幸
		O46-6	病室の浴室汚染による院内発生レジオネラ肺炎の事例解析	自治医大病院 感染制御部	笹原 鉄平
47 アウトブレイク-2 9:40~10:40	徳田 浩一 (東北大学大学院医学研究科 感染制御・検査診断学分野)	O47-1	水道蛇口整流器が関与したと考えられた <i>M.paragordona</i> / <i>M.gordona</i> の pseudo-outbreak	宮崎大学医学部附属病院 感染制御部	福田 真弓
		O47-2	新棟の末端混合栓におけるレジオネラ汚染対応の一考	国立病院機構佐賀病院 感染対策室	執行エリコ
		O47-3	VRE アウトブレイクのリスク因子の検討	横浜南共済病院 感染制御室	高市 文佳
		O47-4	臨床的にアウトブレイクが疑われた <i>Clostridium perfringens</i> 関連下痢症由来株の全ゲノム解析による遺伝的関連性の検討	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター ICT	小泉 晶子
		O47-5	当院退院後に複数発症した疥癬患者の経過と対応	函館後北病院	吉田 清司
		O47-6	麻疹のアウトブレイクと保健所との関わり	公立置賜総合病院 ICT	横澤 博美
48 アウトブレイク-3 10:50~11:40	高草木 伸子 (東京臨海病院)	O48-1	NICUにおける吸吮による乳頭咬傷と母乳を介したメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)アウトブレイクの解析	国立病院機構 横浜医療センター インфекションコントロールチーム	加藤 英明
		O48-2	関西国際空港での麻疹の集団感染事例における修飾麻疹についての知見	りんくう総合医療センター 総合内科・感染症内科	倭 正也
		O48-3	内科系病棟で発生した ESBL 産生肺炎桿菌によるアウトブレイクの経験	近畿大学医学部堺病院 ICT	廣瀬 茂雄
		O48-4	長期に及んだ疥癬のアウトブレイクに対する感染対策上の対応と課題	寿泉堂総合病院	柳沼 順子
		O48-5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE) アウトブレイク発生後の環境コントロールを中心とした感染制御	公立陶生病院 感染制御部	須川真規子

第2日目 2月24日(土) 第7会場(国際館パミール 2F 青葉)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
49 アウトブレイク- 4 13:10~14:10	砂川 富正 (国立感染症研究 所 感染症疫学セ ンター)	O49-1	疥癬アウトブレイクが起きたときど うするか? 対策と予防	赤穂市民病院 皮膚科	和田 康夫
		O49-2	疥癬アウトブレイクでの ICT と多職 種協働による対策	板橋中央総合病院 看 護部	砂辺 彩
		O49-3	新生児治療回復室(GCU)における RS ウイルスアウトブレイクの経済的損 失	東京都立大塚病院 ICT	千賀 達子
		O49-4	看護必要度の高い高齢者病棟で反復 したインフルエンザアウトブレイ ク—2016/2017 シーズンの教訓—	小松市民病院 感染制 御室	米多 弘子
		O49-5	介護老人保健施設におけるノロウイ ルス感染症アウトブレイクへの対 応～隔離対策の工夫～	医療法人正和会 感染 管理・医療安全対策管 理室	佐々木久美子
		O49-6	総合周産期母子医療センターにおけ る感染対策について～ICT 主導から 部署主導の問題解決過程へ～	徳島大学病院 感染制 御部	藤原 範子
50 アウトブレイク- 5 14:20~15:10	藤田 昌久 (日本医科大学付 属病院)	O50-1	短期間に二度のインフルエンザアウ トブレイクを経験して～ピンチから 得た数々の課題～	イムス札幌消化器中央 総合病院 外来	鈴木さつき
		O50-2	認知症病棟で発生した感冒様症状の アウトブレイク	浅香山病院 感染管理 室	金崎美奈子
		O50-3	障がい者病棟における多剤耐性緑膿 菌アウトブレイクへの対応	松波総合病院 感染対 策室	文字 雅義
		O50-4	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) のアウトブレイクを経験して	公立陶生病院 感染制 御部	金子 美晴
		O50-5	当院におけるインフルエンザアウト ブレイク時の感染対策の実際	(医) 宝持会池田病院 看護部	北井 律子



第2日目 2月24日(土) 第8会場(国際館パミール 2F 松葉)

一般演題口演

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
51 環境整備-2 8:30~9:30	木下 輝美 (藤田保健衛生大学病院)	O51-1	トイレ環境清掃方法の提案と有効性の評価	名古屋学芸大学 管理栄養学部	岸本 満
		O51-2	病棟におけるノートパソコンキーボードカバーの消毒法の検討	東海大学医学部付属病院 院内感染対策室	美奈川由貴
		O51-3	一価銅化合物を用いた高性能抗ウイルス・抗菌コーティングフィルムの評価	株式会社NBCメッシュテック 研究開発本部	早田 大志
		O51-4	ESI-QAC の抗菌効果の検証	北里大学メディカルセンター 研究部	小林 憲忠
		O51-5	一類感染症病室 X 線撮影における FPD 遠隔操作システムの構築	りんくう総合医療センター 放射線技術科	飯塚 明寿
		O51-6	リアルタイム浮遊菌カウンタ BioTrak®を用いた病棟の薬液調製環境の空気清浄度評価と環境整備	九州大学病院 グローバル感染症センター	矢野 貴久
52 環境整備-3 9:40~10:40	川上 和美 (順天堂大学医療看護学部)	O52-1	集中治療室における環境整備に対する意識改善と実施率向上に向けた取り組み	筑波メディカルセンター 看護部	木村 育代
		O52-2	ISO15189 の枠組みを活用した検査室の感染対策 ICT と協働して	慶應義塾大学病院 臨床検査科	猪瀬 里夏
		O52-3	感染リンクナースが行う環境ラウンド結果のフィードバック方法の検討～環境ラウンド結果を現場の改善活動につなげるために～	(公財)東京都保健医療公社 東部地域病医院 看護部	加崎 栄子
		O52-4	リハビリテーション室清浄度調査を実施して	坂出市立病院 ICT	宮前 佳世
		O52-5	病棟カーテンの微生物学的汚染調査	獨協医科大学病院 看護部	山越 祐太
		O52-6	ドレーン排液排出時の院内感染予防に向けた取り組み～ATP 測定による汚染状況の実態調査～	久留米大学病院 看護部	古庄 香織
53 環境整備-4 10:50~11:40	水内 豊 (日本赤十字社医療事業推進本部病院支援部 医療課)	O53-1	シャワートイレの清掃と使用制限の検討	北福島医療センター ICT	渡辺あけみ
		O53-2	ICT ラウンドによる再評価は感染リンクナースによる環境ラウンドの質的改善に繋がる	東北大学病院 感染管理室	千田 貴恵
		O53-3	面会者はいつどこで手指衛生を実施するかー効果的な擦式アルコール製剤設置場所についての検討ー	魚沼基幹病院 医療安全管理室	目崎 恵
		O53-4	薬剤部内の高頻度接触部位における MRSA の環境調査と感染予防対策	宇部興産中央病院 ICT	山崎 博史
		O53-5	A 病棟の病棟浴室内における非結核性抗酸菌の検出状況	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 感染制御対策室	高詒 江美

第2日目 2月24日(土) 第8会場(国際館パミール 2F 松葉)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
54 SSI-1 13:10~14:10	毛利 靖彦 (三重県立総合医療センター)	O54-1	脊椎手術(インストゥルメンテーションなし)における予防抗菌薬投与期間の短縮を試みて	大阪鉄道病院 ICT	坂本 麗花
		O54-2	脳神経外科領域における周術期感染の現状	東邦大学医療センター大橋病院 院内感染対策室	中山 晴雄
		O54-3	ベースメカ移植術後発熱の原因が創部感染ではなかった3例	江東病院 循環器内科	高部 智哲
		O54-4	癌性イレウスに対する症状緩和手術への腹腔鏡手術の導入による SSI 発生率の減少	北海道がんセンター 感染対策室、消化器外科	前田 好章
		O54-5	消化管手術における SSI サーベイランスによる手術部位感染予防策の評価	彦根市立病院 感染対策室	多湖 ゆかり
		O54-6	SSI 防止対策を複合的に導入・遵守することによる効果の検討~消化器外科における 14 年間の SSI サーベイランス評価~	市立札幌病院 感染管理担当課	山本謙太郎
55 SSI-2 14:20~15:20	清水 潤三 (大阪労災病院 肝胆膵外科)	O55-1	手術部位感染のリスク要因の検討	岡山旭東病院	奥山 淳子
		O55-2	頭頸部外科悪性腫瘍手術患者の SSI 発生の関連因子	九州大学病院 看護部	永舘 美佳
		O55-3	呼吸器外科胸部手術の手術部位感染発生率の把握と今後の課題	国立病院機構高知病院 感染管理室	河村ひとみ
		O55-4	心臓血管外科における 7 年間の SSI サーベイランスの評価	山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部	森兼 啓太
		O55-5	結腸手術における術後感染予防抗菌薬の使用法変更による手術部位感染発生率の変化: 単施設介入前後調査	JA広島総合病院 薬剤部	小野塚和人
		O55-6	脳神経外科開頭術における SSI 発生率の低減に向けた取り組み	JCHO 星ヶ丘医療センター ICT	稲泉 信行
56 SSI-3 15:30~16:20	小林 美奈子 (三重大学大学院 医学系研究科)	O56-1	脊椎固定手術後手術部位感染に対する SSI サーベイランスの効果	がん・感染症センター都立駒込病院	渡辺 多美
		O56-2	多施設共同サーベイランスにおける虫垂手術の年代別 SSI 発生率の比較	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻	中山 奈々
		O56-3	A 病院結腸 SSI における「準高齢者」と「高齢者」での SSI 発生率の比較	国立長寿医療研究センター	藤崎浩太郎
		O56-4	肝胆膵手術における術中低体温と SSI 発生率との関係	広島大学病院 感染制御部	吉松由香里
		O56-5	閉創時の器械交換の導入(SSI 発生率の比較と、その有意差)	近畿中央病院 看護部	堤 文訓



第2日目 2月24日(土) 第13会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F クラウンルーム)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
57 ワクチン-1 8:30~9:40	徳江 豊 (群馬大学医学部 附属病院 感染制御部)	O57-1	風疹ワクチン接種1か月後から2年後における抗体と細胞性免疫の変化	川崎医科大学 小児科	寺田 喜平
		O57-2	罹患歴のない2歳以上の予定入院患者に対する水痘ワクチン2回接種義務化への取り組み	宮城県立こども病院 感染管理室	森谷 恵子
		O57-3	当院における流行性ウイルス疾患ワクチン接種状況と抗体価の陽転化率の検討	浜松医科大学医学部附属病院 感染対策室	名倉 理教
		O57-4	医学部学生における入学時ウイルス抗体価の13年間の推移	愛媛大学 医学部医学科	松本 和樹
		O57-5	当院職員の10年間における麻疹IgG抗体価の推移についての検討	浅ノ川総合病院 感染対策室	上島 雅子
		O57-6	短期外国人臨床研修員に対し麻疹・風疹・ムンプス・水痘の免疫獲得を求める国際医療研究センターの取組みと課題	国立国際医療研究センター 国際医療協力局	法月正太郎
		O57-7	当院における医療従事者の麻しん抗体価	愛知医科大学病院 感染症科	山岸 由佳
58 ワクチン-2 9:50~11:00	多屋 馨子 (国立感染症研究所)	O58-1	当院における破傷風ワクチン接種プログラムの取組み	徳島県立海部病院 看護局	藤田 洋子
		O58-2	当院におけるB型肝炎免疫獲得率とワクチン接種率向上を目指したICTによる取り組み結果と課題	兵庫県立姫路循環器病センター ICT	小林佐和枝
		O58-3	当院職員のB型肝炎ワクチン接種による免疫獲得に関する検討～異なる抗原由来のワクチンの比較～	医療法人豊田会 刈谷 豊田総合病院 ICT	佐藤麻衣子
		O58-4	当センター職員のHBVワクチン接種による抗体獲得率調査—効果的なHBVワクチン接種に向けて—	大阪はびきの医療センター	橋本 美鈴
		O58-5	当院における職員の麻疹、風疹、水痘、ムンプス抗体価について	高松市民病院 医療技術局 臨床工学科	西山 礼花
		O58-6	自施設職員の流行性ウイルス疾患(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体価保有状況と対策	美濃市立美濃病院 看護局	服部 清美
		O58-7	当院で検出された侵襲性肺炎球菌感染症について	八尾徳洲会総合病院 ICT	前野 舞

第2日目 2月24日(土) 第13会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F クラウンルーム)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
59 MRSA-1 13:10~14:10	川西 史子 (大阪医科大学附 属病院)	O59-1	健康者鼻腔に保菌される <i>Staphylococcus aureus</i> の5年間の耐性動向	嵯山女学園大学 看護学部	石原 由華
		O59-2	小児患者におけるバンコマイシン塩酸塩注(VCM)の至適投与量の検討	川崎医科大学附属病院 薬剤部	藤井 哲英
		O59-3	小児科領域におけるバンコマイシン使用例の検討~臨床医の立場から~	川崎医科大学附属病院 院内感染対策室	大石 智洋
		O59-4	病院感染対策として事務員の活動一特にリアルタイム MRSA・ESBL 保菌圧の調査効果について一	医療法人財団荻窪病院 TQM推進部	宮下 佳代
		O59-5	耳鼻咽喉科病棟における MRSA 集団発生を終息するための方策	京都府立医科大学附属病院 感染対策部	中西 雅樹
		O59-6	監視培養と遺伝子タイピングに基づく ICU における MRSA 伝播状況	鹿児島大学病院 感染制御部門	川村 英樹
60 MRSA-2 14:20~15:20	堀 賢 (順天堂大学大学 院 医学研究科 感染制御科学)	O60-1	Methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> 腸炎3例の臨床的特徴	四日市羽津医療センター ICT	町田 祐子
		O60-2	高度救命救急センターにおける MRSA 院内伝播リスク因子の検討	広島大学病院 感染制御部	森 美菜子
		O60-3	MRSA 既検出患者に対する POT 型解析の効率的な実施	宇都興産中央病院 ICT	河野 允信
		O60-4	当院における過去15年間の MRSA (特に CA-MRSA) 検出動向について	弘前市立病院 ICT	小杉 貴久
		O60-5	施設入所者の MRSA 鼻腔保菌リスクの検討	医療法人財団 荻窪病院 ICT	藤井 奨
		O60-6	感染対策強化に繋がった POT 法導入効果の検証	パナソニック健康保険組合 松下記念病院 臨床検査科	江後 京子
61 MRSA-3 15:30~16:20	丸山 貴美子 (信州大学医学部 附属病院)	O61-1	当院におけるリネゾリド(LZD)使用患者の腎機能低下患者割合と血小板減少、患者背景の調査	医療法人社団創進会 みつわ台総合病院 ICT	小池 幸全
		O61-2	耳鼻咽喉科病棟における MRSA 保菌スクリーニングと感染対策	京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室	坂口 博史
		O61-3	MRSA 院内感染対策における POT 法と薬剤感受性結果併用の有用性の検討	徳島県立中央病院 ICT	早川 貴範
		O61-4	MRSA 対策因子と MRSA 検出指標との関連性	済生会横浜市東部病院 感染管理対策室	大石 貴幸
		O61-5	産婦人科、小児科混合病棟での MRSA によるブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群(SSSS)アウトブレイクの対応とその課題	田川市立病院 看護部	植田裕美子



第2日目 2月24日(土) 第14会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F ロイヤルルーム)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
62 UTI-1 8:30~9:30	柴谷 涼子 (独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院)	O62-1	カテーテル関連尿路感染予防を目的とした感染対策チームラウンドの効果	済生会熊本病院 TQM部 感染管理室	甲斐 美里
		O62-2	尿道留置カテーテル早期抜去と尿培養検査提出率アップにむけた取り組み～排尿ケアチーム発足の効果～	公立藤田総合病院 感染対策室	渡邊 勇七
		O62-3	尿道留置カテーテル管理に関する実態調査～感染リクナース委員によるミニレクチャーの効果～	東京都立多摩総合医療センター 看護部	久木山由紀子
		O62-4	尿道留置カテーテル早期抜去を目指した「留置検討カンファレンス」の導入	旭川赤十字病院 看護部	高橋久美子
		O62-5	カテーテル関連尿路感染予防を目的とした多角的介入の成果	聖路加国際病院 10階東病棟	蛭沼 恵美
		O62-6	脳神経疾患症例における尿道カテーテル抜去の取り組み～看護師カンファレンスを導入して～	石川県立中央病院 ICT	近藤 祐子
63 UTI-2 9:40~10:40	塚田 真弓 (東邦大学医療センター大森病院 感染管理部)	O63-1	ポイント調査での尿道留置カテーテルの適正使用評価	愛知医科大学病院 ICT	加藤由紀子
		O63-2	尿道留置カテーテル管理方法の実態調査:CAUTIサーベイランス開始による管理方法と意識の変化	東京都立多摩総合医療センター 看護部看護科	鍼田 慎平
		O63-3	尿道留置カテーテル関連感染サーベイランスの活動報告	相模原協同病院 看護部	菅沼 彩
		O63-4	尿沈渣標本中に出現する顆粒状物質と尿路感染症細菌との関連について	岡山大学大学院保健学研究科	佐藤 妃映
		O63-5	尿道留置カテーテル関連尿路感染(CAUTI)サーベイランス開始による効果	熊本労災病院 ICT	境目 容子
		O63-6	膀胱留置カテーテルの材質による尿路感染症発生についてサーベイランス比較	柏葉脳神経外科病院	所 琢也
64 結核-1 13:10~14:10	本田 順一 (社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院)	O64-1	定量フィットテスターを用いたN95マスクの着用評価について	磐田市立総合病院 感染対策室	田中 恵
		O64-2	N95マスク選択のための定量的フィットテストの有用性の検討	琉球大学医学部附属病院 感染対策室	眞榮城咲子
		O64-3	結核病棟看護師が抱えるN95マスクの顔面密着性の変化によって生じる不安の軽減を目指して	彦根市立病院	谷 久弥
		O64-4	終末期患者における結核感染のリスクと接触者検診の課題	滋賀県立成人病センター 感染管理室	中川 祐介
		O64-5	結核を早期に発見するために～急性期病棟の16年間の教訓～	長野中央病院 感染対策室	轟 恒子
		O64-6	群馬大学における医学部新入生と留学生のQFT-3G陽性率	群馬大学医学部附属病院 感染制御部	大嶋 圭子

第2日目 2月24日(土) 第14会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F ロイヤルルーム)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
65 結核-2 14:20~15:20	永井 英明 (独立行政法人 国立病院機構 東京病院)	O65-1	N95 マスク装着中のズレ感の有無と漏れ率の比較	山口宇部医療センター 呼吸器内科	河行あずさ
		O65-2	演題取り下げ		
		O65-3	精神科医療施設における職員の結核感染対策	医療法人医誠会東春病院 看護部	稲垣富美子
		O65-4	結核患者の早期発見のための抗酸菌検査の導入	岡崎市民病院 感染対策室	杉浦 聖二
		O65-5	当院の結核感染対策の現状	湘南藤沢徳洲会病院 ICT	池上 朋子
		O65-6	演題取り下げ		
66 結核-3 15:30~16:20	本田 芳宏 (仙台厚生病院 院長)	O66-1	結核感染拡大防止に対する体制の確立	国立国際医療研究センター 看護部	杉木 優子
		O66-2	結核病棟の喀痰抗酸菌検査において結核菌以外の抗酸菌が検出された背景～環境に潜在する抗酸菌検出を防ぐ取り組みを通して～	国立病院機構 福岡東医療センター 感染症センター	入江真由美
		O66-3	急性期病院の高齢者肺炎における院内抗酸菌スクリーニングの有用性の検討	社会医療法人共愛会 戸畑共立病院	永田 一岐
		O66-4	当院における入院後に発覚した結核患者の実態調査	岩手県立久慈病院 感染管理室	松澤 亮
		O66-5	N95 マスクフィットテストの実践	久留米大学病院 感染制御部	稗田 文代



第2日目 2月24日(土) 第15会場(グランドプリンスホテル高輪 B1F アメジスト)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
67 医療材料 8:30~9:30	桐 則行 (市立旭川病院 医療安全管理課)	O67-1	種々の防護服素材における菌液付着性に関する検討	山梨大学 医学部	田辺 文憲
		O67-2	予防衣廃止に伴う費用削減と看護職員の意識調査	宗像水光会総合病院 医療安全管理室	梅津 敦士
		O67-3	感染防護具着用による患者体位変換時の看護師の心拍数変化と防護服表面の接触圧に関する検討	兵庫県立大学	森本美智子
		O67-4	潤滑ゼリーの開封後の使用期限に関する検討～継続的な培養検査を実施して～	北海道立子ども総合医療・療育センター 医療安全推進室	徳安 浩司
		O67-5	ATP+AMPを指標とした三種類の清拭用材料による拭き取り性能、転写および染み出し特性に関する研究	旭川医科大学病院 診療技術部 臨床工学技術部門	天内 雅人
		O67-6	演題取り下げ		
68 サーベイランス 9:40~10:40	崎浜 智子 (国際医療福祉大学大学院)	O68-1	VAE(人工呼吸器関連事象)症例のリスク因子に関する検討	愛知医科大学病院 感染制御部	坂田 美樹
		O68-2	小児集中治療室における医療器具関連感染症サーベイランス～独りよがりではない、チームでの取り組み～	兵庫県立こども病院 感染対策チーム	鳴滝 由佳
		O68-3	透析関連感染の低減を目指した取り組み	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院	神谷 雅代
		O68-4	JANISの集計方法を用いたアンチバイオグラムの運用効果	市立函館病院 感染対策チーム	佐藤多嘉之
		O68-5	透析関連感染サーベイランス10年目の報告	秋田厚生医療センター	水野 住恵
		O68-6	バンコマイシン耐性腸球菌検出既往患者の再入院時の対応検討―接触感染対策期間と検査のタイミングについて―	産業医科大学病院 感染制御部	寺本美江子

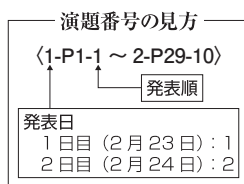
一般演題 ポスター

1日目

〈1-P1-1～1-P32-8〉

2日目

〈2-P1-1～2-P29-10〉



日程	貼付	掲示	発表・討論	撤去
2月23日(金)	9:00～10:00	10:00～17:00	13:40～/14:40～	17:00～18:00
2月24日(土)	8:00～ 9:00	9:00～15:00	13:10～/14:10～	15:00～17:00


第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
BSI-1 13:40~14:30	中村 貴枝子 (杏林大学医学部 付属病院)	1-P1-1	カンジダ血症発症時の呼吸数に関する検討	大阪医科大学附属病院 感染対策室	浮村 聡
		1-P1-2	カンジダ血症に対する AST ラウンド 介入効果と課題	八尾徳洲会総合病院 薬剤部	横山 靖法
		1-P1-3	環境汚染が原因と考えられたバチルス セレウスによる末梢静脈カテーテ ル血流感染症の一症例	北海道社会事業協会 小樽病院 ICT	横山 和之
		1-P1-4	当院における血液培養とプロカルシ トニンの関連性について	寺岡記念病院 ICT	中村 和幸
		1-P1-5	当院における CLABSI 低減への 4 年 間の取り組み	医療法人厚生会 福井 厚生病院 ICT	中島 治代
		1-P1-6	当院における <i>Bacillus cereus</i> 血流感 染の要因分析と感染対策の評価	佐世保中央病院 薬剤 部	岩村 直矢
		1-P1-7	アルコール製剤使用量の増加と知	荻窪病院	伊藤 三穂
		1-P1-8	中心静脈カテーテルドレッシング材 交換時における手指衛生のタイミン グの現状と教育の課題	稲沢市民病院 感染対 策チーム	藤田千恵美
		1-P1-9	臨床から提出された血液培養ボトル、 BacT/ALERT FA Plus・FN Plus と SA・SN における陽性検出時間の比 較検討	JR札幌病院 ICT	小池 祐史
		1-P1-10	重症敗血症治療に抗菌薬投与開始時 間早期化の推進と原因菌と予後につ いての検討	産業医科大学病院 感 染制御部	鈴木 克典
BSI-2 14:40~15:30	谷口 弘美 (医療法人財団松 圓会東葛クリニック 病院)	1-P2-1	小児領域血流感染症の診断・治療に おける問題点—血流感染マネジメン トバンドル 2017 を振り返る	東海血流感染ネット ワーク	日馬 由貴
		1-P2-2	適切な血液培養採取に向けた指標の 検討について	伊藤病院 診療技術部 臨床検査室	宮崎 直子
		1-P2-3	大腸内視鏡手術後発症した血流感染 事例への感染制御に向けた取り組み	滝川市立病院 感染制 御チーム	工藤ゆかり
		1-P2-4	中心静脈カテーテル関連感染の低減 を目指したベストプラクティスの導 入	荻窪病院 ICU	中村 久美
		1-P2-5	ニードルレスコネクター用消毒薬含 有フォーム付きキャップの有効性	江戸川病院 感染制御 部	大矢 英朗
		1-P2-6	末梢静脈カテーテル関連血流感染防 止に向けた介入	東京医科歯科大学医学 部附属病院 感染制御 部	千葉 尚子
		1-P2-7	CRBSI サーベイランスのための血液 培養の精度管理に関する取り組み	伊万里有田共立病院 内科	曲淵 裕樹
		1-P2-8	末梢静脈カテーテル感染防止に向け た活動の評価	手稲漢仁会病院	佐藤由美子
		1-P2-9	中心静脈カテーテル関連血流感染 (CLABSI) の低減に向けた介入～全 入院患者を対象としたサーベイラン ス～	順天堂大学医学部附属 順天堂医院	小松崎直美

第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
SSI-1 13:40~14:30	目次 香 (山陰労災病院 医療安全部)	1-P3-1	手術部位感染対策における手術室リ ンクナースの取り組み	北里大学メディカルセ ンター 看護部	山下真由美
		1-P3-2	SSI アセスメントシート導入による 周術期チーム医療への取り組み—手 術室看護師と病棟看護師の意識と行 動の変化—	金沢大学附属病院 看 護部	前田 祐子
		1-P3-3	消化器外科手術における術中予防抗 菌薬投与の実態調査	一宮市立市民病院 手 術室	松井久美子
		1-P3-4	大腿骨頸部骨折術後患者の術後創部 管理の検討	独立行政法人国立病院 機構宮崎病院 看護部	隅田 恵子
		1-P3-5	手術時手指衛生におけるラビング法 導入への影響要因の検討	深谷赤十字病院 看護 部	野口小百合
		1-P3-6	第3次医療機関における腹腔鏡下手 術の手術部位感染症(SSI)に対する多 面的介入前後研究	都立多摩総合医療セン ター	石井 香
		1-P3-7	消化器外科における手術部位感染 サーベイランスの取り組みについて	NHO仙台医療センター ICT	深瀬真由美
		1-P3-8	周術期抗菌薬の適正使用に向けて	国保水俣市立総合医療 センター	江口 里美
		1-P3-9	演題取り下げ		
菌科・医療材料 14:40~15:30	岡森 景子 (医療法人医誠会 本部 感染監査室)	1-P4-1	歯科口腔外科手術における手術部位 感染プロセスサーベイランスの導入 効果	北海道医療大学病院 感染制御部	村上和良子
		1-P4-2	非経口摂取の重症心身障害児(者)の 呼気臭と日常生活動作による影響	国立精神・神経医療研 究センター病院 ICT	福本 裕
		1-P4-3	歯科の切削用医療器材の除染と仕分 けの自動化に向けた導入前の業務量 調査	東北大学病院 材料部	金澤 悦子
		1-P4-4	歯科外来感染対策オーデットの検討	新潟大学医歯学総合病 院 顎顔面口腔外科	児玉 泰光
		1-P4-5	下顎埋伏智歯抜歯の抗菌薬使用状況 と SSI 発生頻度に関する検討	新潟大学医歯学総合病 院 顎顔面口腔外科学 分野	山田 瑛子
		1-P4-6	清拭タオルの管理と細菌数変化の検 証	菊川市立総合病院 ICT	増田 祐子
		1-P4-7	清拭タオルの清拭車使用から使い捨 てタオルへの移行に関する報告	特定医療法人 社団 松愛会 松田病院	木下美奈子
		1-P4-8	ディスポザール導入に向けての考察	群馬県済生会前橋病院	細渕 節子
		1-P4-9	血管内治療におけるガイドワイヤー 拭き取り後の残留タンパク量の評価	東京女子医科大学・早 稲田大学共同大学院 共同先端生命医学専 攻	松浦 由佳
		1-P4-10	エンゼルケアセットの見直しについ て	足柄上病院 感染管理 室	遠藤 泰子


第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
手指衛生-1 13:40~14:30	北川 洋子 (公益社団法人富山県看護協会 訪問看護ステーションひよどり)	1-P5-1	非アルコールベース手指消毒剤導入後の使用後評価と今後の課題	日本医科大学付属病院 感染制御室	藤田 昌久
		1-P5-2	手指衛生遵守率向上のための取り組みと今後の課題～手洗いキャンペーンを通して～	戸畑けんわ病院 看護部	富永 玲子
		1-P5-3	重症心身障害児(者)病棟における感染予防～手指衛生の意識向上に取り組んで～	国立病院機構茨城東病院 看護部	加藤 綾
		1-P5-4	手袋不適正使用に介入して	坂出市立病院 ICT	佐古 響子
		1-P5-5	効果的な手指衛生を推進するためのリンクナースの取り組み	秋田大学医学部附属病院 看護部	佐藤 葵
		1-P5-6	手指消毒剤携帯による手術室外回り看護師の手指消毒回数の変化と手指衛生に対する意識調査	川崎医科大学附属病院 看護部	世良 紳語
		1-P5-7	多職種の病棟スタッフが主体となる手指衛生向上の取り組み	東京医科大学病院 感染制御部	小松重矢子
		1-P5-8	リハビリテーション科スタッフにおける速乾性手指消毒剤の使用における現状調査	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 リハビリテーション科 ICTワーキング	日比 健一
		1-P5-9	ノンアルコール手指消毒剤の導入による手指消毒剤使用量の変化	大和高田市立病院 中央手術室	里内 正樹
手指衛生-2 14:40~15:30	井川 順子 (京都大学医学部 附属病院)	1-P6-1	組織改革が速乾性手指消毒剤の使用量に与える影響	伊万里有田共立病院 医療安全管理室	加藤 善満
		1-P6-2	手指衛生遵守率増加に向けた取り組み	医療法人藤井会 石切生喜病院 看護部 集中治療室	福岡美代子
		1-P6-3	高度救命救急センターにおける看護師の手指衛生行動に対するセルフモニタリングの効果の検討	埼玉医科大学総合医療センター 看護部	中澤 弘子
		1-P6-4	手指衛生遵守率向上への取り組みシミュレーション学習の有効性の検討	金沢医科大学病院 看護部	福原 奈美
		1-P6-5	職員対象の手荒れ外来開設とその効果について	金沢医科大学病院 医療安全部 感染制御室	野田 洋子
		1-P6-6	速乾性擦り込み式アルコール手指消毒2剤の手肌への影響の比較検討	医療法人元気会 横浜病院 内科	池谷貴美子
		1-P6-7	救急救命センターにおける手指衛生遵守率向上への取り組み～患者ゾーンの見える化と環境調整～	魚沼基幹病院 救命救急センター	勝又 尚美
		1-P6-8	手指衛生「5つのタイミング」指導後の実態調査～直接観察法を通して見えたこと～	医療法人浩然会 指宿浩然会病院 感染制御部	吉元 雅紀
		1-P6-9	アルコール性速乾性手指消毒薬の性状と量の違いによる除菌効果の違い	岩手県立大学 看護学部	井上 都之

第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
手指衛生-3 13:40~14:30	池田 しのぶ (東北大学病院)	1-P7-1	子どもに対する手指衛生の教育の検討	川崎医科大学附属病院 看護部	横山 彩美
		1-P7-2	手術室看護師の手指衛生向上に向けた取り組み	JA岐阜厚生連 久美愛厚生病院	大坪 秋代
		1-P7-3	感染リンクナースの活動が影響する、擦式アルコール手指消毒薬遵守率	医誠会病院 看護部	高鷲 智美
		1-P7-4	ICT による「手指衛生遵守率改善に向けた取り組み」の効果	あいち小児保健医療総合センター 看護部	脇 眞澄
		1-P7-5	看護学生の見学実習における手指衛生実施状況—手指消毒剤を携帯して—	国際医療福祉大学 成田看護学部	葛城 建史
		1-P7-6	ウエストポーチ・ポシェットを用いたポンプ式手指消毒剤携帯後の使用量増加への取り組みについて	JA愛知厚生連 海南病院 ICU	浅井麻梨子
		1-P7-7	手指衛生遵守率向上への取り組み 感染委員・リンクナースの活動と実践	ベルランド総合病院	藤井 仁美
		1-P7-8	当院におけるゼロからの手指衛生の取り組みの現状と課題	光仁会第一病院	遠藤さやか
		1-P7-9	高齢者アルコール依存症治療病棟看護師の手指衛生キャンペーンとその効果	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター	成田 真代
手指衛生-4 14:40~15:30	冬室 純子 (帝京大学医学部附属病院)	1-P8-1	直接観察でみえた衛生的手洗いの実際—手洗い部位別の評価—	国立病院機構栃木医療センター 看護部	丸山沙緒里
		1-P8-2	看護学生の臨地実習における手指衛生研修内容の検討第1報—臨地実習前研修から実習中の手指衛生実施状況の評価—	獨協医科大学日光医療センター	島田江津子
		1-P8-3	チーム医療における手指消毒に対する実態調査	和歌山労災病院	中口千佳子
		1-P8-4	携帯型手指消毒剤導入における手指衛生遵守率の変化と課題	新潟県立十日町病院	渡邊 翔
		1-P8-5	WHO 手指衛生ガイドラインに基づく手指衛生の質の評価への取り組み	平塚共済病院	川崎 進
		1-P8-6	手指衛生直接観察法の精度を上げるための取り組み	東京慈恵会医科大学附属柏病院 感染対策室	宮本 佳子
		1-P8-7	手指衛生向上に向けて取り組んできた結果と今後の課題	医療法人藤井会石切生喜病院 感染対策室	新井さゆり
		1-P8-8	手指衛生の遵守率向上への取り組みについて	金沢医科大学病院 看護部	中村智聖樹
		1-P8-9	「手指衛生5つのタイミング」を100%実践するとアルコール消費量はどの程度増加するのか？ 実践する事による弊害は？	大分記念病院	西田 匡世


第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
インフルエンザ-1 13:40~14:30	鈴木 奈緒子 (国立病院機構名古屋医療センター)	1-P9-1	インフルエンザ迅速検査複数回施行の実態と意義	東京労災病院	諏訪真知子
		1-P9-2	流行期前に院内で生じた A 型インフルエンザアウトブレイクへの介入	国立がん研究センター中央病院 感染制御室	佐野 智望
		1-P9-3	職員を中心としたインフルエンザのアウトブレイク対応と課題	医療法人伴帥会 愛野記念病院 ICT	岡田美佐子
		1-P9-4	亜急性期病院のインフルエンザ対策	医療法人 千寿会 道後温泉病院	砂田 真人
		1-P9-5	チェックリストとトリアージフローによるインフルエンザ対策	東京医科歯科大学医学部附属病院 感染制御部	島 眞理
		1-P9-6	職員への抗インフルエンザ薬予防投与の適正使用に向けた取り組み	川内市医師会立市民病院 ICT	平川 尚宏
		1-P9-7	インフルエンザ流行期におけるインフルエンザ曝露後予防に関する検討	国立成育医療研究センター	菅原 美絵
		1-P9-8	ハンセン病療養所 A 園にインフルエンザフェーズ別感染対策を導入して～導入前後の比較～	国立療養所菊池恵楓園	男澤千佳子
		1-P9-9	重症心身障がい児(者)施設における季節性インフルエンザ対策状況 重症心身障がい児(者)に関わる薬剤師へのアンケート調査報告	美幌療育病院 薬剤科	本間 純也
		1-P9-10	インフルエンザの院内感染対策における職員早期診断の有用性について	筑波記念病院 院内感染対策チーム	大森美恵子
インフルエンザ-2 14:40~15:30	森 美葉子 (広島大学病院)	1-P10-1	職員のインフルエンザ罹患と予防接種	草加市立病院 医療安全管理室	荒金 育美
		1-P10-2	季節性インフルエンザ流行期における面会規制の有効性	JA岐阜厚生連中濃厚生病院 感染管理対策室	和田 葵
		1-P10-3	抗インフルエンザ薬の予防投与と無効事例の検証	仙台医療センター 感染対策室	小山田厚子
		1-P10-4	職員のインフルエンザワクチン接種に対する意識調査	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院 感染防止対策室	井内 律子
		1-P10-5	当院における 3 シーズンのインフルエンザ感染症の比較	くすの木病院 ICT	荒井よし江
		1-P10-6	同居家族のインフルエンザ発症時における職員への抗インフルエンザ薬予防投与の実態とその効果	岩手医科大学附属病院 感染症対策室	及川みどり
		1-P10-7	2015/16 シーズン前後におけるインフルエンザワクチン毎年接種者の A (H1N1) pdm09 の抗体価推移について	国立病院機構栃木医療センター 臨床研究部 感染アレルギー科	山口 禎夫
		1-P10-8	入院時インフルエンザのリスクアセスメントを向上し、入院患者の飛沫感染を予防する	昭和大学病院 感染管理部門	中根 香織
		1-P10-9	2016/2017 シーズンのインフルエンザ対策の振り返り	済生会大牟田病院 ICT	中村 友美

第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
C.difficile・ノロウイルス 13:40~14:30	堀井 俊伸 (浜松医科大学 医学部 感染制御学)	1-P11-1	さいたま市におけるノロウイルス遺伝子型の推移	さいたま市健康科学研究センター 保健科学課	宇野 優香
		1-P11-2	調理従事者と厨房内環境におけるノロウイルス対策	医療法人医誠会本部 感染監査室	岡森 景子
		1-P11-3	調理従事者を対象としたノロウイルス検査法4法の比較	山梨大学病院	荻原 真二
		1-P11-4	ICT チームによる抗菌薬・消毒薬適正使用支援が C.difficile 感染症発症に及ぼす影響	公立陶生病院 感染防止対策委員会	山田 愛子
		1-P11-5	当院における Clostridium difficile の検出状況と迅速診断キットの有用性について	宮城県立がんセンター 臨床検査技術部	深澤 純二
		1-P11-6	抗菌薬投与と Clostridium difficile 感染症発症に関する検討	沖繩協同病院	與那原 希
		1-P11-7	同一病棟でアウトブレイクした Clostridium difficile 感染下痢症に対するリスク因子の検討	ベルランド総合病院 感染管理室	山田加代子
		1-P11-8	当院における Clostridium difficile 感染症の下痢症状持続期間に影響を与える各種要因の検討	済生会呉病院 感染対策チーム	河野 雄一
		1-P11-9	出芽酵母と C. glabrata に比較による病原性の検討	秀明大学	神崎 秀嗣
抗菌薬適正使用-1 14:40~15:30	渡邊 珠代 (石川県立中央病院 免疫感染症科)	1-P12-1	当院 ICT における MEPM 使用患者への介入による現状と課題	兵庫県立淡路医療センター 薬剤部	陣田 剛志
		1-P12-2	感染領域別にみたカルバペネム系抗菌薬ラウンド対象患者選出の実態調査	市立豊中病院 薬剤部	小野 祐志
		1-P12-3	化膿性脊椎炎に対する当院の抗菌薬治療の現状調査	社会医療法人将道会 総合南東北病院ICT	工藤 千尋
		1-P12-4	メロペネムの AUD 低減への取り組みと結果	マツダ(株)マツダ病院 院内感染対策チーム	滝 雪歩
		1-P12-5	術後感染予防抗菌薬の適正使用への第一歩	武蔵村山病院 薬剤科	菊地 温香
		1-P12-6	抗菌薬適正使用に向けた取組み: 抗菌薬ラウンドの実施とその効果について	武蔵野陽和会病院 薬剤科	石濱 晴美
		1-P12-7	精神科施設における抗菌薬適正使用に向けた取り組みと課題	国立病院機構肥前精神医療センター 薬剤部	中村 敦士
		1-P12-8	抗菌薬適正使用に向けた取り組み	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 薬剤室	花田 和大
		1-P12-9	大阪母子医療センターにおける抗菌薬ラウンドの効果	大阪母子医療センター ICT	浅原 章裕


第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
抗菌薬適正使用-2 13:40~14:30	丹羽 隆 (岐阜大学医学部 附属病院 薬剤部)	1-P13-1	当院における抗 MRSA 薬の使用状況について	牧田総合病院 ICT	佐藤正太郎
		1-P13-2	血液培養陽性症例に対する抗菌薬適正使用と薬剤師の取り組み	高砂市民病院 感染制御室	有本 忍
		1-P13-3	整形外科における周術期抗菌薬の適正使用への取り組み	新潟労災病院 薬剤部	中島 美治
		1-P13-4	小規模病院における抗菌薬適正使用支援 (AS) 活動	身延町早川町組合立飯富病院 ICT	山下 美穂
		1-P13-5	届出制の特定抗菌薬使用届の提出率向上に対する取り組み	国立国際医療研究センター病院 ICT	奥 沙耶佳
		1-P13-6	当院の大腸癌手術における予防抗菌薬投与期間の検討	辻仲病院柏の葉 ICT	大河内由起子
		1-P13-7	当院における抗菌薬ラウンドの現状把握と課題	三重中央医療センター ICT	松田明里紗
		1-P13-8	薬剤師主導による抗菌薬適正使用の取り組み	岡崎市民病院 感染対策室	佐藤 力哉
		1-P13-9	抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の発足に関する検討	慶應義塾大学病院感染制御部	池谷 修
抗菌薬適正使用-3 14:40~15:30	宮野 直之 (宇部西リハビリテーション病院)	1-P14-1	当院におけるカルバペネム系抗菌薬適正使用へ向けての取り組み	鹿児島生協病院	田上 昭代
		1-P14-2	当院における抗菌薬適正使用推進チーム (AST) の取り組みについて	大阪南医療センター 薬剤部	南 翔大
		1-P14-3	中小病院における TAZ/PIPC の位置付けと今後の方向性	医療法人財団神戸海星病院 薬剤部	杜多 萌
		1-P14-4	尼崎総合医療センター血液内科病棟におけるテイコプラニンの負荷投与と初回トラフ値について	尼崎総合医療センター 薬剤部	石井恵理香
		1-P14-5	当センターにおける経口第3世代セフェム系抗菌薬処方件数の推移	神奈川県立こども医療センター 薬剤科	清水 祐一
		1-P14-6	小児専門病院における小児がん患者のバンコマイシン適正投与量の検討	長野県立こども病院 薬剤部	根本 翼
		1-P14-7	抗菌薬長期使用患者に対する今後の課題	静岡徳洲会病院 薬剤部	奥村 仁志
		1-P14-8	AUD、DOT、緑膿菌感受性率を用いた AST 活動の評価	旭川赤十字病院 薬剤部	鈴木 正樹

第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
抗菌薬適正使用-4 13:40~14:30	青木 泰子 (国立病院機構東京医療センター)	1-P15-1	眼脂に対するケアの現状調査～療養病床を有する病院及び介護老人福祉施設での抗菌点眼薬使用と顔面清拭に関する質問紙調査～	千葉大学大学院 看護学研究科 看護病態学	小川 俊子
		1-P15-2	がん患者における ESBL 産生菌感染症に対する抗菌薬の使用状況	埼玉県立がんセンター 薬剤部	渡邊なお子
		1-P15-3	TAZ/PIPC 届出制導入が使用状況と感受性率に及ぼす効果について	JA愛知厚生連 海南病院 感染対策チーム	高橋 弘泰
		1-P15-4	当院外来における経口抗菌薬の使用実態調査と適正使用に向けた今後の課題	岡山大学病院 薬剤部	東恩納 司
		1-P15-5	抗 MRSA 薬の TDM 業務の標準化に向けた取組み	岡崎市民病院 薬局	村井 宏通
		1-P15-6	当院における周術期抗菌薬の使用状況調査	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター ICT	永井 徹
		1-P15-7	カルバペネム投与前の血液培養採取状況から推察する当院の感染症診療の現状と課題	東京医科大学八王子医療センター ICT	小林 勇仁
		1-P15-8	経口抗菌薬適正使用推進のための当院における使用状況調査	東京医科歯科大学医学部附属病院 薬剤部	相曾 啓史
		1-P15-9	経口セファロスポリン系抗菌薬適正使用対策の評価	公立昭和病院 感染管理部	一ノ瀬直樹
消毒・洗浄・滅菌 14:40~15:30	梶浦 工 (吉田製薬株式会社)	1-P16-1	抗微生物加工不織布使用における汚物室環境対策の検証	福井県済生会病院 感染対策室	細田 清美
		1-P16-2	薬剤師主導による消毒薬使用の適正化へ向けた取り組み	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 薬剤部	勝 綾香
		1-P16-3	プロジェクト R～ベッドパンウォッシャーの洗浄評価ははじめました～	洛和会丸太町病院 看護部	井上 通人
		1-P16-4	新規消毒薬オラネキシジングルコン酸塩液で血液培養のコンタミネーションは減少するか	江東病院 救急科	山本 敬洋
		1-P16-5	各種消毒薬含浸ワイプによるディフィシル菌芽胞の除去効果の検討	北里大学医学部 微生物学	林 俊治
		1-P16-6	内視鏡フレキシブルカメラの手洗い洗浄方法の評価	国立病院機構 東近江総合医療センター	西久保鉄也
		1-P16-7	歯科の切削用医療器材の除染に対する洗浄液の試作と効果	東北大学病院 材料部	棚橋 正子
		1-P16-8	院内洗濯工程の見直しとその効果	東北大学病院 感染管理室	池田しのぶ
		1-P16-9	次亜塩素酸系消毒薬の芽胞に対する殺菌効果	東京医療保健大学大学院 医療保健学研究所	岩澤 篤郎


第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
MRSA等の細菌感染 13:40~14:30	眞榮城 咲子 (琉球大学医学部 附属病院)	1-P17-1	2DCM-web を用いた MRSA タイピングの院内感染対策への応用	独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院 中央検査部	小竹美智子
		1-P17-2	環境材料に付着した MRSA の生存期間の定量的検討	日本赤十字豊田看護大学	東野 督子
		1-P17-3	入院時 MRSA スクリーニング検査条件の検討	東京北医療センター 感染対策室	前多 香
		1-P17-4	NICU 業務手順の最適化への介入～MRSA のアウトブレイクを経験して～	神戸大学医学部附属病院 感染制御部	出田 理恵
		1-P17-5	演題取り下げ		
		1-P17-6	末梢アミノ酸含有輸液製剤使用中の <i>Bacillus</i> 菌による血流感染の調査報告～輸液製剤の容量との関連性～	荻窪病院 中央検査科	田中 深平
		1-P17-7	温水洗浄便座汚染が原因と考えられたカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染事例と対策	千葉大学医学部附属病院 感染制御部	藤原満里子
		1-P17-8	室内犬から菌血症を発症した1症例	JA北海道厚生連 網走厚生病院 ICT	志賀 誠
針刺し切創・体液曝露 14:40~15:30	田口 正博 (新宿・愛生歯科 医院)	1-P18-1	就職前 B 型肝炎ウイルスに対する免疫獲得状態の把握とワクチン接種への取り組み	神戸大学医学部附属病院 感染制御部	時松 一成
		1-P18-2	針刺し切創・体液曝露防止の取り組み～ラウンドの効果について～	国立病院機構北海道医療センター 感染対策室	松永 正美
		1-P18-3	着用率向上に向けたニトリル製グローブの導入	那珂川病院 ICT	水野 直美
		1-P18-4	当院手術室における針刺し切創・血液体液曝露事例低減への取り組み	大原綜合病院 感染制御チーム	茨木 直子
		1-P18-5	特定機能病院手術室での縫合針による針刺し発生要因の検討	鹿児島大学病院 手術部	永野 孝哲
		1-P18-6	針刺し切創血液・体液曝露予防に向けた針刺し切創血液・体液曝露を繰り返す職員への対策について	順天堂大学練馬病院 安全衛生管理室	李澤 康雄
		1-P18-7	血液体液曝露後対応の体制見直しについて	JA長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院	吉澤 真樹

第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
結核 13:40~14:30	松本 優子 (独立行政法人国立病院機構 東京病院)	1-P19-1	医療従事者の気管支結核における接触者健康診断の報告	日本赤十字社和歌山医療センター	稲崎 妙子
		1-P19-2	来日外国人の結核性頸部リンパ節炎の2例	大分県済生会日田病院 ICT	上田 里沙
		1-P19-3	結核感染が否定できない患者の手術対応指針の作成	JA愛知厚生連 海南病院	藤本佐希子
		1-P19-4	当院における抗酸菌検出状況と感染対策	社会医療法人 長門莫記念会 長門記念病院	加納 恵子
		1-P19-5	抗酸菌検査法の変更による当院の検出状況	済生会新潟第二病院 感染制御チーム	土田 純也
		1-P19-6	病棟で発生した肺結核に対する接触者検診を行って	大田市立病院 ICT	牧野 貴之
		1-P19-7	抗酸菌を見落とさないための細菌検査室で実施する取り組み	静岡徳洲会病院	望月 美孝
		1-P19-8	医療者の結核発病における感染対策と考察	イムス富士見総合病院 感染対策チーム	富沢 京子
標準予防策、経路別予防策-1 14:40~15:30	折田 美千代 (鹿児島大学病院 医療環境安全部 感染制御部門)	1-P20-1	介護老人保健施設における標準予防策の遵守に向けた感染対策の取り組み	医療法人医誠会 エスベラル東淀川 看護部	大武 由絵
		1-P20-2	慢性期病床における経管栄養とオムツ交換時の CRE 感染予防策の徹底	千里中央病院	中水 麻里
		1-P20-3	擦式アルコール消毒剤使用量増加のための取り組み～社会的比較過程理論に基づいて～	医療法人 大分記念病院	西崎 理恵
		1-P20-4	助産師の標準予防策一血液暴露を経験し、分娩介助時に着目しての実態調査—	康心会汐見台病院 看護部	福森 方子
		1-P20-5	感染対策マニュアル改訂内容の効果的周知方法についての検討	国立病院機構北海道医療センター 看護部	光安 亜紀
		1-P20-6	病棟における安全な経口栄養剤管理のためのリンクナースの取り組み	順天堂大学医学部附属 練馬病院 消化器内科	西田真知子
		1-P20-7	標準予防策遵守の取り組み～使用量調査結果とタイミング評価の解離より明確になった課題～	東京都立神経病院 看護科	伊藤 敬子
		1-P20-8	サージカルマスク着用と患者の感じる笑顔の関係「マスクをはずして笑顔を見せようキャンペーン Season2」	健和会大手町病院	山口 征啓


第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
標準予防策、経路別予防策-2 13:40~14:30	新井 まゆ子 (神戸市立西神戸医療センター 看護部)	1-P21-1	ATP+AMP ふき取り検査を用いた歯科外来における間接接触感染ハイリスク領域の抽出	東京歯科大学 社会歯科学講座	田代 宗嗣
		1-P21-2	A 病院リハビリテーション科スタッフにおけるユニフォームの汚染状況	八尾徳洲会総合病院 リハビリテーション科	中村 竜大
		1-P21-3	N95 マスクフィットテストからの考察～新たなマスクを導入して～	独立行政法人国立病院機構旭川医療センター	木元 史子
		1-P21-4	感染対策実施評価を MIC 一致例から考える	王子総合病院 感染制御室	小林 稔
		1-P21-5	医療用手袋を介したグラム陰性桿菌の環境への伝播に関する実験的検討	文京学院大学 臨床検査学科	兵藤 広佳
		1-P21-6	民間型高齢者介護施設における感染症対策の現状と課題	ベルズスタイル ケア・ファシリティーズ マネージメント室	佐藤 久美
		1-P21-7	急性期脳卒中患者のアシネトバクター・バウマニ感染のリスク因子解析	順天堂大学医学部附属浦安病院 脳神経外科	鈴木 隆元
		1-P21-8	演題取り下げ		
		1-P21-9	A 介護施設で起きたアウトブレイクから入院受け入れを経験して～当院の対策を振り返る	足柄上病院 感染管理室	佐々木由香
組織、活動-1 14:40~15:30	中谷 佳子 (川崎市立多摩病院)	1-P22-1	感染担当看護師と皮膚・排泄ケア認定看護師が協働した排尿ケアチームの設立とその取り組み	東京大学医学研究所附属病院	小野谷厚子
		1-P22-2	感染対策スタッフの主体的活動に向けた取り組み	NTT東日本札幌病院 感染管理推進室	金子 陽香
		1-P22-3	術前スクリーニング検査陽性者のフォローアップ率向上への取り組み	坂出市立病院 ICT	藤田美津子
		1-P22-4	中小規模病院での ICT 発足による細菌検査室の院内感染防止対策への関わりの変化と効果	益田地域医療センター 医師会病院 臨床検査科	吉松 千尋
		1-P22-5	当院における血液培養 2 セット採取への取り組み	市立柏原病院 ICT チーム	澤田 美穂
		1-P22-6	血液培養採取推進のための介入後の評価	大阪回生病院 ICT	松丸万理子
		1-P22-7	インフルエンザマニュアルの策定～多職種から成るプロジェクトチームを立ち上げて～	東京都立北療育医療センター	清水 和美
		1-P22-8	薬剤耐性菌新規検出率の年次推移からみた ICT 活動の成果と今後の課題	沖縄赤十字病院 感染対策室	與那覇美奈子
		1-P22-9	細菌培養結果を基にした ICT による病棟ラウンドの効果	JR仙台病院 薬剤部	小岩 正二

第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
組織、活動-2 13:40～14:30	根本 恵子 (東京ベイ・浦安市川医療センター 感染対策室)	1-P23-1	感染対策におけるリハビリテーションスタッフとの協働	いずみの病院 感染管理者	森田 安世
		1-P23-2	MRSA 対策の活動報告と今後の課題	医療法人伴帥会 愛野記念病院 ICT	大久保康彦
		1-P23-3	感染制御チームの取り組みと展望～ラウンドとサーベイランスからみた入院環境～	倉敷平成病院 看護部	細田 尚美
		1-P23-4	血液培養採取時の消毒におけるクロルヘキシジンの有効性の検討	札幌東徳洲会病院	崎山 広大
		1-P23-5	多数の医療・介護施設を有する法人グループにおける感染管理活動の取り組み～多職種リンクスタッフの育成を通して～	医療法人正和会 感染管理・医療安全対策管理室	佐々木久美子
		1-P23-6	ICT における看護補助者の活用と評価	社会医療法人仙養会 北摂総合病院 感染防止対策室	馬場 恵美
		1-P23-7	感染予防策、感染症治療における医師意識調査アンケート結果について	大崎市民病院 感染管理部	井草龍太郎
		1-P23-8	多剤耐性グラム陰性菌感染制御のためのポジションペーパー(第1版)を参考にした多剤耐性緑膿菌の感染予防対策の取り組み	東京都立大塚病院ICT	佐藤香理奈
		1-P23-9	受講率100%を達成した院内感染対策研修会の企画・運営～過去3年間の感染制御チームの取り組みと年間手指消毒平均回数の推移～	日本郵政(株)福岡通信病院 医療安全管理室	林 麻美子
		1-P23-10	重症心身障害児(者)施設における機械浴槽への塩素消毒剤投入方法の検討	東京都立府中療育センター ICT	猪狩まさ子


第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
教育、啓発-1 14:40~15:30	藤木 くに子 (北里大学東病院)	1-P24-1	看護補助者の意識を変えた感染リンク看護補助者会の発足	鹿児島県立大島病院 医療安全管理室	佐藤ひろみ
		1-P24-2	感染管理活動スタッフを育成するためのプログラム～感染対策活動の底上げを目指して～	済生会兵庫東病院 感染管理室	小川麻由美
		1-P24-3	効果的な汚物処理演習をめざして	厚生連高岡病院	作田 治代
		1-P24-4	現場で実践できる ICP の育成—感染管理リンクナース制度導入と活動を振り返って—	あま市民病院 手術室	中野 美香
		1-P24-5	トイレにおける清掃作業標準化のための取り組み	株式会社リジョイスカンパニー	黒岡 肇
		1-P24-6	新人看護師への感染防止の集合教育について—シミュレーション形式に変更した取り組み—	川崎医科大学附属病院	豊島 智美
		1-P24-7	当院放射線科における環境清掃用クロスを用いた清掃意識の向上を目標とした取り組み	八尾徳洲会総合病院 放射線科 ICT	川口 薫
		1-P24-8	全職員が感染対策を理解する為の試み—見る、聞く、書くの3感を取り入れた参加型の感染対策研修を実施してみても—	愛誠会昭南病院ICT	平 澄亮
		1-P24-9	清掃業者に対する感染対策研修の中で見てきたもの	寺岡記念病院 ICT	小野田美紀

第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
教育、啓発-2 13:40~14:30	雨宮 みち (総合高津中央病院)	1-P25-1	若手病院薬剤師を対象とした抗菌化学療法研究会(大阪 ABC)による抗菌薬適正使用の取り組み	山本第三病院 薬剤部	行本 拓史
		1-P25-2	医療療養病棟での気管吸引の適正化による下気道感染リスク低減への取り組み～吸引手技の現状把握から手技の統一へ～	おもろまちメディカルセンター 看護部	山城 美幸
		1-P25-3	ベストプラクティス(以下 BP)を活用した手指衛生教育の評価～図式化した手指衛生5つのタイミングテストを用いて～	大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部	岡田 恵代
		1-P25-4	基礎看護技術論の感染予防演習に導入した職業感染防止ビデオ視聴の効果	天使大学 看護学科	前田 朝子
		1-P25-5	病棟職員を対象とした標準予防策教育実施による MRSA 検出率の変化	横浜新緑総合病院 感染対策室	西澤 教正
		1-P25-6	感染制御に強い薬剤師の育成に向けた取り組み	国立国際医療研究センター病院 薬剤部	畠山 成寛
		1-P25-7	ラビング法による手術時手洗いの導入に向けた啓発活動	広島市民病院 看護部	宮本 良
		1-P25-8	標準予防策を見直そう～手指消毒剤携帯率100%をめざして～	大阪南医療センター 感染対策室	峰岸 三恵
		1-P25-9	看護補助者の意識向上と感染対策教育の体制整備に向けた取り組み	医療法人 協和会 協立病院	小川 順子
		1-P25-10	手指衛生に関する集合教育を活用した、リンクナースの主体的活動の支援方法についての検討	東京慈恵会医科大学附属第三病院 感染制御室	齊藤 麻里


第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
アウトブレイク-1 14:40~15:30	室井 洋子 (福井大学医学部 附属病院)	1-P26-1	当院で発生した VRE アウトブレイクの調査と対応	関西電力病院 感染管理室	眞継 賢一
		1-P26-2	当院における VRE アウトブレイクと保菌調査検査体制について	横浜南共済病院	西田 祐子
		1-P26-3	アウトブレイク再発防止に向けた取り組み~2 回の VRE アウトブレイクを経験して~	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院	森本 麗華
		1-P26-4	アウトブレイク発生時における感染管理部門のマネジメント~6 日間で終息したインフルエンザアウトブレイク事例~	公立福生病院 ICT	小美濃光太郎
		1-P26-5	NICU における MSSA アウトブレイクの関連因子および改善策の検討	市立豊中病院 感染対策室	赤瀬 望
		1-P26-6	多剤耐性菌アウトブレイクを経験して—中規模病院での対応—	社会医療法人社団医善会 いずみ記念病院 ICT	武田 晴美
		1-P26-7	成人麻痺患者の受入対応から今後の課題について	済生会新潟第二病院 感染制御チーム	真柄 陽子
		1-P26-8	当院で発生した多剤耐性緑膿菌のアウトブレイクへの対応と今後の課題	東京曳舟病院 看護部	木下 庸佑
		1-P26-9	インフルエンザアウトブレイクに対する定点調査の活用—2016/2017 シーズンの教訓—	小松市民病院 感染制御室	新木 京子
アウトブレイク-2 13:40~14:30	高田 徹 (福岡大学)	1-P27-1	インフルエンザ院内感染時の手指衛生の重要性についての後方視的解析	福井大学 医学部 呼吸器科	重見 博子
		1-P27-2	107 名に及ぶ発症者を認めた学生間インフルエンザアウトブレイク	富山大学附属病院 感染症科	川筋 仁史
		1-P27-3	消化器内科病棟の <i>Clostridium difficile</i> 関連下痢症(CDAD)のアウトブレイクを経験して	独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター ICT	新開 美香
		1-P27-4	2 病棟におけるインフルエンザアウトブレイクの検討	青森市民病院 感染管理室	川口 理恵
		1-P27-5	アウトブレイクを繰り返さないために—管理者から変える—	中通総合病院 感染制御部	齊藤由美子
		1-P27-6	インフルエンザアウトブレイク対応の振り返りと今後の課題	新潟厚生連三条総合病院	小柳 浩子
		1-P27-7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE) アウトブレイクを経験して~病棟看護師の取り組み~	公立陶生病院 看護局	佐野 洋志
		1-P27-8	急性期病棟で発生した通常疥癬の感染対策	静岡徳洲会病院 感染対策室	杉浦 操
		1-P27-9	高齢者施設におけるインフルエンザ対策の検討	社会医療法人信愛会 暇生脳神経外科病院	密井由美子

第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
アウトブレイク 3 14:40~15:30	鳴美 英智 (社会医療法人愛 仁会 高槻病院 感染対策室)	1-P28-1	当院における疥癬のアウトブレイク事例	社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院 感染対策室	清水 真介
		1-P28-2	疥癬アウトブレイク時の皮膚所見と予後―「怪しい所見を呈する患者」は疥癬を発症するリスクが高いのか?	つばさ在宅クリニック	牧上久仁子
		1-P28-3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)の感染対策を振り返る	国立がん研究センター中央病院 感染制御室	久々湊由佳子
		1-P28-4	疥癬のアウトブレイク対応の評価と今後の課題	細木病院 院内感染対策室	土居 世知
		1-P28-5	耐性緑膿菌アウトブレイクを経験して	諏訪赤十字病院 感染管理室	藤森 洋子
		1-P28-6	角化型疥癬アウトブレイクへの対応	日本赤十字社 那須赤十字病院	仲澤 恵
		1-P28-7	介護療養病棟で発生したRSウイルスアウトブレイクの検証から学んだこと	草津総合病院 感染対策チーム	中村 こずえ
		1-P28-8	慢性期病棟における多剤耐性緑膿菌アウトブレイクでの細菌検査室の対応	松波総合病院 院内感染対策チーム	宮崎 崇
		1-P28-9	インフルエンザアウトブレイク対応	雲南市立病院 看護部	茂富 良太
ウイルス感染 13:40~14:30	高山 陽子 (北里大学医学部 附属新世紀医療開発センター 横断的医療領域開発部門 感染制御学)	1-P29-1	保育園における水痘ワクチン接種後水痘の流行	JCHO 札幌北辰病院 感染管理部	宮崎佳奈子
		1-P29-2	産婦人科病棟における医療従事者のムンプス発症時の対応と今後の課題	三田市民病院	若狭征一郎
		1-P29-3	麻疹患者の診療体制の整備と課題	金沢医科大学病院 医療安全部 感染制御室	坂本 麻衣
		1-P29-4	当院および関連施設で経験したダニ媒介感染症に対する診断と対策	済生会大牟田病院	田尻 守拡
		1-P29-5	新生児医療センターで発生したRSウイルスによるアウトブレイクを経験して	豊橋市民病院	伊藤賀代子
		1-P29-6	抗がん剤治療中に成人水痘を発症した一例と迅速な感染対策、職員教育の必要性	済生会横浜市東部病院 感染管理対策室	永井 恵子
		1-P29-7	流行性ウイルス感染症における抗体価検査・陰性者へのワクチン接種の必要性	総合病院 庄原赤十字病院	山根 啓幸
		1-P29-8	退院後に発覚した麻疹感染終息までの検証～地域での麻疹集団感染における1例への対応～	松阪市民病院 ICT	森下まどか
		1-P29-9	当院における過去に判明した肝炎ウイルス結果陽性患者に対する取り組み	高知医療センター 感染対策センター	福井 康雄
		1-P29-10	当院における「化学療法・免疫療法時のB型肝炎スクリーニング検査」アラートシステムの構築～第1報～	函館五稜郭病院 感染情報管理室	山本亜希子


第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
NICU 14:40~15:30	鳴滝 由佳 (兵庫県立こども病院)	1-P30-1	当院 NICU における MRSA 対策への介入と MRSA 保菌患者数の推移について	新潟市民病院	大石 昌典
		1-P30-2	新生児医療における同胞面会と院内発症のウイルス感染症の関連	東京都立小児総合医療センター 感染症科	堀越 裕歩
		1-P30-3	当院 NICU における MSSA 発生状況報告	慶應義塾大学病院 看護部	本島 果織
		1-P30-4	新生児病棟における CLABSI 対策強化～取り組み前後の感染率の比較検討～	長野県立こども病院 新生児病棟	大和久沙織
		1-P30-5	NICU における MRSA 水平伝播の低減にむけた取り組み～患者区域の明確化と手指衛生が必要な5つの瞬間プラス1を実施して～	高知医療センター NICU	山本 晃子
		1-P30-6	NICU 看護師に対するおむつ交換手順に関する個別指導の効果	富山大学附属病院 周産母子センターNICU	松浦 美里
		1-P30-7	新生児集中ケア認定看護師との協働による MRSA 感染防止対策の検討	大垣市民病院 医療安全管理部 感染対策室	田中 広司
		1-P30-8	新生児病棟で取り組んだ感染対策の教育とオムツ交換の手順の見直しについて	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 周産期センター新生児部門	福本 志帆
		1-P30-9	新生児先天性横隔膜ヘルニア手術における手術部位感染防止のための周手術期ケアの実態調査	国立看護大学校	山林美有紀
		1-P30-10	当院の新生児病棟入院患者から検出されたグラム陰性桿菌に関する検討	神奈川県立こども医療センター 検査科	山口 直紀
地域連携-1 13:40~14:30	嶋 雅範 (三菱京都病院)	1-P31-1	丹波医療圏域における耐性菌対策の現状	丹波医療圏域における耐性菌対策の現状	西崎 朗
		1-P31-2	KAWASAKI 地域感染制御協議会における地域感染対策への取り組み～薬剤師部会活動報告～	日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部・感染制御部	野口 周作
		1-P31-3	感染防止対策加算1施設の感染管理認定看護師が加算2施設に対して行う感染対策支援の効果と課題	国立病院機構茨城東病院 医療安全管理室 感染対策チーム	佐藤 利香
		1-P31-4	保健所と感染管理認定看護師共同による地域の感染対策の推進	埼玉県済生会栗橋病院	小美野 勝
		1-P31-5	インフルエンザ持込入院からの感染拡大を防ぐ～流行期間中における連携施設間との報告・連絡体制の整備～	南館五稜郭病院	山根のぞみ
		1-P31-6	感染防止対策加算2算定施設との連携～耐性菌の分離状況～	群馬県済生会前橋病院 ICT	高瀬麻由美
		1-P31-7	泉州感染防止ネットワークの取り組み(手指衛生直接観察法を継続的に行うために)	地方独立行政法人りんくう総合医療センター 院内感染対策室	山内 真澄
		1-P31-8	川崎市の地域連携における多施設 JANIS 還元情報分析の試み—第2報—	KAWASAKI地域感染制御協議会	竹村 弘



第1日目 2月23日(金) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
地域連携-2 14:40~15:30	吉原 みき子 (埼玉医科大学病院)	1-P32-1	院内感染管理スペシャリスト育成のための合同研修会の成果分析	JCHO四日市羽津医療センター 薬剤科	野田 晋司
		1-P32-2	感染対策週間イベントの取り組み～保育園での手指衛生における啓発活動を通して～	社会医療法人敬和会大分岡病院 感染対策室	大嶋久美子
		1-P32-3	香川県 A 地区におけるアウトブレイク時の感染対策の現状と課題	三豊総合病院 感染対策室	兵 明子
		1-P32-4	高齢者入所施設・小規模病院に対する感染予防教育の取り組み～3年間における、感染予防教育後の評価と課題～	土浦協同病院 看護部	湯原 里美
		1-P32-5	搬送患者から carbapenem 耐性腸内細菌科細菌が検出されたことを契機に地域連携へと繋げた事例	名古屋掖済会病院 感染対策室	二神 諒子
		1-P32-6	地域包括ケアに向けて感染管理認定看護師にできること～行政・連携病院と共に～	厚生連高岡病院	澤野 博美
		1-P32-7	市内の小学校を対象にした手洗い講習会の評価	高砂市民病院	中島 博美
		1-P32-8	地域で取り組む感染対策～地域カンファレンスは参加医療施設に貢献しているか～	原町赤十字病院	富沢 陽子


第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
BSI-3 13:10~14:00	谷村 久美 (株式会社国際ビル産業)	2-P1-1	ベストプラクティスを活用した医療関連感染症の低減	札幌東徳洲会病院 感染制御チーム	石塚 孝子
		2-P1-2	皮膚ケア改善による中心ライン関連血流感染 (CLABSI) 低減の効果	地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター	今崎 美香
		2-P1-3	当院における血液培養検体の採取方法変更に伴う汚染率の変化	NTT東日本伊豆病院 感染制御室	石井 浩崇
		2-P1-4	中心静脈カテーテル関連血流感染低減に向けた取り組み	金沢医科大学病院 看護部	谷村 友絵
		2-P1-5	末梢静脈カテーテル感染予防に向けた取り組み	金沢医科大学病院 看護部	山本 卓
		2-P1-6	血液培養検査時の皮膚消毒をボビドンヨードから1%クロルヘキシジングルコン酸アルコールへの変更が汚染率に与える影響	名古屋市立東部医療センター ICT	森田 康之
		2-P1-7	中心静脈カテーテル管理アンケートを実施しての現状と課題	国立病院機構 広島西医療センター	林谷 記子
		2-P1-8	電子カルテ DWH 機能を活用したサーベイランスの試み	旭川赤十字病院 感染管理室	市川ゆかり
		2-P1-9	血液培養の結果と比較したプロカリスシトニンの有用性評価	社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院	長嶺 結菜
BSI-4 14:10~15:00	森 浩子 (公立大学法人福島県立医科大学附属病院)	2-P2-1	当院における血液培養より MRSA および MSSA が分離された症例の比較検討	東北医科薬科大学病院 細菌検査室	及川 望
		2-P2-2	マキシマルバリアアプリケーション遵守率が中心ライン関連血流感染率に及ぼす影響の検討	国立病院機構三重中央医療センター ICT	近澤 香織
		2-P2-3	末梢静脈輸液カテーテル挿入時のシャワーカバーの必要性～シャワーヘッドの細菌汚染状況の調査～	市立旭川病院	桐 則行
		2-P2-4	当院における腸球菌による菌血症の予後と抗菌薬適正使用活動についての検討	石川県立中央病院 免疫感染症科	渡邊 珠代
		2-P2-5	当院血液内科病棟における中心ライン関連血流感染サーベイランス報告	宮崎県立延岡病院 感染管理科	中武 和利
		2-P2-6	末梢静脈カテーテル留置期間を変更して	坂出市立病院 ICT	遠山三友紀
		2-P2-7	当院における血液培養から検出された <i>Bacillus</i> species についての実態調査	市立豊中病院 臨床検査部	下脇千恵子
		2-P2-8	A 病院における末梢静脈カテーテル関連血流感染の現状分析と対策の検討	香川労災病院 ICT	長尾 博美
		2-P2-9	中心静脈カテーテル感染血流感染症と医療費	函館五稜郭病院 臨床検査科	目黒 英二

第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
手指衛生-5 13:10~14:00	黒木 利恵 (独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター 感染制御室)	2-P3-1	IVR センターに従事する放射線技師の手指衛生に関する現状調査	大阪市立大学医学部附属病院 ICU	今中 美咲
		2-P3-2	尿道カテーテル留置ベストプラクティスを使用した手術室看護師の手指衛生遵守率向上への取り組み	愛知医科大学病院	徳田 浩一
		2-P3-3	速乾性手指消毒剤の個人携帯後の使用量の変化について	新小倉病院	長谷川啓子
		2-P3-4	フィッシュ活動を活用した手指衛生推進の取り組み	市立豊中病院 看護部	高岡真衣子
		2-P3-5	手指衛生改善活動～指導的役割を果たす看護師へのアプローチ～	昭和大学江東豊洲病院	高久 美穂
		2-P3-6	適切なタイミングでの手指衛生の実施を目指した取り組み	仙台厚生病院ICT(感染対策チーム)	及川真奈美
		2-P3-7	手指衛生のタイミングにおける実施率の向上と使用量増加に向けた取り組み	久留米大学医療センター 看護部リンクナース会	仲 和恵
		2-P3-8	手指衛生チームの活動～アドヒアランスの向上を目指して～	刈谷豊田総合病院 薬剤部	佐野 理央
		2-P3-9	手指衛生向上に向けた取り組み	鹿児島厚生連病院ICT	秋山 久美
手指衛生-6 14:10~15:00	林 麻美子 (福岡通信病院)	2-P4-1	擦式手指消毒剤の個人携帯導入による効果	社会医療法人敬和会 大分岡病院	中村抄保子
		2-P4-2	手指衛生に対する意識調査から見えてきたこと	福井循環器病院 感染防止対策室	磯部真理子
		2-P4-3	長期入院病棟における手指衛生アドヒアランスの現状とその向上のためのプログラム構築	イムス札幌内科リハビリテーション病院 薬剤部	大久保利成
		2-P4-4	陰部洗浄時の看護師の手指衛生のタイミングと手指衛生設備環境	聖マリア学院大学看護学部	秦 朝子
		2-P4-5	療法師の手荒れ問題に対する個別介入の試み	白浜はまゆう病院	坂本 健一
		2-P4-6	看護部感染対策委員会メンバーの教育—2年間の手指衛生直接観察を振り返って—	社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 感染制御管理室	大嵩 昌子
		2-P4-7	手指衛生向上に向けての取り組み～自主的・継続的な手指衛生チェックとフィードバック～	住友病院 看護部	寅貝 麻美
		2-P4-8	当院における手指衛生遵守率 直接観察法による場面別・職種間での比較検討	青森市民病院 感染管理室	塚田 晴彦


第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
手指衛生-7 13:10~14:00	井畑 理沙 (医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院)	2-P5-1	病棟における手指衛生の阻害要因～ 手指衛生遵守率向上に向けて～	東近江総合医療セン ター 看護部	東木場 裕
		2-P5-2	手指衛生の実施状況と院内感染指標 について	金田病院	水島 孝明
		2-P5-3	イエローカードを用いた介入が手指 衛生遵守率に及ぼす効果の検証	慶應義塾大学病院 感 染制御部	河西 貴子
		2-P5-4	蛍光ローションを使用した手指衛生 遵守率向上のための取り組み	富山大学附属病院 看 護部	中川 泰雅
		2-P5-5	ICT による速乾式手指消毒剤の使用 促進への取り組み～個人携帯とその 効果～	赤穂市民病院 薬剤部	上田 文音
		2-P5-6	リンクナースによる手指衛生遵守率 向上に向けた取り組み	国立研究開発法人 国 立がん研究センター 中央病院 看護部	久下 直哉
		2-P5-7	手指衛生強化週間としての新たな取 組みの成果	国立病院機構 松江医 療センター 感染リン クナース会	戸谷 美穂
		2-P5-8	血液浄化センターでの手指衛生遵守 率向上の取り組み	JCHO下関医療センター 感染対策室	坪根 淑恵
抗菌薬適正使用- 5 14:10~15:00	畠山 修司 (自治医科大学附 属病院)	2-P6-1	Tazobactam/Piperacillin 適正使用に 向けた取り組み	長崎みなとメディカル センター 看護部	森 英恵
		2-P6-2	リネゾリド使用量低下によるリネゾ リド耐性グラム陽性球菌の新規検出 減少と経済的効果	広島赤十字・原爆病院 薬剤部	岡富 大輔
		2-P6-3	アンチバイオグラムを利用した抗菌 薬適正使用への取り組みと評価	医療法人育和会 育和 会記念病院 医療安全 管理室	佐々木富子
		2-P6-4	ナショナルデータベースサンプリン グデータセットを用いた外来抗菌薬 使用状況の疫学調査	千葉大学医学部附属病 院 感染制御部	山岸 一貴
		2-P6-5	再発し皮膚ノカルジア症を併発した 肺ノカルジア症の一例(第二報)～病 棟担当薬剤師が治療へ参画する意 義～	山形市立病院済生館 薬局	西村孝一郎
		2-P6-6	当院における抗菌薬適正使用支援 チームの取り組み	大館市立総合病院 ICT	本館 諭
		2-P6-7	当院の抗菌薬の使用状況とその推移	大浜第一病院 薬剤科	宜保 潤
		2-P6-8	「抗菌薬管理システム」導入による薬 務改善と指定抗菌薬の使用状況の変 化【第2報】	ときわ会 常磐病院 薬剤部	佐藤 邦宣

第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
抗菌薬適正使用-6 13:10~14:00	西 圭史 (杏林大学医学部 付属病院 医療安全 管理部 感染対策 室)	2-P7-1	当院におけるキノロン系薬の使用状況と大腸菌耐性率の関連性	東邦大学医療センター 大森病院 感染管理部	平山 忍
		2-P7-2	SBT/ABPC 投与量と肝機能検査値の関連について	弘前脳卒中・リハビリ テーションセンター 薬剤室	倉内 寿孝
		2-P7-3	血液培養結果を基にした抗菌薬ラウンド導入における抗菌薬適正使用	KKR高松病院 ICT	東原 将宏
		2-P7-4	薬剤耐性(AMR)対策アクションプランの指標からみた当院での抗菌薬適正使用の現状	鹿児島厚生連病院 薬 剤科	池増 鮎美
		2-P7-5	当院における基質特異性拡張型βラクタマーゼ産生菌感染症の現状と感染管理の問題点	北海道社会事業協会余 市病院 感染対策チー ム	森 博威
		2-P7-6	バンコマイシン TDM 全例実施への取り組みと結果	稲沢市民病院 薬剤部	坂井 直子
		2-P7-7	大腸菌のフルオロキノロン耐性化はフルオロキノロン系抗菌薬の処方量削減で改善するのか	山本第三病院 薬剤部	行本 拓史
		2-P7-8	2014年、2015年 ICT 活動と各診療科における広域抗菌薬投与回数と使用量の変化	日生病院 看護部	大野 典子
教育、啓発-3 14:10~15:00	小西 直子 (日本看護協会看 護研修学校)	2-P8-1	ビルメンテナンス会社における清掃従事者への感染管理教育	株式会社国際ビル産業 美装部	谷村 久美
		2-P8-2	Infection Control Staff(ICS)育成の教育プログラムの検討	JA北海道厚生連遠軽厚 生病院 感染対策室	原 理加
		2-P8-3	A 病院におけるダニ媒介感染症対策の取り組み	三原赤十字病院 院内 感染対策チーム	中村 明世
		2-P8-4	包括的口腔ケアのマニュアル遵守のための再教育とその評価	湘南厚木病院 看護部	小島 直美
		2-P8-5	特定感染症患者対応に関わる訓練の実際	成田赤十字病院 看護 部	佐藤 涼子
		2-P8-6	全職員対象 N95 マスク定量フィットテスト結果からの検討 [第二報]	日本医科大学多摩永山 病院 感染制御部	山本 愛
		2-P8-7	院内感染対策研修への複数回参加促進の取り組み	大阪赤十字病院 感染 管理室 ICT	西 好美
		2-P8-8	感染症看護クリニカルラダー作成の効果	東京都立墨東病院 看 護部	岡村 慶子
		2-P8-9	グラム染色教育プログラムによる診療看護師と臨床検査技師の連携	JCHO東京城東病院 感 染対策室	米澤 仁


第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
教育、啓発-4 13:10~14:00	廣瀬 紀子 (長野県看護大学 発達看護学講座)	2-P9-1	感染管理認定看護師のコンピテンシー・モデルの開発—組織における影響力と説得力の変化—	順天堂大学医療看護学部	川上 和美
		2-P9-2	感染管理分野の看護実践能力向上研修における教育効果の検討	一般財団法人甲南会 六甲アイランド甲南病院 感染防止対策室	窪田 順江
		2-P9-3	看護助手に対する感染対策教育を考える～看護助手主導で行う感染対策教育の定着に向けた取り組み～	仙台厚生病院ICT(感染対策チーム)	阿部真有子
		2-P9-4	中心静脈カテーテルルート交換時のベストプラクティス遵守率向上への取り組み	岐阜大学医学部附属病院 血液・消化器内科 病棟	山下 壽里
		2-P9-5	麻しん対応可能職員を増やすための取り組み～自費で行う抗体検査・ワクチン接種～	若草第一病院 医療安全部	吉野 敦子
		2-P9-6	リンクナースが現場で指導できる成長を目指して—シミュレーション研修運営の試み—	諏訪赤十字病院 感染管理室	井川 正樹
		2-P9-7	手指衛生遵守率向上へ向けた関わり	旭川赤十字病院 ICT	宮崎 寛康
		2-P9-8	血液培養複数セット採取率向上の取り組みとその効果	松江市立病院 感染対策室	伊藤 憲一
		2-P9-9	看護師の感染予防行動定着に向けた取り組み	国立病院機構西埼玉中央病院	武田 由美

第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
ワクチン 14:10~15:00	時松 一成 (神戸大学医学部 附属病院 感染制御部)	2-P10-1	2016-17年シーズンのインフルエンザ(flu)ワクチン接種時エラーに関する調査	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社	戸丸 猛
		2-P10-2	委託職員を対象としたB型肝炎ウイルス抗体獲得に向けた取り組み	NTT東日本札幌病院 感染管理推進室	萩野 貴志
		2-P10-3	職業感染対策としてのワクチンプログラムの取り組みと課題	西宮市立中央病院	高橋三千代
		2-P10-4	「医療関係者のためのワクチンガイドライン第2版」の導入にむけた当院の取り組み	伊万里有田共立病院 医療安全管理室	加藤 善満
		2-P10-5	演題取り下げ		
		2-P10-6	当院職員に対する流行性ウイルス疾患およびHBVの職業感染防止に向けた取り組み	NTT東日本伊豆病院 感染制御室	黒田 則幸
		2-P10-7	当院におけるHBワクチン接種率向上に向けた取り組み	東邦大学医療センター 大森病院 感染管理部	佐藤 恵美
		2-P10-8	職員のHB抗体(事務職員を除く)・4種ウイルス疾患(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)の抗体保有状況とワクチン接種率向上の取り組み	荻窪病院 健康管理センター	岩野さちえ
		2-P10-9	当院におけるワクチンプログラムの確立～職員の就業制限を経験して～	公立豊岡病院組合立豊岡病院 ICT	吉盛奈津美
		2-P10-10	長崎大学病院での院外実習生・研修生・医療支援者を受け入れる際のワクチン接種に関する取り組みと課題	長崎大学病院 感染制御教育センター	河野 圭


第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
組織、活動-3 13:10~14:00	佐藤 香理奈 (東京都立大塚病院 看護部 看護科)	2-P11-1	当院における ICT ラウンドの評価と課題	金沢医科大学病院 看護部	日向千恵子
		2-P11-2	リンクナースの部署内での感染防止対策活動～月目標を掲示して取り組んだ実践報告～	やわたメディカルセンター 看護部	根上 剛
		2-P11-3	感染防止加算2施設における看護師週1回専従化の試み	医療法人回生会 大西病院 感染制御部	松澤 敏江
		2-P11-4	職員の結核をはじめとする感染者を早期に把握するための取り組み	りんくう総合医療センター院内感染対策室	深川 敬子
		2-P11-5	ICT 活動活性化に向けての第一歩～院内巡回(ラウンド)の開始～	社会医療法人長門莫記念会長門記念病院 看護部	村西 正美
		2-P11-6	感染対策担当者会議の活性化に向けた取り組み	JA長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院	宮野 美幸
		2-P11-7	清掃担当部門との ICT ラウンドによる院内環境改善の取り組み	和歌山県立医科大学附属病院 感染制御部	小谷 智美
		2-P11-8	「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン(四訂版)」の遵守状況からみた透析室の感染管理上の課題	能美市立病院 透析センター	太田 律子
		2-P11-9	新型インフルエンザ対応フローを活用した麻疹疑い患者対応	株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 TQM統括室 安全管理センター	根本 広子
アウトブレイク-4 14:10~15:00	青山 恵美 (大雄会総合大雄会病院)	2-P12-1	病院併設老人保健施設でのインフルエンザアウトブレイクの経験と課題	済生会今治病院	西村小百合
		2-P12-2	Clostridium difficile 感染症アウトブレイクの原因分析と感染対策	みなと医療生活協同組合協立総合病院 看護部	眞孫 昌宏
		2-P12-3	皮膚障害のある職員への介入を中心とした MRSA アウトブレイクの対応	豊橋医療センター ICT	塩澤佳須子
		2-P12-4	混合病棟における長期化した MRSA 検出患者のアウトブレイクへの ICT 介入	福井大学病院 感染制御部	室井 洋子
		2-P12-5	外科病棟における ESBL 産生菌のアウトブレイクに対する取り組み	東京都保健医療公社 豊島病院 ICT	富本 聡子
		2-P12-6	盛夏のインフルエンザアウトブレイク事例から	隠岐広域連合立隠岐病院 看護部	村上 聡
		2-P12-7	整形外科病棟 CRE アウトブレイクへの対応	日本赤十字医療センター 感染管理室	大久保佳代
		2-P12-8	アウトブレイクと考えられた <i>Pseudomonas putida</i> による末梢カテーテル関連血流感染症の2症例	大津赤十字病院 院内感染予防対策室	前田 朋美
		2-P12-9	当院外科病棟における MRSA 感染の遺伝子学的解析と介入(その1)	東濃厚生病院 感染症科	柴田 尚宏

第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
アウトブレイク-5 13:10~14:00	莊子 久美子 (東京警察病院 ICT)	2-P13-1	インフルエンザ流行時の面会禁止期間の対策~特別面会許可証の導入の有効性と課題	医療法人浩然会 指宿浩然会病院	肥後 裕子
		2-P13-2	当院外科病棟における MRSA アウトブレイクへの介入 2	東濃厚生病院 ICT	山元 美穂
		2-P13-3	角化型疥癬患者を発端とした疥癬アウトブレイクへの対応	朝日大学歯学部附属村上記念病院 感染対策部	尾崎 明人
		2-P13-4	当院における CRE 検出の経緯と対策の効果	国際医療福祉大学熱海病院	牧野 陽子
		2-P13-5	インフルエンザアウトブレイクを経験して精神科デイケア参加者の居場所を守るための対策	社会医療法人平和会吉田病院 看護部長室	高木 匡代
		2-P13-6	近隣小学校で起こった感染性胃腸炎のアウトブレイクに対する地方病院での対応経験	北海道社会事業協会小樽病院 ICT	横山 和之
		2-P13-7	ノロウイルスアウトブレイクを経験したその後の評価	神戸ほくと病院 感染対策室	逸見 栄子
		2-P13-8	A 病棟におけるインフルエンザアウトブレイクリスク因子の検討	高槻赤十字病院	松下めぐみ
		2-P13-9	慢性期病院のインフルエンザ積極的予防によるアウトブレイク対策の効果	千里中央病院	重内美砂子
環境整備-1 14:10~15:00	池崎 陽子 (船橋市立医療センター)	2-P14-1	ATP 測定による退院清掃の清浄度調査	愛知医科大学病院 ICT	稲垣 拓磨
		2-P14-2	ICU 排水口に生息する緑膿菌の除菌について	一宮西病院 感染対策室	長瀬 仁
		2-P14-3	ATP + ADP + AMP 拭き取り検査(A 3 法)を用いた高頻度接触面における消毒薬を用いない環境清拭の評価	信州大学医学部附属病院 感染制御室	丸山貴美子
		2-P14-4	ATP 値測定と環境培養検査を用いた病棟内環境の清浄度評価	琉球大学医学部附属病院 検査・輸血部	新垣 桃子
		2-P14-5	長期間における検査室扉内側ドアノブ 1 日あたりの ATP、ADP、AMP 付着量の解析	大阪回生病院 中央検査部	竹花眞純美
		2-P14-6	ATP 測定法を用いた保護室・拘束帯の環境表面調査	公益財団法人積善会日向台病院 看護部	菅原 俊一
		2-P14-7	電子カルテ端末及びカート清掃サーベイランスの実施状況報告	沖縄県立中部病院 看護部	嘉数 伸二
		2-P14-8	清掃委託業者への指導と除菌洗浄剤の変更にによる日常清掃の効果	県立安芸津病院 看護部	吉田 美香
		2-P14-9	清掃用クロスと清掃方法の見直しが耐性菌検出に与える影響	伊勢赤十字病院 感染管理室	石原 舞
		2-P14-10	不特定多数が触る箇所の環境培養	市立三笠総合病院 感染対策室	中島由美子


第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
環境整備-2 13:10~14:00	中野 聖子 (東京女子医科大学東医療センター 感染制御部)	2-P15-1	環境清拭クロス含浸薬剤である塩化ベンザルコニウムの殺菌効果	東京医療保健大学院	片岡 盛将
		2-P15-2	中央材料部への環境ラウンド導入の評価	愛知医科大学病院 ICT	加藤 俊二
		2-P15-3	ポリエステル素材の液晶クリーニン グクロスとイソプロピルアルコール 含有不織布を用いた清掃による医療 用 PHS の減菌効果の比較	富山大学附属病院 手 術部	竹口 将志
		2-P15-4	デイサービスにおける浴室脱衣所の 手すりの汚染対策～抗菌テープの効 果～	園田学園女子大学 人 間健康学部 人間看護 学科	山本 恭子
		2-P15-5	当院における環境整備と手指衛生へ の取り組み	甲府城南病院 循環器 内科	三品 秀人
		2-P15-6	環境表面での各種消毒剤の殺菌持続 性に関する検討	香川大学 医学部 分 子微生物学	桑原 知巳
		2-P15-7	環境クロス変更による環境改善と CDI 患者減少に対する効果	新潟県厚生連 新潟医 療センター ICT	桑原 正祐
		2-P15-8	医療環境用清拭シートの清拭性能比 較	高知高須病院 臨床工 学部	山本 隼也
		2-P15-9	医療施設等の環境清拭清浄化におい て繁用される消毒薬の持続活性に関 する検討	東京医療保健大学大学 院	早川千亜紀
		2-P15-10	精神科病院におけるベルオキソ一硫 酸水素カリウム配合除菌・洗浄剤 (RST) を用いた環境整備法の検討	広島国際大学	糠信 憲明

第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
薬剤耐性菌-1 14:10~15:00	中嶋 一彦 (兵庫医科大学 感染制御部)	2-P16-1	バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)制 圧に向けた手指衛生向上への取り組 み	横須賀市立うわまち病 院 感染制御室	松本ひろみ
		2-P16-2	当院におけるカルバペネム耐性腸内 細菌科細菌(CRE)の検出状況と感染 対策	横浜市立大学附属病院 感染制御部	鈴木 智代
		2-P16-3	ESBL 産生菌の分離状況および薬剤 感受性の検討	博慈会記念総合病院 臨床検査科	野澤 洋祐
		2-P16-4	当院におけるカルバペネム耐性腸内 細菌科細菌の分子疫学的解析による 検証結果と今後の取り組み	高知医療センター ICT	平井 裕加
		2-P16-5	metallo- β -lactamase 産生腸内細菌科 細菌における ESBLs 遺伝子の保有状 況と薬剤感受性との関連について	川崎医科大学附属病院 中央検査部	田村 昌代
		2-P16-6	帰国直前に入院歴のある患者から高 度多剤耐性菌(NDM-1・OXA-48)が 分離された症例	川崎医科大学総合医療 センター ICT	松田 真哉
		2-P16-7	オストミー用トイレを介した MDRP (多剤耐性緑膿菌) の院内伝播の原因 分析と対策について	順天堂大学医学部附属 順天堂医院 医療安全 推進部 感染対策室	田中 恵美
		2-P16-8	地域アンチバイオグラム事業で収集 した ESBL 産生菌の特徴	茨城県立医療大・医学 学	桜井 直美
		2-P16-9	IMP 型と GES 型の二つのカルバペネ マーゼ遺伝子を保有する <i>Klebsiella pneumoniae</i> の 1 例	NHO四国こどもととお なの医療センター	西村 恵子
薬剤耐性菌-2 13:10~14:00	鈴木 克典 (産業医科大学病 院)	2-P17-1	薬剤耐性(AMR)対策アクションプラ ンに対する医療関係者の関心と課題	東京労災病院 ICT	坂本 拓也
		2-P17-2	一般病院における MRSA および E. coli ESBL 産生菌分離率の推移	KKR札幌医療センター 病理診断科 細菌検査	小泉 潤
		2-P17-3	当院療養介護病棟における薬剤耐性 アシネトバクター感染対策	西別府病院 看護部	梶川 優
		2-P17-4	当院で帰国海外駐在員より分離した カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細 菌(CPE)	尾道市立市民病院 ICT	森 三郎
		2-P17-5	感染症法対象疾患・血流感染・ MRSA・CD・ESBL の院内持込・院 内発生の動向～院内感染症発生届よ り後方視的～	荻窪病院 感染管理室	奥 由美
		2-P17-6	Tolerance to antiseptics among <i>Staphylococcus epidermidis</i> isolates	東京医科歯科大学大学 院 保健衛生学研究科	Ayibieke Alafate
		2-P17-7	外来型カルバペネマーゼ産生菌の検 出と院内伝搬予防	帝京大学 医学部	西田 智
		2-P17-8	IMP-6 型カルバペネマーゼ産生腸内 細菌科細菌(CPE)の菌種別薬剤感受 性の検討	大阪医療センター 薬 剤部	中蔵伊知郎


第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
微生物検査-1 14:10~15:00	山本 剛 (神戸市立西神戸医療センター)	2-P18-1	当院で分離されメタロ-β-ラクタマーゼ産生確認試験の反応性に違いが見られた <i>Morganell morganii</i> について	国立三重病院 検査科	山本健太郎
		2-P18-2	血液培養検査適正実施に関する取り組みと効果について	大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部	中家 清隆
		2-P18-3	休日での血液培養陽性報告による感染症診療への影響と効果	箕面市立病院 中央検査部	澤田 加奈
		2-P18-4	MALDI-TOF-MSによる血液培養陽性ボトル直接同定法の比較検討	東京北医療センター臨床検査室	磯西美由紀
		2-P18-5	便培養における ESBL スクリーニング培地の有用性について	JA北海道厚生連 帯広厚生病院 臨床検査技術科	齋藤 峻平
		2-P18-6	当院における血液培養採取基準を導入した成果	八尾徳洲会総合病院	萩原 美香
		2-P18-7	時間外における血液培養陽性時の対応構築について	医療法人豊田会刈谷豊田総合病院	藏前 仁
		2-P18-8	薬剤師から医師への処方提案および疑義照会が血液培養に与える影響について	山本第三病院 薬剤部	池田 桂子
		2-P18-9	当院における抗菌薬感受性の推移	久留米大学医療センター	升永 憲治
微生物検査-2 13:10~14:00	春木 宏介 (獨協医科大学)	2-P19-1	当院におけるカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌の検出に適したスクリーニング指標薬剤の検討	安城更生病院 臨床検査技術科	桂川 陽平
		2-P19-2	VITEK MS Plus を使用した基質拡張型 β-ラクタマーゼ産生 <i>Escherichia coli</i> の迅速検出における検討	東京医療保健大学大学院	池ヶ谷佳寿子
		2-P19-3	VRE の環境培養実施における増菌培養の有用性	川崎医科大学総合医療センター ICT	矢島 尚子
		2-P19-4	A 病院における7年間の臍帯血培養について	鹿児島市立病院 臨床検査技術科	原口 政臣
		2-P19-5	早期検出により院内感染対策に寄与した百日咳の一事例	市立敦賀病院 感染制御センター	川端 直樹
		2-P19-6	BD グルカン検査の院内導入が診療に及ぼす影響～抗真菌剤の使用状況から	新潟大学医歯学総合病院	茂呂 寛
		2-P19-7	生物粒子測定器による従属栄養細菌の検出性能評価	一般財団法人 北里環境科学センター 微生物部	水谷 英秋
		2-P19-8	食中毒発症者糞便より分離した <i>Campylobacter jejuni</i> のگران・パレー症候群関連遺伝子保有状況	さいたま市健康科学研究センター	加藤 直樹
		2-P19-9	細菌検査室を持たない急性期病院で院内グラム染色を開始して	社会医療法人共愛会戸畑共立病院	永田 一岐

第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
サーベイランス 14:10~15:00	内海 桃絵 (大阪大学 医学部 保健学科)	2-P20-1	高知県西部地区(幡多地区)における抗菌薬耐性サーベイランスの取り組み	高知県立幡多けんみん病院 ICT	西村 さやか
		2-P20-2	転院者を対象とした持込み耐性菌の実態調査	藤枝市立総合病院	榎田 和美
		2-P20-3	抗菌薬長期投与患者における VRE スクリーニングの評価	JCHO九州病院 薬剤部	阿部 名月
		2-P20-4	当院における5年間の新生児を含めた小児感染症の検討	つるぎ町立半田病院	中園 雅彦
		2-P20-5	当院で分離された大腸菌のレボフロキサシン耐性率の推移と今後の課題	公立昭和病院 ICT	神保 明子
		2-P20-6	ICTと日当直看護師長が連携して行う症候群サーベイランスの成果	鳥取市立病院 医療安全対策室	中谷 知子
		2-P20-7	膀胱留置カテーテル適応のアセスメントシート導入によるCAUTI予防の取り組み	徳島県立中央病院	長町 律子
		2-P20-8	当院における蓄尿・尿道カテーテル使用率の推移について	長崎大学病院 感染制御教育センター	志岐 直美
		2-P20-9	データマイニング疫学解析による感染制御—当院の感染対策効果と更なる改善点の解析と取組み—	医療法人弘仁会 南和病院	中谷 光良
		2-P20-10	監視菌サーベイランスの評価—A 集中治療室部門で経験したカルバペネム耐性緑膿菌アウトブレイクから—	大阪警察病院 感染管理センター	寺地つね子
病院建築設備 13:10~14:00	遠藤 史郎 (国際医療福祉大学 塩谷病院)	2-P21-1	病院移転前後における耐性菌検出率の変化について	下越病院 検査課	石井 里子
		2-P21-2	病院環境への長期定着が原因となったレジオネラ事例と環境 Best Practice の提案	東京医科大学病院 感染制御部	中村 造
		2-P21-3	病院の解体工事におけるアスペルギルス対策とエアサンプラーを用いた監視培養の結果報告	市立恵那病院 感染対策室	安藤 徳子
		2-P21-4	感染管理リスクアセスメント(ICRA)に準拠した清潔エリアの病院改修	国立がん研究センター東病院 感染制御室	橋本 麻子
		2-P21-5	病棟改修工事に対する ICT の介入について—浮遊粒子数と浮遊真菌からの考察—	徳島市民病院 ICT	金丸 昌史
		2-P21-6	病院改修工事におけるアスペルギルスおよびレジオネラ菌のモニタリング	国際親善総合病院 感染防止対策室	田中 梨恵
		2-P21-7	自動尿量測定装置の使用中止に向けての現状と課題	滋賀医科大学医学部附属病院 感染制御部	竹村 美和
		2-P21-8	外国の施設に学ぶ感染予防対策等に配慮したサービス付高齢者向け住宅のありかた	(有) 由良薬局	由良 温宣


第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
医療機器 14:10~15:00	高橋 陽一 (社会医療法人 生会 府中病院)	2-P22-1	産婦人科の洗浄ユニットの微生物汚染の実態と対策	下関医療センター 薬剤科	岡本 朋子
		2-P22-2	待機人工呼吸器の回路交換の定期交換は必要か中規模病院での人工呼吸器の使用状況からみた適正な交換頻度を検討する	名古屋共立病院 臨床工学課	中野 薫
		2-P22-3	ポータブル撮影装置の日常清掃の見直しについて	新城市民病院 感染対策委員会	阿部 陽介
		2-P22-4	包交車のあり方の検討	日本赤十字社 長崎原爆病院 感染制御室	金澤美弥子
		2-P22-5	内視鏡室における高水準消毒薬の適正使用	日本赤十字社医療センター	西川美由紀
		2-P22-6	軟性内視鏡洗浄の清浄度検査について	山口大学医学部附属病院 検査部	敷地 恭子
		2-P22-7	当院における軟性消化器内視鏡の清浄度実態調査への取り組み	JCHO 札幌北辰病院 感染管理部	高木 静江
		2-P22-8	オゾンガス殺菌保管庫を用いた泌尿器科軟性内視鏡の管理	自治医科大学附属さいたま医療センター 感染制御室	水上由美子
		2-P22-9	自動尿量測定・蓄尿器の使用実態、使用背景の検討から使用廃止を拒む要因について	大阪医科大学附属病院 感染対策室	川西 史子
SSI-2 13:10~14:00	小美野 勝 (埼玉県済生会栗橋病院 院内感染防止対策担当)	2-P23-1	消化器外科手術部位感染低減に向けた活動	国保旭中央病院 看護局	廣井 友樹
		2-P23-2	SSI サーベイランスデータのフィードバックによる埋没縫合実施率と表層 SSI の検討	高砂市民病院 感染制御室	福田 純子
		2-P23-3	SSI サーベイランスシートの記載による実態調査—記載不備の原因調査と取組—	福山市民病院 看護部	池上 裕子
		2-P23-4	手術部位感染サーベイランスの電子化に伴う業務の効率化	大浜第一病院 感染管理対策室	伊藤まゆみ
		2-P23-5	現場主導型の業務改善に有効な SSI サーベイランスの考察—サーベイランスグループ編成を試みて—	福井県立病院 感染制御チーム	白崎 智恵
		2-P23-6	手術部位消毒薬変更への取り組み—多施設調査からのアプローチ—	川内市医師会立市民病院 ICT	長倉 周作
		2-P23-7	消化器外科手術における SSI サーベイランスの実施と予防策改善への取り組み	市立敦賀病院 感染制御センター	田中 恵実
		2-P23-8	骨軟部腫瘍科における手術部位感染後ろ向き調査から見えた特徴	国立がん研究センター中央病院	石田 康子
		2-P23-9	結腸手術手技の SSI 低減に向けた取り組み	JCHO京都鞍馬口医療センター 感染対策室	高谷あかね

第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題 番号	演題名	所属	演者
地域連携-3 14:10~15:00	一戸 真由美 (国立病院機構北海道がんセンター 感染対策室)	2-P24-1	地域アンチバイオグラムの経年変化とその傾向について	茨城県立医療大学 医学科学センター	桜井 直美
		2-P24-2	有明地区感染管理ネットワークの4年間の活動と今後の課題	荒尾市民病院 看護部	船原 初美
		2-P24-3	福井県における感染制御ネットワーク活動(第8報)~院内感染の発生率減少に向けた地域全体の取り組み~	福井総合病院	橋元 千鶴
		2-P24-4	ESBL産生菌検出者症例の患者背景	荻窪病院 中央検査科	上野 将臣
		2-P24-5	播磨科学公園都市圏域定住自立圏構想における感染対策連携事業の構築	たつの市民病院 医療安全対策課	久保田真弓
		2-P24-6	群馬県伊勢崎地域における感染管理活動	美原記念病院	三ツ倉裕子
		2-P24-7	感染管理認定看護師が実施した高齢者施設:インフルエンザアウトブレイクの減少に向けた取り組み	公立穴栗総合病院 感染管理対策部	城内 美紀
		2-P24-8	在宅医療・介護における感染管理の現状と課題	日本調剤 薬剤本部	鈴木 高弘
地域連携-4 13:10~14:00	残間 由美子 (坂総合病院)	2-P25-1	群馬県内の感染防止対策地域連携加算における相互評価の動向	公立藤岡総合病院	北林 礼士
		2-P25-2	感染防止対策加算算定が広島県内CNICに及ぼす影響	広島ICNの会	新田由美子
		2-P25-3	北海道後志地区における経口キノロン系抗菌薬使用量とEscherichia coliのlevofloxacin耐性率に関する調査	余市協会病院	伊藤 好樹
		2-P25-4	熊本県における職業感染対策の現状~熊本県感染管理ネットワークのアンケート調査結果より~	熊本大学医学部附属病院 感染制御部	藤本 陽子
		2-P25-5	広島ICNの会における地域連携の現状と課題	広島ICNの会	田中 千苗
		2-P25-6	感染防止対策地域連携におけるサーベイランス結果	藤田保健衛生大学病院	梶川 智弘
		2-P25-7	感染対策地域連携会を通しての感染制御システムの再構築	小澤病院診療部薬局	鈴木 寧
		2-P25-8	A病院が地域の中核病院として果たすべき役割	公立羽咋病院 感染制御室	北 信代


第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
プロセス管理-1 14:10~15:00	境 美代子 (富山福祉短期大学)	2-P26-1	臨床検査部門における問題点—血流感染ネットワーク血流感染マネジメントバンドル 2017 を振り返る—	東海血流感染ネットワーク	犬塚 和久
		2-P26-2	ベストプラクティスにおけるプロセスサーベイランスについて	仙台厚生病院ICT(感染対策チーム)	佐藤 成美
		2-P26-3	感染経路別予防策のバンドルを作成し実施状況を可視化する—対策実施状況の経過報告—	順天堂大学医学部附属静岡病院	長富美恵子
		2-P26-4	感染管理ベストプラクティスの実践と評価—尿器と便器の洗浄・消毒編—	兵庫県立リハビリテーション中央病院 ICT	池田 靖弘
		2-P26-5	当院でのカンジダ血症における AC-TIONs Bundle2014 を用いた調査	福井赤十字病院 感染管理室	寺本 敏清
		2-P26-6	看護部門・ICT 部門における課題—血流感染ネットワーク血流感染マネジメントバンドル 2017 を振り返る—	東海血流感染ネットワーク	松島 由実
プロセス管理-2 13:10~14:00	千葉 礼子 (済生会川口総合病院)	2-P27-1	血液培養検体提出数アップへの取り組み—夜間の検体提出について—	医療法人純正会 名古屋市立緑市民病院	帯金 里美
		2-P27-2	皮膚消毒手順改定による血液培養のコンタミネーション率低下への取り組み	相澤病院 薬剤センター	上條 泰弘
		2-P27-3	兼任の感染管理認定看護師が効果的なサーベイランスを実施するための取り組み	独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター看護部	重松 孝誠
		2-P27-4	透析室におけるリンクナースの感染対策活動—バンドルの継続をめざして—	土浦協同病院 看護部	川本 祥子
		2-P27-5	ベストプラクティスを取り入れて	愛媛県立今治病院 看護部	小池 知美
		2-P27-6	ベストプラクティスを活用した輸液更新の標準化	箕面市立病院 3階南病棟	三坂 明美

第2日目 2月24日(土) ポスター会場(グランドプリンスホテル新高輪 B1F さくら)

セッション	座長(所属)	演題番号	演題名	所属	演者
その他-1 14:10~15:00	有瀬 和美 (高知大学医学部 附属病院 感染管理 部)	2-P28-1	人工呼吸器関連感染症にかかる医療費に関する検討	社会福祉法人 三井記念病院	中村 ゆかり
		2-P28-2	VAP ケアバンドル導入前後での VAP・VAE 感染率の変化と今後の課題	高知赤十字病院	成瀬 美佐
		2-P28-3	当院における人工呼吸器関連肺炎(VAP)対策の実態調査と今後の課題	小郡第一総合病院	藤部 純子
		2-P28-4	VAE サーベイランスの現状と課題	聖路加国際病院 救命救急センター	橋内 伸介
		2-P28-5	手術室における医療廃棄物分別方法の変更と結果	海老名総合病院	鈴木佐智子
		2-P28-6	感染性廃棄物分別の適正化による廃棄費用削減のための取り組み	北晨会 恵み野病院 看護部	宮本 愛子
		2-P28-7	九州北部豪雨災害における重急性期の避難所での災害支援ナース活動を経験して	国家公務員組合連合会 新小倉病院	石原 佳子
		2-P28-8	熊本地震災害派遣における ICT 活動実践報告	自衛隊福岡病院 看護部	中島 里恵
		2-P28-9	ライフライン機能停止を想定した食中毒菌検査方法(黄色ブドウ球菌)の検討	さいたま市健康科学研究センター	曾根 美紀
その他-2 13:10~14:00	笠原 敬 (奈良県立医科大学)	2-P29-1	特定行為研修修了から現場での課題を考える	滋賀医科大学医学部附属病院 感染制御部	金城 真一
		2-P29-2	重症熱帯熱マラリア診断から専門施設搬送までを経験して	県民健康プラザ 鹿屋医療センター 医療安全対策室	永山 由香
		2-P29-3	AMDA ネパールシグダールタ母子専門病院の感染管理の現状—院内ラウンドから見た課題—	高知大学医学部附属病院 看護部	公文 典子
		2-P29-4	皮膚科回診は疥癬拡大予防策に有効か	丸木記念福祉メディカルセンター 看護部	細谷 克子
		2-P29-5	栄養科職員における腸管系病原微生物保菌者の対応と対策	医療法人札幌生脳神経外科病院 医療安全管理部感染管理室	東后真奈美
		2-P29-6	A 中規模病院の感染管理認定看護師と感染症看護専門看護師の業務実態	東京共済病院 看護部	中尾 穂高
		2-P29-7	ニカルジピン注射液による血管障害の発生頻度と静脈アクセスデバイス選択の課題	横浜新緑総合病院 感染対策室	新居田敦子
		2-P29-8	精神科における院内肺炎・誤嚥性肺炎の検討	医療法人杏和会阪南病院 ICT	中川 雅美
		2-P29-9	感染防護服の運動機能性に関する検討	文化学園大 服装学部	小柴 朋子
		2-P29-10	病院調理場の環境衛生表面実態調査における拭取りアデノシン三リン酸測定法の整合性に関する検討	静岡がんセンター 栄養室	青山 高



協賛一覧

【共催企業】

アステラス製薬株式会社
 株式会社大塚製薬工場
 オックスフォード・イムノテック株式会社
 杏林製薬株式会社
 キョーリンメディカルサプライ株式会社
 極東製薬工業株式会社
 ゴージョージャパン株式会社
 サクラ精機株式会社
 サラヤ株式会社
 三興化学工業株式会社
 ジャパンワクチン株式会社
 第一三共株式会社

テルモ株式会社
 日本エア・リキード株式会社
 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
 ハリヤード・ヘルスケア・インク
 ビー・ブラウンエースクラップ株式会社
 富士フイルム株式会社
 富士フイルムメディカル株式会社
 丸石製薬株式会社
 株式会社メディコン
 株式会社モレランコーポレーション
 吉田製薬株式会社

【企業展示】

アイテック阪急阪神株式会社
 株式会社アースブルー
 アキレス株式会社
 旭化成アドバンス株式会社
 アトムメディカル株式会社
 アリアメディカル株式会社
 アルケア株式会社
 イオンディライト株式会社
 乾商事株式会社
 株式会社 IMU・GENOS
 株式会社医療福祉研究所
 イワツキ株式会社
 宇都宮製作株式会社
 栄研化学株式会社
 株式会社 NBC メッシュテック
 株式会社エリカ オプテカル
 オオサキメディカル株式会社
 株式会社大塚製薬工場
 株式会社岡村製作所
 小川医理器株式会社
 オックスフォード・イムノテック株式会社
 株式会社カインドウェア
 花王プロフェッショナル・サービス株式会社
 兼一薬品工業株式会社
 株式会社カネカ
 川本産業株式会社
 関東化学株式会社
 キッコーマンバイオケミファ株式会社
 杏林製薬株式会社
 キョーリンメディカルサプライ株式会社
 株式会社共和
 有限会社グッツール
 株式会社グッドスマイルインターナショナル
 株式会社ケアコム
 ケーディーアイコンズ株式会社
 健栄製薬株式会社
 株式会社小池メディカル

コヴィディエンジャパン株式会社
 興研株式会社
 サクラ精機株式会社
 サラヤ株式会社
 三興化学工業株式会社
 株式会社ジェイ・エム・エス
 シオエ製薬株式会社
 株式会社重松製作所
 シスメックス株式会社
 シーバイエス株式会社
 株式会社写真化学
 シャボン玉石けん株式会社
 杉田産業株式会社
 株式会社スギヤマゲン
 株式会社スズケン
 スミスメディカル・ジャパン株式会社
 株式会社スミロン
 スリーエムジャパン株式会社
 株式会社セーフマスター
 株式会社セントラルユニ
 大衛株式会社
 大研医器株式会社
 株式会社ダン・タクマ
 株式会社ティ・アシスト
 有限会社テクノアメニティ
 テルモ株式会社
 東栄部品株式会社
 東洋羽毛首都圏販売株式会社
 株式会社東陽テクニカ
 株式会社トーカイ
 TOTO 株式会社
 株式会社ニチオン
 日科ミクロン株式会社
 日機装株式会社
 ニッタ株式会社
 ニプロ株式会社
 株式会社日本医化器械製作所

協賛一覧

【企業展示】

日本エア・リキード株式会社
日本コヴィディエン株式会社
日本製紙クレシア株式会社
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
日本メディカルプロダクツ株式会社
ニュートリー株式会社
白十字株式会社
ハクゾウメディカル株式会社
株式会社社長谷川綿行
パラマウントベッド株式会社
ハリヤードヘルスケア・インク
株式会社バルメディカル
株式会社 VIP グローバル
バイオメリュー・ジャパン株式会社
ビー・ブラウンエースクラップ株式会社
富士フイルム株式会社
富士フイルムメディカル株式会社

株式会社フリーキア製薬
平和メディック株式会社
ベックマン・コールター株式会社
丸石製薬株式会社
株式会社ミクス
ミドリ安全株式会社
株式会社名優
メディキット株式会社
メディコムジャパン
株式会社メディコン
株式会社メディテックジャパン
メドライン・ジャパン合同会社
株式会社メルシー
メンリッケヘルスケア株式会社
株式会社モレーンコーポレーション
吉田製薬株式会社

【書籍展示】

株式会社ガリバー
株式会社紀伊國屋書店

株式会社クマノミ出版
株式会社志学書店

【広告企業】

イオンディライト株式会社
株式会社ヴァンメディカル
キョーリンメディカルサプライ株式会社
ゴージョージャパン株式会社
サラヤ株式会社
シオエ製薬株式会社
塩野義製薬株式会社
大日本住友製薬株式会社

株式会社南江堂
ハクゾウメディカル株式会社
株式会社ホギメディカル
Meiji Seika ファルマ株式会社
株式会社メディカ出版
株式会社モレーンコーポレーション
吉田製薬株式会社

【寄 付】

Meiji Seika ファルマ株式会社

(五十音順 2018年1月31日現在)

第33回日本環境感染学会総会・学術集会

2018年2月2日

発行：第33回日本環境感染学会総会・学術集会事務局
NTT東日本関東病院
〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22

制作：株式会社コングレ
〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル6F
TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552

NOTES